

令和6年度
岐阜県日本語教育実態調査
報告書

2025年3月
岐阜県

目次

I	外国人県民調査結果.....	1
1	調査概要	1
2	調査結果	9
	(1) 暮らし.....	9
	(2) 仕事.....	15
	(3) 日本語能力.....	24
	(4) 日本語学習.....	31
	(5) 困りごと.....	47
	(6) 災害.....	54
II	受入団体調査結果.....	60
1	調査概要	60
2	調査結果	65
	(1) 意思疎通の課題.....	65
	(2) 「やさしい日本語」の取組み.....	69
	(3) 日本語教育の取組み、役割.....	72
	(4) 地域の日本語教室.....	76
	(5) 地域の日本語教室の活動内容.....	80
	(6) 地域の日本語教室運営の課題や今後の取組み.....	87
	(7) 日本語教育の状況（地域の日本語教育以外）.....	89
	(8) 企業の取組み.....	94
	(9) 他団体との連携.....	104
	(10) 行政に希望する支援.....	111
III	ヒアリング結果.....	113
1	外国人県民	113
2	企業	114
3	支援団体	114
4	行政	115

【別冊】 報告書調査結果のクロス集計

【別冊】 アンケート調査票

I 外国人県民調査結果

1 調査概要

1. 1 調査の目的

県内における日本語教育機会の提供体制を整備するため、外国人県民、外国人受入団体（地域の日本語教室、市町村、外国人雇用企業等）の現状やニーズを把握し、体制整備に向けた施策立案の基礎資料とする。

1. 2 調査項目

- (1) 暮らし
- (2) 仕事
- (3) 日本語能力
- (4) 日本語学習
- (5) 困りごと
- (6) 災害

1. 3 調査設計

- (1) 調査地域 岐阜県全域
- (2) 調査対象 岐阜県在住の満 18 歳以上の外国人県民
- (3) 標本数 5,000 件（調査協力依頼ハガキによるもの）
- (4) 抽出方法 郵送での発送先市町村は、5 圏域において「外国人比率」「外国人数」等の分布から、各圏域で代表的な市町村を選定し配布。
岐阜：岐阜市（1300）、本巣市（200）
西濃：大垣市（700）、養老町（100）、神戸町（100）
中濃：可児市（900）、関市（300）、御嵩町（200）
東濃：土岐市（400）、恵那市（300）
飛騨：高山市（500）
- (5) 調査方法 ①調査協力依頼ハガキを郵送し、受領者が記載されている二次元コードを読み取り、ウェブにて回答
②受入関係者から外国人県民へ二次元コード・URL を展開し、外国人県民がウェブにて回答
ウェブの回答フォームの言語は、英語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語、中国語、インドネシア語、タイ語、ネパール語、やさしい日本語

- (6) 調査時期 2024 年 8 月 13 日～9 月 10 日
 (7) 調査実施機関 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

1. 4 回収結果

	標本数 (A)	回収数 (B)	有効回答数 (C)	回収率 (B/A)	有効回答率 (C/A)
①郵送	5,000	1,127	1,051	22.6	21.0
②受入関係者	-	245	222	-	-
計	-	1,372	1,273	-	-

1. 5 標本誤差

調査結果には統計上多少の誤差が生じることがあるため、調査結果には、一定の幅を持たせる必要がある。その幅を標本誤差といい、以下の式で表される。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{p(1-p)}{n}} \quad (\text{ただし、} p : \text{回答比率} \quad n : \text{回答者数})$$

すなわち、標本誤差の幅は①回答者数 (n) 及び②回答比率 (p) によって異なる。上式を用いた各回答者数、回答比率における標本誤差を以下の表に示す。

	p (回答比率)									
n (回答者数 1,273 人)	5% /95%	10% /90%	15% /85%	20% /80%	25% /75%	30% /70%	35% /65%	40% /60%	45% /55%	50%
	1.2%	1.6%	2.0%	2.2%	2.4%	2.5%	2.6%	2.7%	2.7%	2.7%

(注) 1. 層化を行った場合、誤差は上表より若干増減することもある。

2. この表の見方は以下のとおりである。

「ある設問の回答者数が 1,273 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 50% であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも ±2.7% である。」

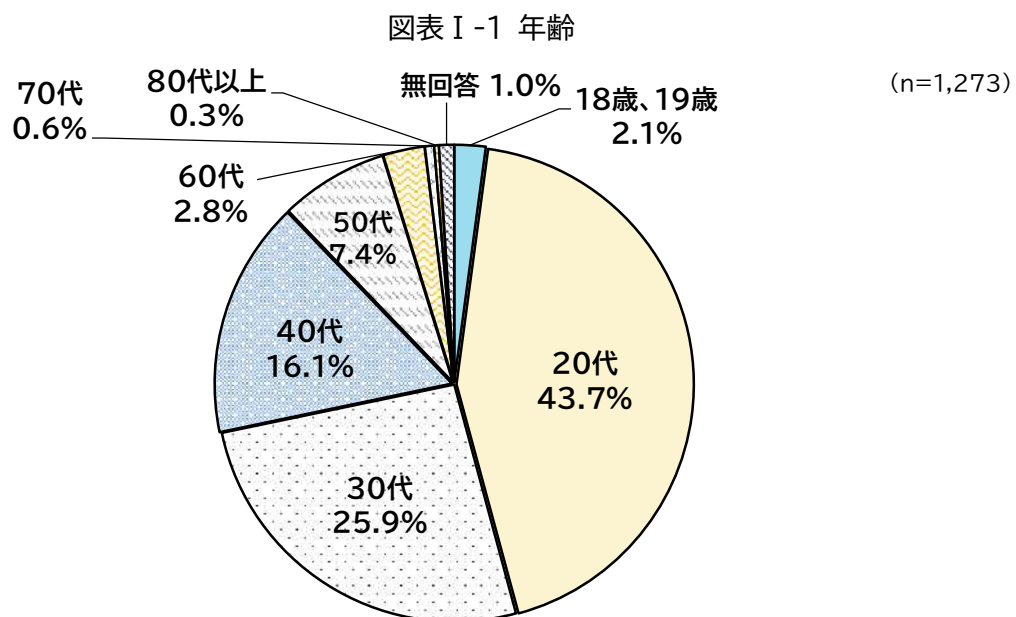
1. 6 報告書の見方

- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が 100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数は「n」(件数)として掲載した。したがって比率は、n を 100%として算出している。

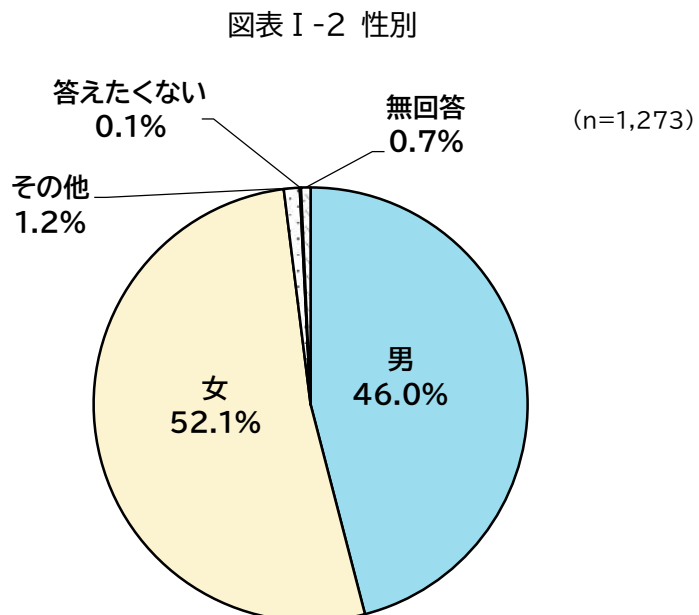
- (3) 複数回答が可能な設問では総回答数を「N」として掲載した。その場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常 100%を超える。
- (4) 本報告書中の表、グラフ及び本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合がある。
- (5) クロス集計において、サンプル数が少ないものについては、グラフへの表示及び分析を行っていない。

1. 7 対象者の属性

F-1 年齢



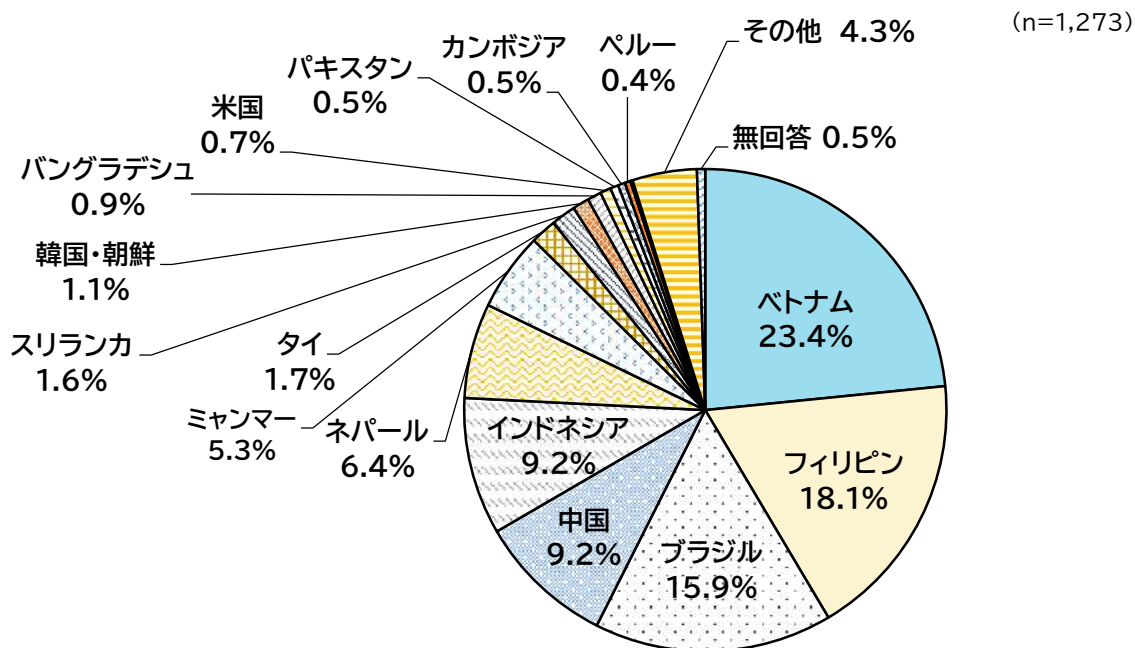
F-2 性別



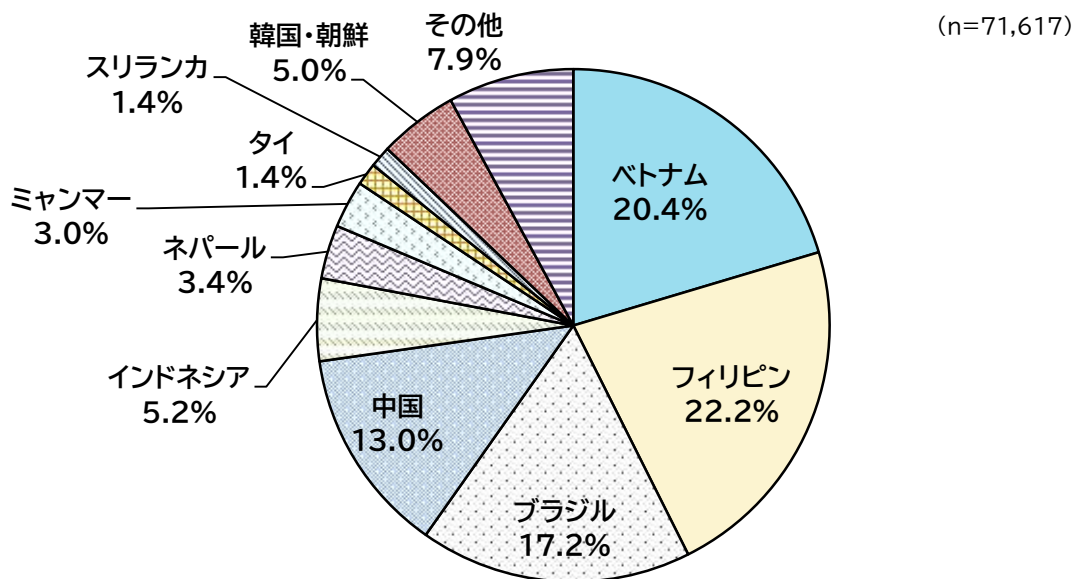
F-3 国籍

在留外国人統計（2024 年 6 月末）における国籍別人口割合と概ね同様の割合で回答を得た。

図表 I -3 国籍

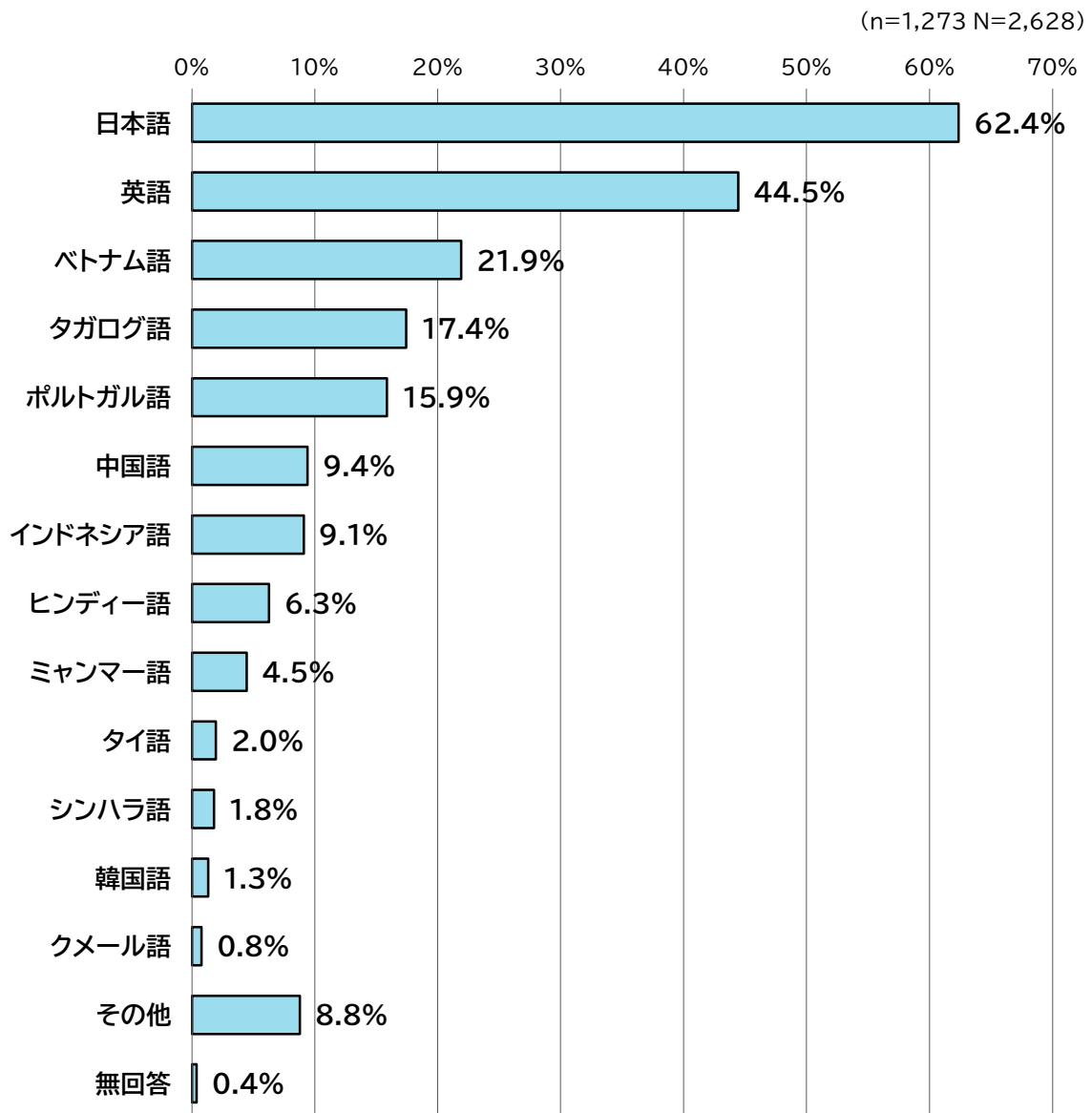


(参考)在留外国人統計 2024 年6月末



F-4 使える言語

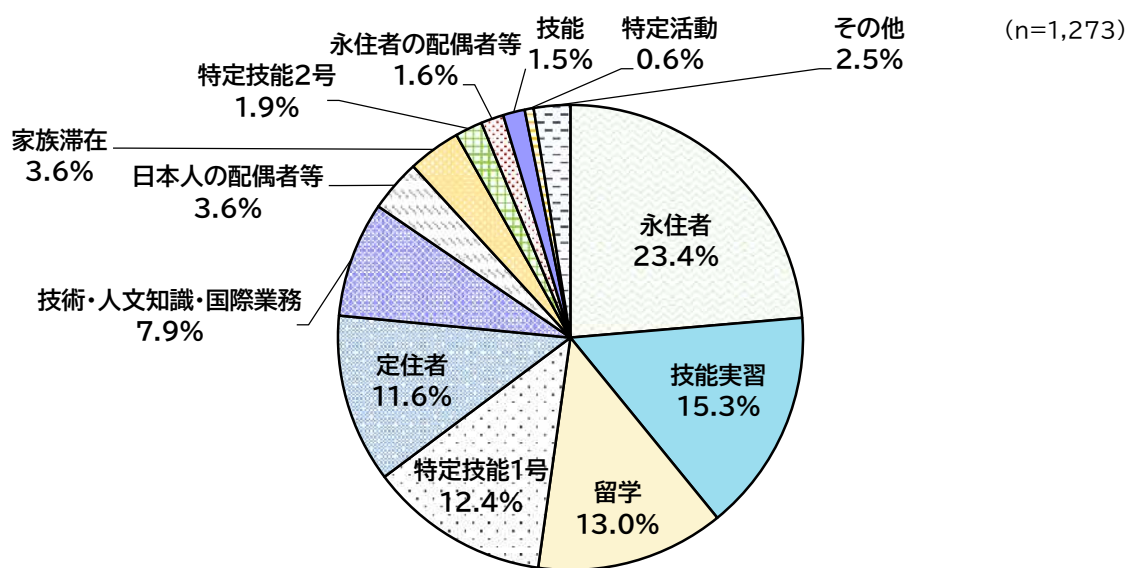
図表 I -4 使える言語



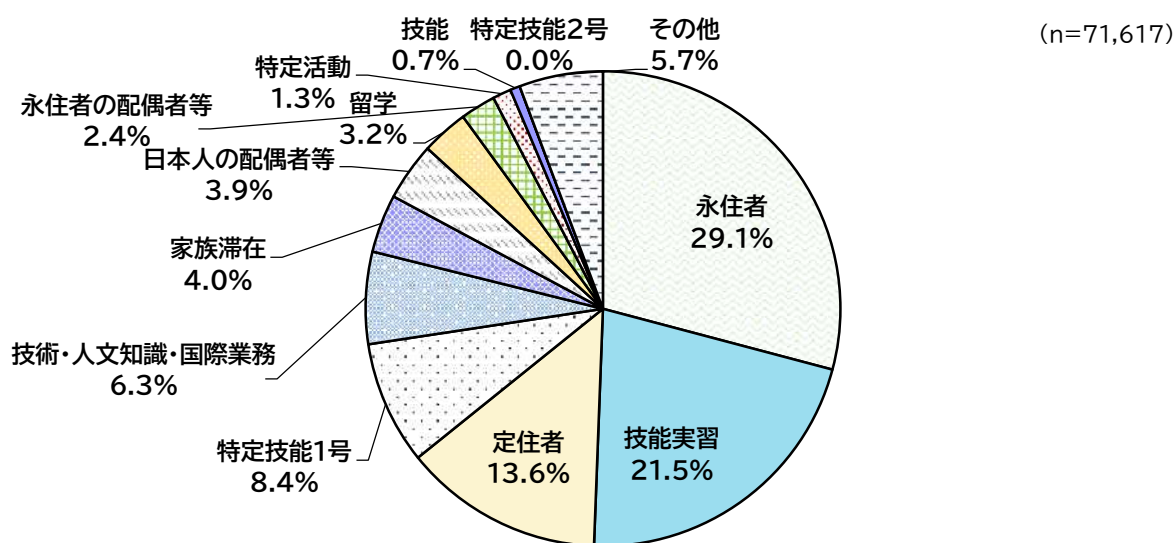
F-5 在留資格

在留外国人統計（2024 年 6 月末）（以下、「統計」という。）における在留資格割合と概ね同様の割合で回答を得た。ただし、「特定技能 2 号」は統計では 2024 年 6 月末で 3 名しかいないことから、回答間違えがあったものと考えられる。また、「留学」については、大学からの展開等で留学生からの回答が多くなり、統計より割合が高くなっているものと考えられる。

図表 I-5 在留資格



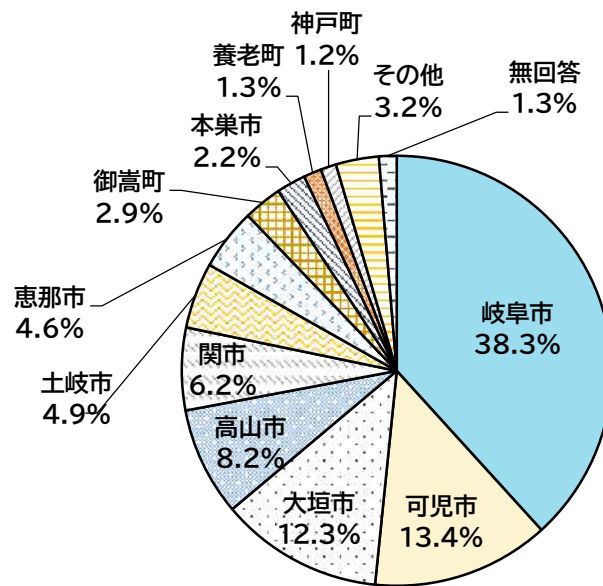
(参考)在留外国人統計 2024 年6月末



F-6 居住地

図表 I -6 居住地

(n=1,273)

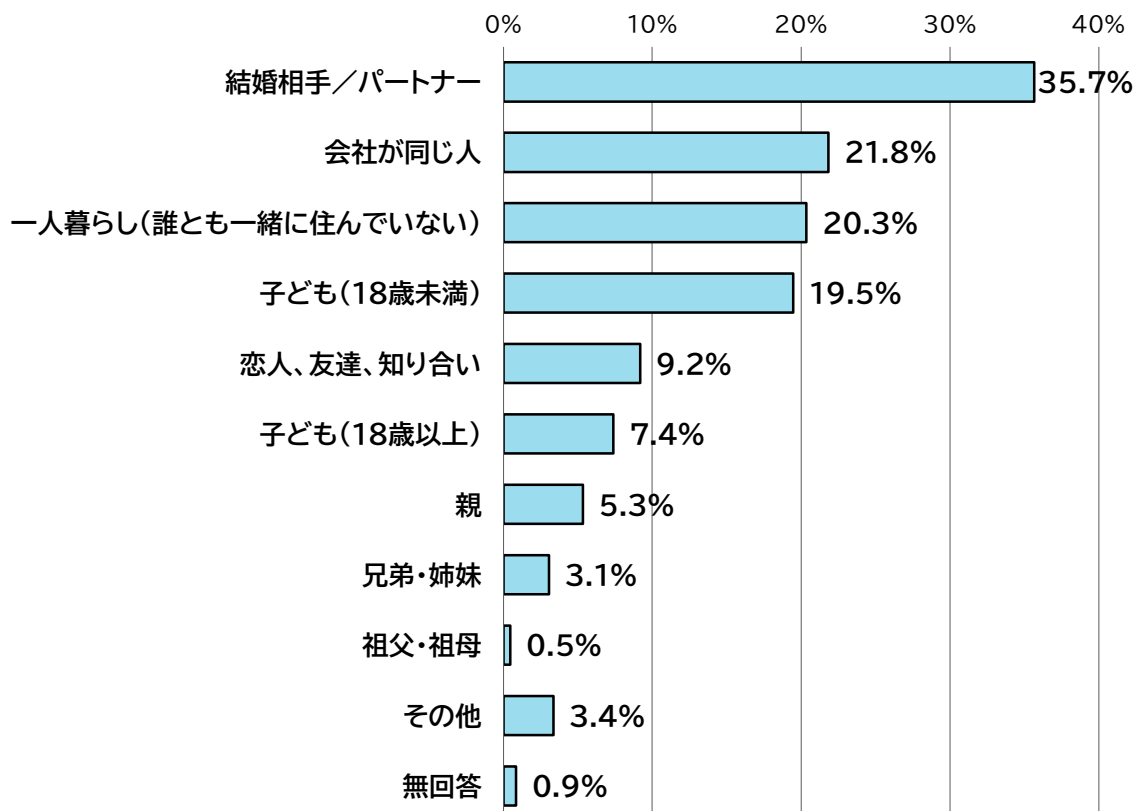


※ 居住地は、抽出方法（I 1.3（4））による影響があります。

F-7 一緒に住んでいる人

図表 I -7 一緒に住んでいる人

(n=1,273 N=1,617)



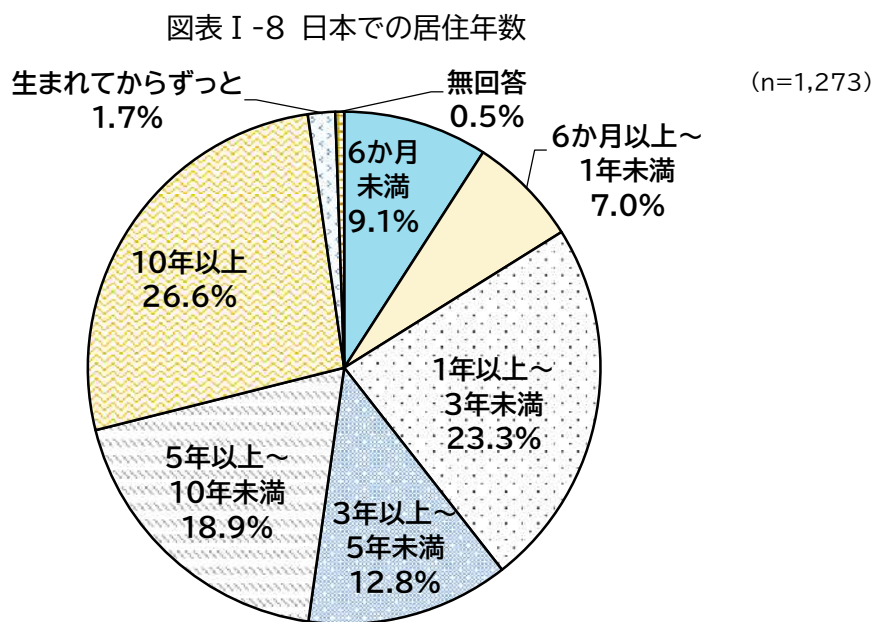
2 調査結果

(1)暮らし

問8 日本での居住年数

問8 あなたは、日本にどのくらい住んでいますか？

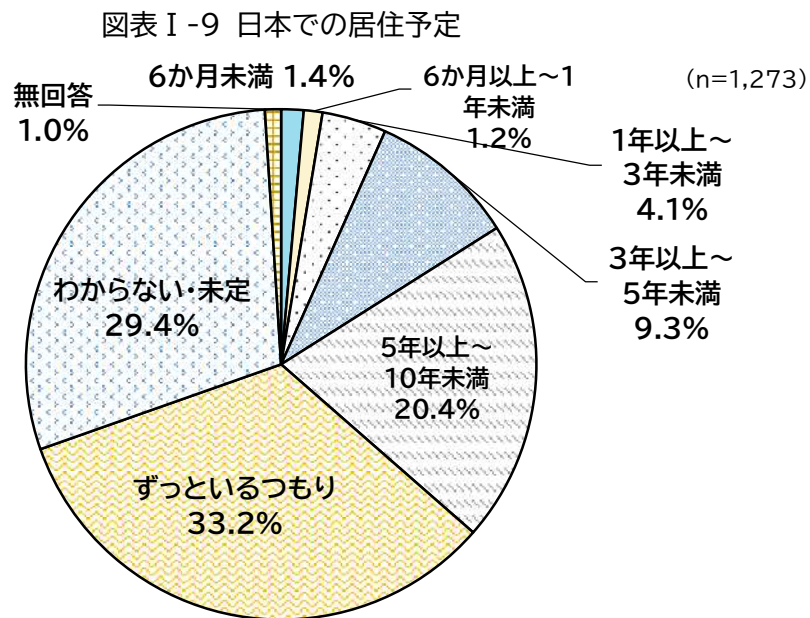
日本での居住年数は、「6か月未満」が9.1%、「6か月以上～1年未満」が7.0%、「1年以上～3年未満」が23.3%となり、3年未満は合わせて39.4%となる。一方で、「10年以上」が26.6%である。



問9 日本での居住予定

問9 あなたは、いつまで日本に住む予定ですか？

日本での居住予定は「ずっといるつもり」が33.2%である。



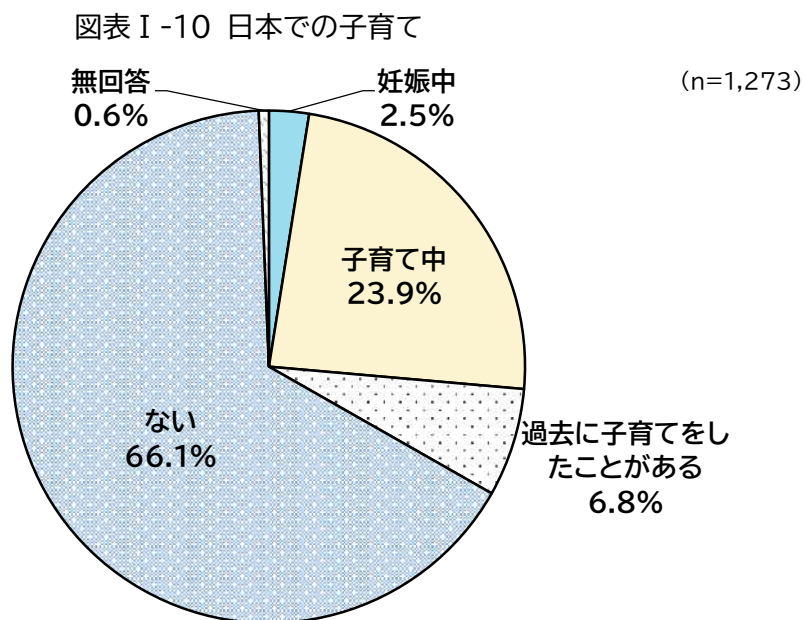
「ずっといるつもり」の選択者の在留資格別を見ると、就労系在留資格では『技能』が最も高く52.6%であり、続いて『技術・人文知識・国際業務』の38.6%となっている。最も低いのは『技能実習』で9.7%となっている。

		合計	6か月未満	6か月以上～1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	ずっといるつもり	わからない・未定
在留資格	永住者	298	0.7%	0.3%	0.3%	0.3%	3.4%	57.0%	36.9%
	定住者	148	0.7%	0.0%	6.1%	2.7%	8.1%	35.1%	47.3%
	日本人の配偶者等	46	2.2%	0.0%	0.0%	2.2%	4.3%	63.0%	28.3%
	永住者の配偶者等	20	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	45.0%	55.0%
	技能実習	195	1.5%	2.6%	7.2%	30.3%	33.3%	9.7%	14.4%
	特定技能1号	158	1.9%	1.9%	1.9%	11.4%	35.4%	24.7%	22.2%
	留学	165	4.2%	2.4%	9.7%	9.7%	36.4%	18.8%	17.6%
	技術・人文知識・国際業務	101	0.0%	2.0%	4.0%	5.0%	17.8%	38.6%	32.7%
	家族滞在	46	0.0%	0.0%	6.5%	4.3%	13.0%	37.0%	39.1%
	特定活動	8	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	37.5%
	技能	19	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	15.8%	52.6%	26.3%
	その他	32	3.1%	0.0%	0.0%	15.6%	25.0%	9.4%	46.9%

問 10 日本での子育て

問 10 あなたは日本で子育てをしたことがありますか？

「妊娠中」「子育て中」が、合わせて 26.4%である。



「子育て中」の選択者を国籍別に見ると、『フィリピン (43.0%)』、『ブラジル (39.4%)』、『中国 (29.9%)』が高くなっている。在留資格別に見ると、『永住者 (46.3%)』、『定住者 (45.9%)』が高いが、『技術・人文知識・国際業務』も 12.9%となっている。

日本での居住年数では、『10 年以上』が 50.4%と高くなっている。

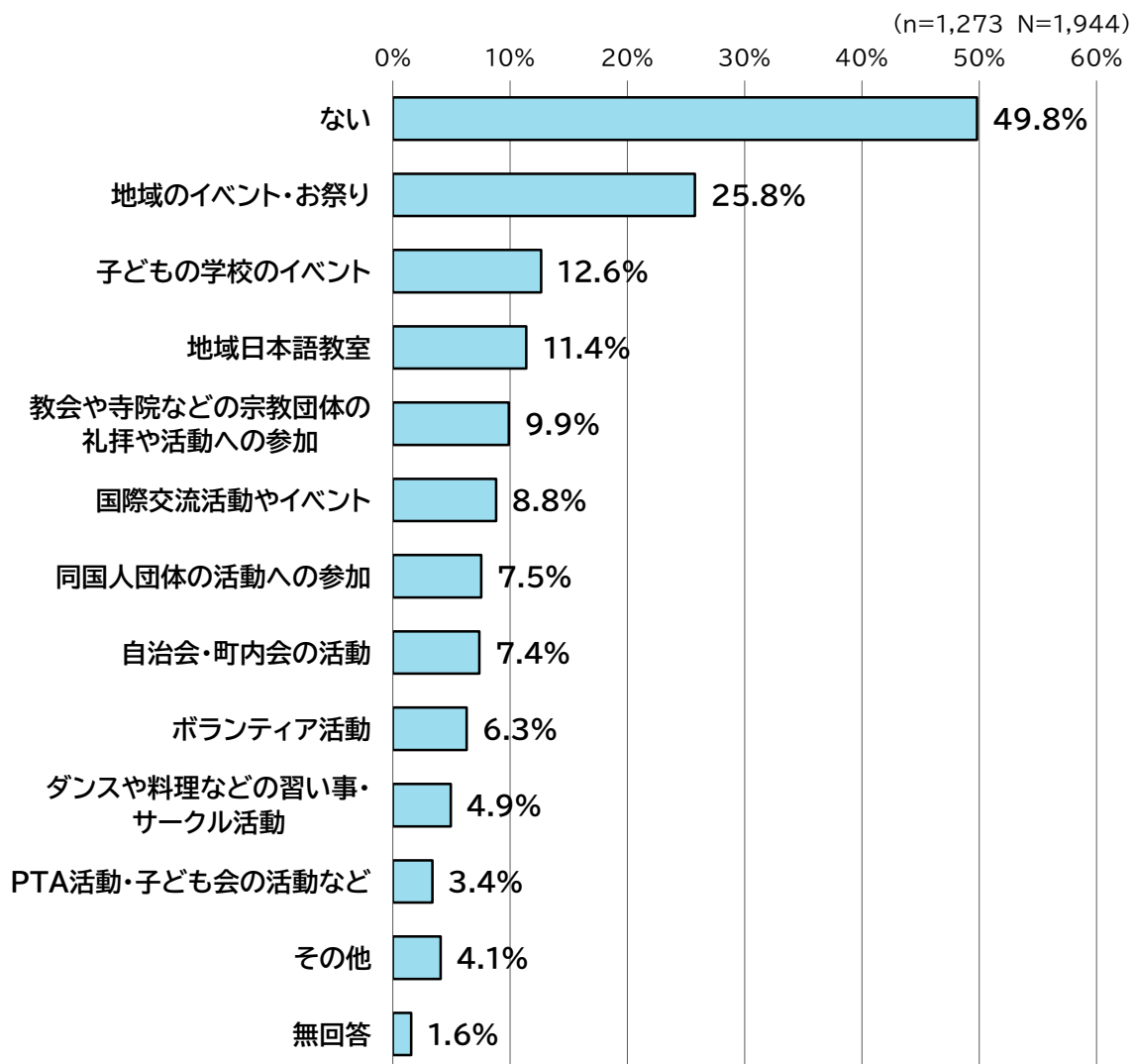
	合計	妊娠中	子育て中	過去に子育てをしたことがある	ない
全体	1,273	2.5%	23.9%	6.8%	66.1%
国籍	ベトナム	2.7%	11.1%	1.0%	85.2%
	フィリピン	2.2%	43.0%	11.3%	43.0%
	ブラジル	6.9%	39.4%	19.2%	34.0%
	中国	0.0%	29.9%	7.7%	61.5%
	インドネシア	0.9%	10.3%	0.9%	88.0%
	ネパール	1.2%	8.6%	1.2%	88.9%
	ミャンマー	0.0%	0.0%	3.0%	97.0%
	タイ	0.0%	22.7%	0.0%	77.3%
	スリランカ	0.0%	19.0%	0.0%	81.0%
	その他	2.7%	23.6%	4.5%	67.3%
在留資格	永住者	2.7%	46.3%	18.5%	31.5%
	定住者	4.7%	45.9%	10.1%	39.2%
	日本人の配偶者等	2.2%	52.2%	10.9%	34.8%
	永住者の配偶者等	15.0%	40.0%	15.0%	30.0%
	技能実習	1.0%	0.5%	0.0%	97.9%
	特定技能 1 号	0.6%	4.4%	0.0%	94.9%
	留学	0.6%	2.4%	1.8%	94.5%
	技術・人文知識・国際業務	4.0%	12.9%	3.0%	80.2%
	家族滞在	2.2%	63.0%	2.2%	32.6%
	特定活動	12.5%	0.0%	0.0%	87.5%
	技能	10.5%	15.8%	5.3%	68.4%
	その他	3.1%	21.9%	0.0%	75.0%
日本での居住年数	6か月未満	1.7%	0.9%	0.0%	97.4%
	6か月以上～1年未満	0.0%	4.5%	3.4%	92.1%
	1年以上～3年未満	2.0%	9.4%	1.0%	87.2%
	3年以上～5年未満	3.1%	20.2%	0.6%	76.1%
	5年以上～10年未満	4.2%	25.8%	4.2%	65.8%
	10年以上	2.4%	50.4%	19.2%	27.1%
	生まれてからずっと	0.0%	13.6%	22.7%	63.6%

問 11 会社や学校以外で参加したことがある活動

問 11 あなたが会社や学校以外で、参加したことがある活動はありますか？
(複数選択)

会社や学校以外の活動に参加したことが「ない」が 49.8%である。

図表 I -11 会社や学校以外で参加したことがある活動



国籍別に見ると、ブラジルが「地域のイベント・お祭り」「子どもの学校のイベント」等に参加している割合が他の国籍より高くなっている。

在留資格別に見ると、永住者、定住者、日本人の配偶者、永住者の配偶者は、「地域のイベント・お祭り」「子どもの学校のイベント」等に参加している割合が他の在留資格より高く、永住者とその配偶者は「自治体・町内会の活動」の割合が他の在留資格より高くなっている。一方で、技能実習や特定技能1号は、地域の活動への参加が、他の在留資格より低くなっている。

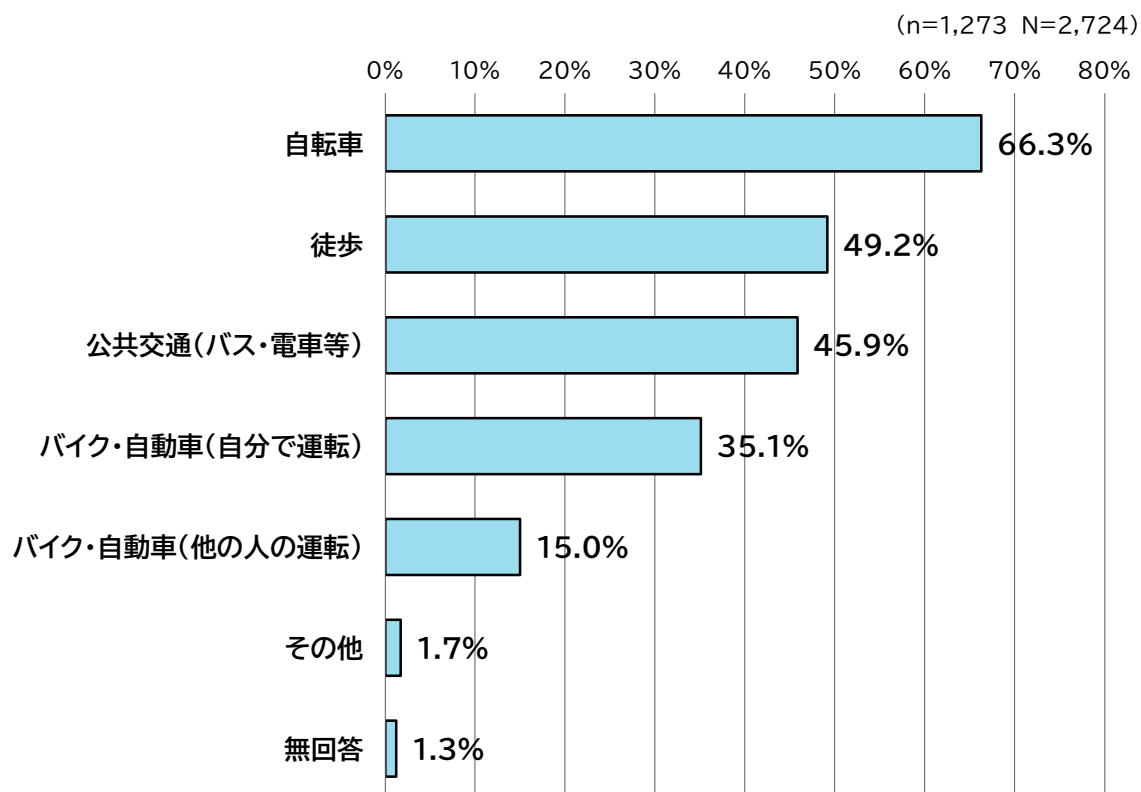
		合計	ない	地域のイベント・お祭り	教会や寺院などの宗教団体の礼拝や活動への参加	国際交流活動やイベント	地域日本語教室	ボランティア活動	同国人団体の活動への参加	ダンスや料理などの習い事・サークル活動	子どもの学校のイベント	PTA活動・子ども会の活動など	自治会・町内会の活動	その他
全体		1,273	49.8%	25.8%	9.9%	8.8%	11.4%	6.3%	7.5%	4.9%	12.6%	3.4%	7.4%	4.1%
国籍	ベトナム	298	62.8%	23.8%	3.0%	4.7%	7.4%	3.7%	4.0%	1.3%	4.7%	1.0%	1.7%	3.4%
	フィリピン	230	54.3%	13.5%	13.5%	7.0%	7.0%	5.2%	4.8%	2.6%	17.4%	6.5%	8.7%	4.3%
	ブラジル	203	28.6%	38.4%	22.7%	11.8%	17.2%	11.3%	17.2%	12.8%	27.6%	4.9%	16.3%	3.0%
	中国	117	44.4%	28.2%	1.7%	16.2%	16.2%	6.0%	12.8%	4.3%	17.9%	2.6%	17.1%	7.7%
	インドネシア	117	51.3%	24.8%	14.5%	4.3%	16.2%	4.3%	9.4%	8.5%	4.3%	1.7%	3.4%	4.3%
	ネパール	81	65.4%	11.1%	6.2%	4.9%	9.9%	4.9%	3.7%	0.0%	1.2%	0.0%	2.5%	2.5%
	ミャンマー	67	44.8%	28.4%	4.5%	4.5%	7.5%	11.9%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%
	タイ	22	59.1%	31.8%	9.1%	4.5%	4.5%	4.5%	4.5%	0.0%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%
	スリランカ	21	47.6%	23.8%	0.0%	14.3%	14.3%	4.8%	4.8%	9.5%	9.5%	4.8%	4.8%	0.0%
	その他	110	40.0%	40.0%	9.1%	20.0%	15.5%	6.4%	5.5%	7.3%	17.3%	6.4%	6.4%	5.5%
在留資格	永住者	298	38.3%	24.8%	14.1%	13.4%	14.1%	8.7%	13.4%	9.7%	27.9%	8.4%	18.5%	4.0%
	定住者	148	46.6%	29.7%	18.9%	5.4%	8.1%	6.8%	6.8%	3.4%	22.3%	2.7%	5.4%	2.7%
	日本人の配偶者等	46	37.0%	32.6%	19.6%	10.9%	17.4%	8.7%	8.7%	8.7%	17.4%	10.9%	10.9%	4.3%
	永住者の配偶者等	20	30.0%	25.0%	5.0%	5.0%	10.0%	5.0%	10.0%	5.0%	30.0%	0.0%	20.0%	10.0%
	技能実習	195	70.8%	19.5%	4.1%	1.5%	5.6%	3.1%	3.6%	1.0%	0.5%	0.0%	0.5%	5.1%
	特定技能1号	158	63.9%	22.2%	6.3%	3.2%	7.6%	2.5%	2.5%	3.8%	0.0%	0.0%	0.6%	3.8%
	留学	165	37.6%	33.9%	8.5%	15.2%	17.0%	9.1%	7.9%	3.0%	5.5%	0.6%	1.8%	3.6%
	技術・人文知識・国際業務	101	48.5%	25.7%	6.9%	14.9%	18.8%	7.9%	6.9%	5.9%	6.9%	2.0%	8.9%	4.0%
	家族滞在	46	50.0%	26.1%	8.7%	6.5%	15.2%	4.3%	10.9%	0.0%	21.7%	6.5%	8.7%	2.2%
	特定活動	8	50.0%	37.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
	技能	19	68.4%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	5.3%	5.3%
	その他	32	40.6%	40.6%	0.0%	15.6%	9.4%	9.4%	6.3%	6.3%	9.4%	6.3%	6.3%	3.1%

問 12 交通手段

問 12 あなたが使える交通手段は何ですか？（複数選択）

交通手段は、「自転車」の割合が最も高く 66.3%である。次いで、「徒歩（49.2%）」、「公共交通（バス・電車等）（45.9%）」である。

図表 I -12 交通手段



在留資格別に見ると、技能実習、留学において「自転車」が高い割合を占め、「バイク・自動車を自分で運転」する人の割合は低くなっている。「バイク・自動車を自分で運転」の選択者は、定住者と技術・人文知識・国際業務で 50%前後、特定技能 1 号で 13.9%となった。

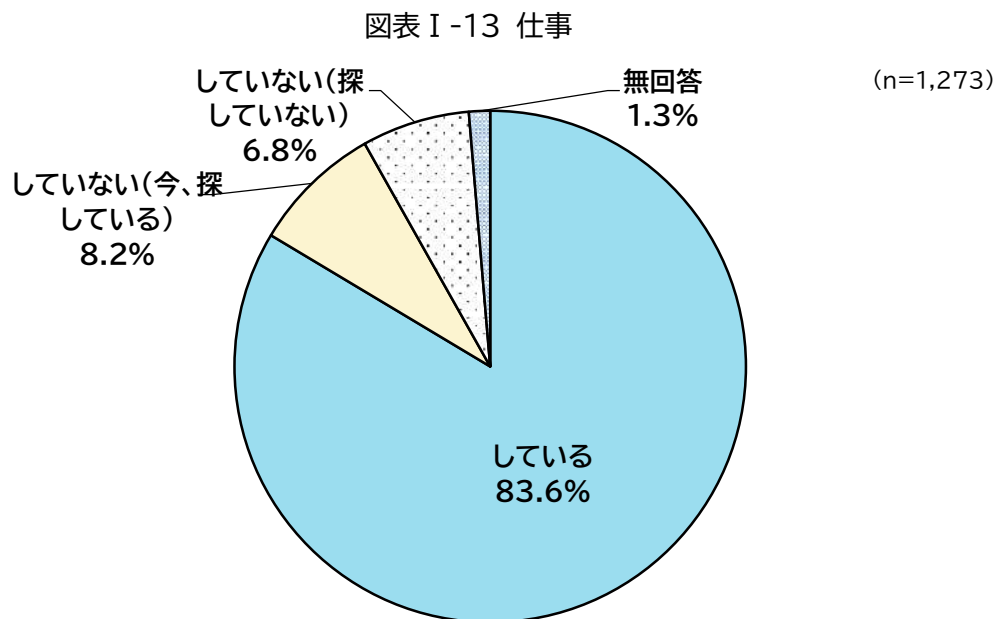
	合計	自転車	徒歩	公共交通（バス・電車等）	バイク・自動車（自分で運転）	バイク・自動車（他の人の運転）	その他
全体	1,273	66.3%	49.2%	45.9%	35.1%	15.0%	1.7%
在留資格	永住者	44.6%	41.3%	41.3%	69.5%	17.8%	2.7%
	定住者	48.6%	55.4%	45.3%	52.7%	20.3%	0.7%
	日本人の配偶者等	30.4%	39.1%	37.0%	67.4%	21.7%	2.2%
	永住者の配偶者等	35.0%	50.0%	35.0%	45.0%	30.0%	0.0%
	技能実習	89.2%	48.2%	41.5%	5.6%	8.2%	0.5%
	特定技能 1 号	86.1%	50.6%	48.7%	13.9%	12.7%	1.3%
	留学	92.7%	53.9%	52.7%	4.8%	9.7%	1.2%
	技術・人文知識・国際業務	66.3%	59.4%	55.4%	47.5%	20.8%	2.0%
	家族滞在	67.4%	67.4%	56.5%	30.4%	21.7%	4.3%
	特定活動	62.5%	75.0%	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%
	技能	57.9%	21.1%	36.8%	42.1%	15.8%	0.0%
	その他	53.1%	50.0%	40.6%	25.0%	12.5%	6.3%

(2)仕事

問 13 仕事

問 13 あなたは今、仕事をしていますか？

「仕事をしている」が全体の 83.6%である。



年齢階層別に見ると、20～50 代の就業率が高くなっている。

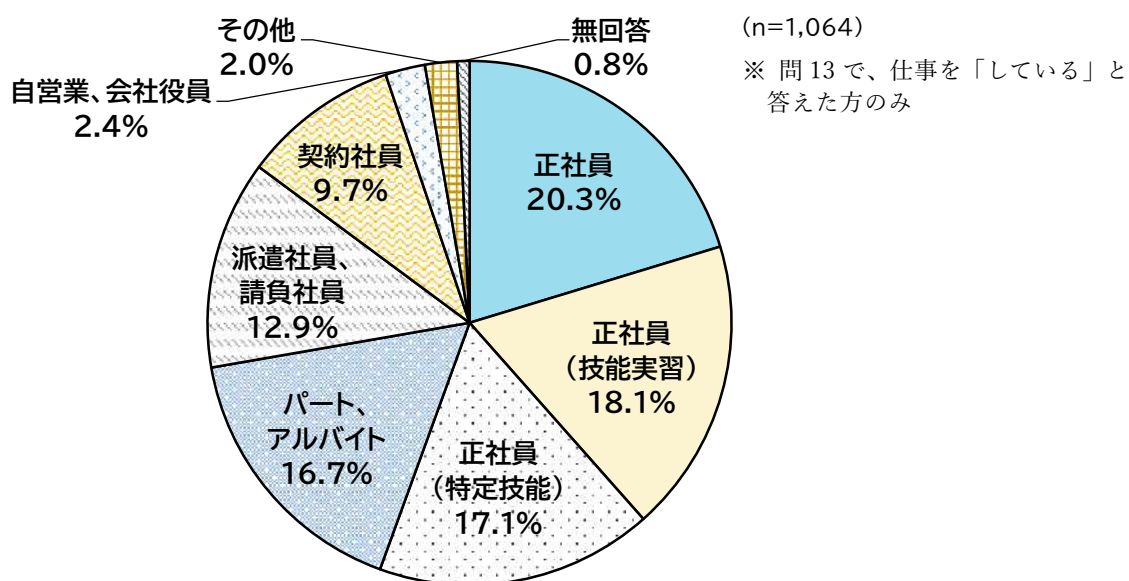
		合計	仕事			
			している	していない (今、探している)	していない (探していない)	無回答
全体		1,273	83.6%	8.2%	6.8%	1.3%
年 齢	18歳、19歳	27	74.1%	7.4%	18.5%	0.0%
	20代	556	87.6%	6.3%	5.4%	0.7%
	30代	330	80.6%	8.8%	9.7%	0.9%
	40代	205	83.4%	12.2%	3.4%	1.0%
	50代	94	85.1%	8.5%	4.3%	2.1%
	60代	36	72.2%	11.1%	11.1%	5.6%
	70代	8	25.0%	12.5%	37.5%	25.0%
	80代以上	4	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%

問 14 雇用形態

問 14 あなたの雇用形態は何ですか？※

雇用形態は、「正社員（特定技能、技能実習を除く）」が最も多く 20.3%、次いで「正社員（技能実習）18.1%」、「正社員（特定技能）17.1%」「パート、アルバイト（16.7%）」である。

図表 I -14 雇用形態



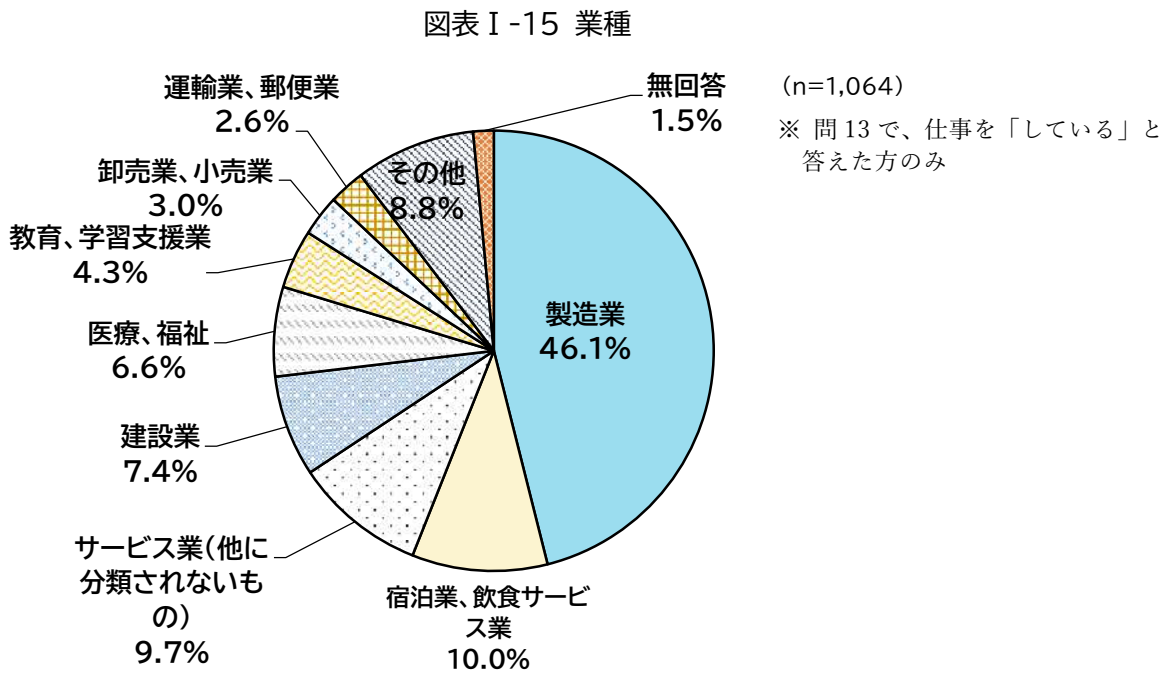
日本語能力との関連（問 20～23）を見ると、正社員（特定技能・技能実習を除く）は、聞く、話す、読む、書くともに最も高いレベルの人が40%～50%と他の雇用形態より圧倒的に高くなっている。

		合計	正社員	正社員（特定技能）	正社員（技能実習）	派遣社員、請負社員	契約社員	パート、アルバイト	自営業、会社役員	その他
全体		1,064	20.3%	17.1%	18.1%	12.9%	9.7%	16.7%	2.4%	2.0%
聞く能力	テレビのニュース、ドラマを聞いて、すべて理解できる	139	45.3%	5.0%	2.2%	12.2%	8.6%	17.3%	2.9%	5.0%
	相手の言うことを聞いて、だいたい理解できる	394	19.5%	23.6%	17.0%	11.2%	6.1%	18.3%	2.5%	1.8%
	相手がゆっくり話せば、聞いて、理解できる	292	12.3%	16.8%	25.7%	13.4%	11.6%	17.1%	2.4%	0.7%
	単語だけ聞き取れる	152	15.1%	11.2%	21.7%	18.4%	15.1%	11.8%	2.6%	3.3%
	ほとんど聞き取れない	22	9.1%	9.1%	4.5%	27.3%	18.2%	22.7%	4.5%	0.0%
話す能力	自分の言いたいことが母国語と同じくらい話せる	104	40.4%	4.8%	5.8%	11.5%	11.5%	17.3%	3.8%	4.8%
	母国語ほどではないが、自分の言いたいことがだいたい話せる	277	29.2%	16.2%	12.3%	12.3%	7.2%	16.6%	2.9%	2.5%
	簡単な日常会話であればできる	405	12.3%	23.2%	19.8%	13.6%	8.4%	19.5%	2.2%	1.0%
	自己紹介、決まった挨拶、単語であれば話せる	169	15.4%	13.6%	30.2%	13.0%	14.2%	10.7%	0.6%	1.8%
	ほとんど話せない（通訳が必要）	42	2.4%	4.8%	14.3%	26.2%	19.0%	16.7%	9.5%	4.8%
読む能力	役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、十分に理解できる	99	50.5%	6.1%	2.0%	4.0%	14.1%	11.1%	6.1%	5.1%
	役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んで、だいたい理解できる	199	26.6%	15.1%	14.1%	9.5%	6.0%	25.6%	2.0%	1.0%
	広告やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる	196	16.3%	18.9%	16.8%	15.8%	6.1%	20.4%	2.6%	2.6%
	絵の付いた簡単な指示（ごみの捨て方、料理の作り方）が分かる	342	11.1%	24.0%	27.5%	11.7%	9.4%	13.5%	1.5%	1.5%
	ほとんど読めない（翻訳が必要）	142	17.6%	8.5%	11.3%	26.1%	16.9%	14.1%	3.5%	1.4%
書く能力	仕事の報告書や学校への連絡等、説明する文章を書くことができる	106	44.3%	8.5%	4.7%	7.5%	12.3%	17.9%	1.9%	2.8%
	日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる	160	21.9%	18.8%	16.9%	6.3%	4.4%	27.5%	3.1%	0.6%
	職場の同僚や学校の先生、家族に用件を伝える簡単なメモなどを書くことができる	280	17.5%	25.0%	17.9%	11.1%	6.4%	18.6%	1.8%	1.8%
	名前や国名、住所などが書ける	312	15.7%	15.1%	27.6%	14.7%	11.5%	10.3%	2.2%	2.9%
	ほとんど書けない（代筆が必要）	121	14.0%	9.1%	4.1%	31.4%	17.4%	16.5%	4.1%	1.7%

問 15 業種

問 15 あなたの仕事の業種は何ですか？※

業種は、「製造業」の割合が最も高く 46.1%である。次いで、「宿泊業、飲食サービス業（10.0%）」、「サービス業（他に分類されないもの）（9.7%）」である。



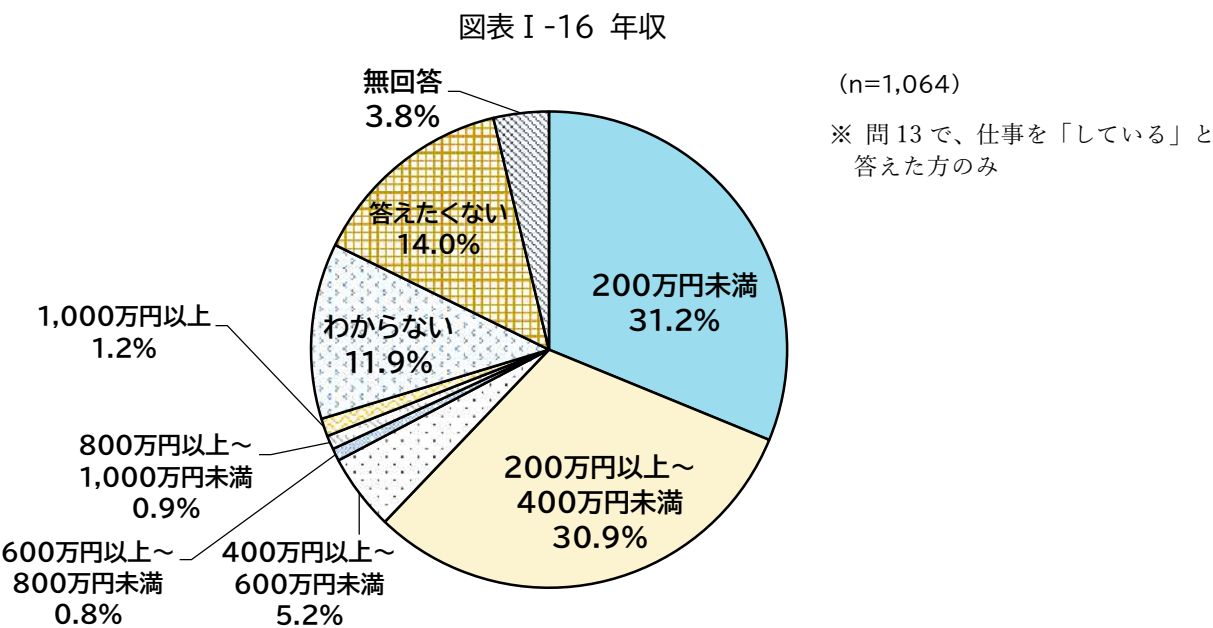
圏域別に見ると、西濃、中濃、東濃では「製造業」が 57%～65%と非常に高く、飛騨では「宿泊業、飲食サービス業」が 40.6%と他圏域より顕著に高くなっている。

		合計	製造業	建設業	卸売業、小売業	宿泊業、飲食サービス業	医療、福祉	サービス業（他に分類されないもの）	運輸業、郵便業	教育、学習支援業	その他
全体		1,064	46.1%	7.4%	3.0%	10.0%	6.6%	9.7%	2.6%	4.3%	8.8%
圏域	岐阜	412	33.7%	8.7%	3.4%	10.7%	11.2%	12.1%	2.7%	7.0%	9.0%
	西濃	166	57.8%	7.2%	1.8%	3.6%	4.8%	10.8%	4.2%	3.0%	4.2%
	中濃	258	62.8%	4.7%	2.3%	3.9%	4.3%	8.5%	2.7%	3.5%	6.2%
	東濃	120	65.0%	9.2%	5.0%	4.2%	1.7%	5.0%	2.5%	1.7%	4.2%
	飛騨	96	14.6%	7.3%	2.1%	40.6%	3.1%	7.3%	0.0%	0.0%	25.0%

問 16 年収

問 16 あなたの年収はいくらですか？※

年収は、「200 万円未満」の割合が最も高く 31.2%である。次いで、「200 万円以上～400 万円未満（30.9%）」である。



「正社員（技能実習）」や「パート・アルバイト」において、「200 万円未満」の割合が高くなっている。

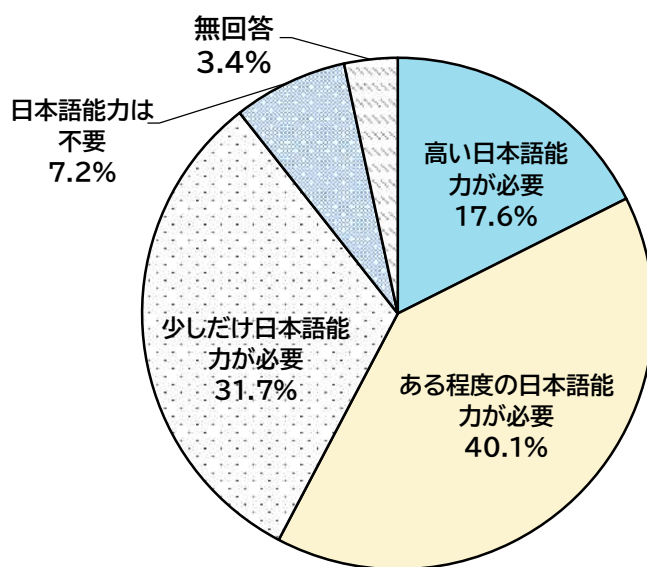
	合計	200万円未満	200万円以上～400万円未満	400万円以上～600万円未満	600万円以上～800万円未満	800万円以上～1,000万円未満	1,000万円以上	わからない	答えたくない・無回答
全体	1,064	31.2%	30.9%	5.2%	0.8%	0.9%	1.2%	11.9%	14.0%
雇用形態									
正社員	216	11.1%	44.9%	18.5%	3.2%	0.5%	0.9%	6.5%	12.0%
正社員（特定技能）	137	32.4%	34.6%	1.1%	0.0%	1.1%	2.2%	8.2%	14.8%
正社員（技能実習）	103	46.6%	15.5%	0.5%	0.5%	0.5%	3.1%	13.5%	14.5%
派遣社員、請負社員	178	24.1%	48.2%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%	17.5%
契約社員	26	26.2%	41.7%	3.9%	0.0%	1.9%	0.0%	8.7%	15.5%
パート、アルバイト	21	50.0%	7.9%	0.6%	0.6%	1.7%	0.6%	27.0%	10.1%
自営業、会社役員	193	30.8%	42.3%	7.7%	0.0%	3.8%	0.0%	7.7%	7.7%
その他	182	9.5%	14.3%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	23.8%	38.1%

問 17 仕事での日本語能力の必要性

問 17 あなたの仕事では、日本語能力が必要ですか？※

仕事での日本語能力の必要性は「ある程度の日本語能力が必要」の割合が最も高く 40.1%である。次いで、「少しだけ日本語能力が必要 (31.7%)」、「高い日本語能力が必要 (17.6%)」である。

図表 I -17 仕事での日本語能力の必要性



(n=1,064)

※ 問 13 で、仕事を
「している」と
答えた方のみ

雇用形態別に見ると、正社員において「高い日本語能力」「ある程度の日本語能力」が必要と考えている傾向にある。年収別に見ると、ある程度の回答数がある 600 万円未満までにおいては、年収の高い方が、日本語能力が必要と考えている傾向にある。業種別に見ると、「医療・福祉」「サービス業（他に分類されないもの）」において、「高い日本語能力」が必要と考えられている。

		合計	高い日本語能力が必要	ある程度の日本語能力が必要	少しだけ日本語能力が必要	日本語能力は不要
全体		1,064	17.6%	40.1%	31.7%	7.2%
雇用形態	正社員	216	31.0%	40.3%	22.2%	4.6%
	正社員（特定技能）	137	10.9%	29.2%	40.9%	18.2%
	正社員（技能実習）	103	17.5%	21.4%	45.6%	13.6%
	派遣社員、請負社員	178	19.1%	45.5%	23.0%	10.1%
	契約社員	26	30.8%	23.1%	38.5%	7.7%
	パート、アルバイト	21	33.3%	14.3%	33.3%	14.3%
	自営業、会社役員	193	9.3%	48.7%	36.3%	1.6%
	その他	182	10.4%	51.1%	31.9%	0.5%
業種	製造業	490	8.8%	41.0%	40.2%	7.1%
	建設業	79	15.2%	43.0%	31.6%	5.1%
	卸売業、小売業	32	28.1%	43.8%	21.9%	6.3%
	宿泊業、飲食サービス業	106	25.5%	43.4%	21.7%	6.6%
	医療、福祉	70	35.7%	54.3%	8.6%	1.4%
	サービス業（他に分類されないもの）	103	36.9%	36.9%	16.5%	7.8%
	運輸業、郵便業	28	10.7%	17.9%	64.3%	7.1%
	教育、学習支援業	46	23.9%	30.4%	21.7%	23.9%
	その他	94	19.1%	38.3%	33.0%	7.4%
年収	200万円未満	332	13.3%	40.4%	36.7%	9.6%
	200万円以上～400万円未満	329	20.7%	42.6%	29.2%	7.6%
	400万円以上～600万円未満	55	34.5%	45.5%	18.2%	1.8%
	600万円以上～800万円未満	9	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%
	800万円以上～1,000万円未満	10	20.0%	50.0%	30.0%	0.0%
	1,000万円以上	13	38.5%	23.1%	30.8%	7.7%
	わからない	127	15.0%	41.7%	36.2%	6.3%
答えたくない・無回答		149	16.1%	42.3%	34.2%	6.0%

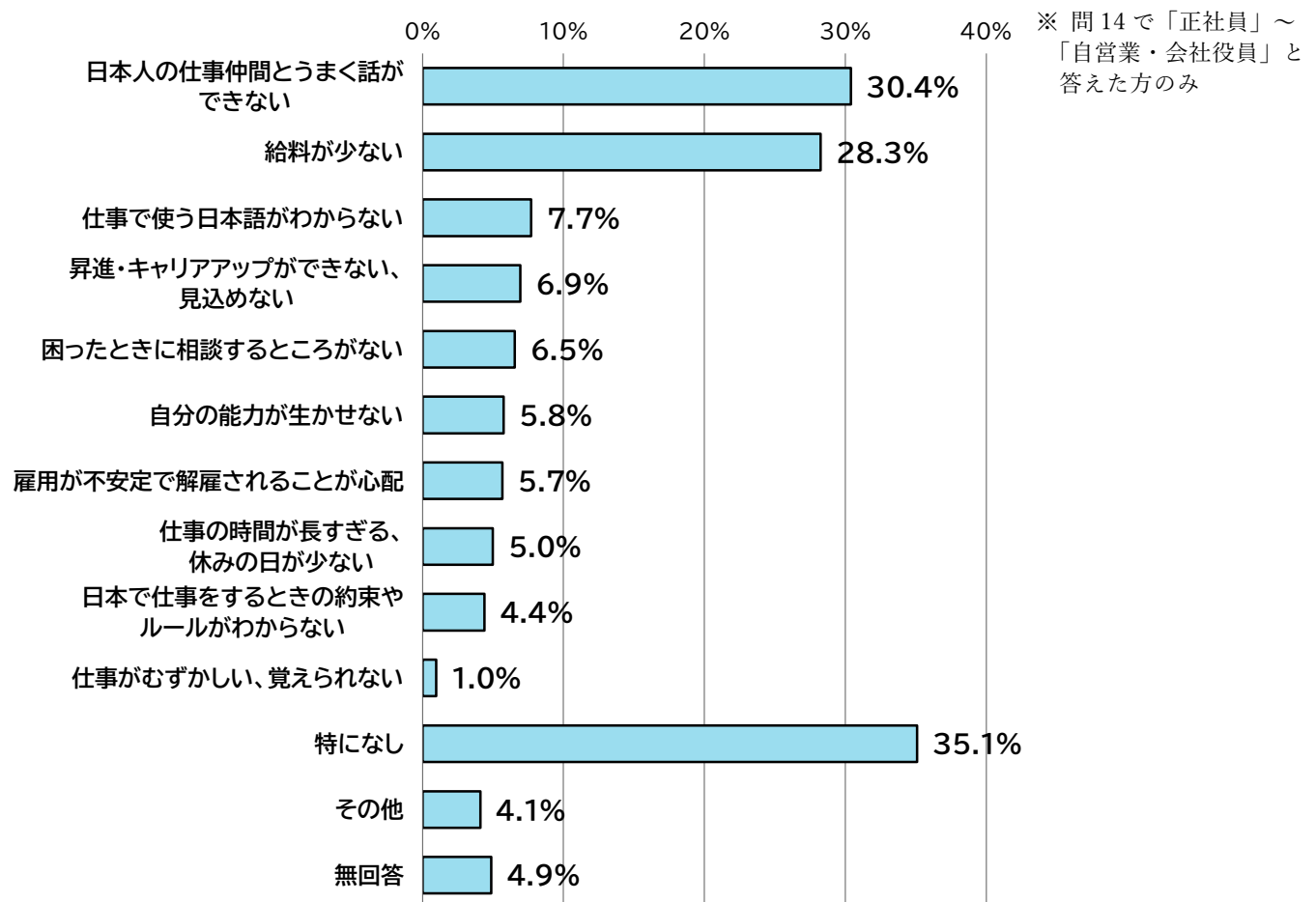
問 18 仕事で困っていること

問 18 仕事で困っていることは何ですか？（複数選択）※

仕事で困っていることは、「日本人の仕事仲間とうまく話ができない」（30.4%）、
「給料が少ない」（28.3%）の割合が高くなっている。

図表 I -18 仕事で困っていること

（n=1,023 N=1,491）



在留資格別に見ると、永住者、定住者、日本人の配偶者、永住者の配偶者において、「雇用が不安定で解雇されることが心配」の割合が他の在留資格に比べて高くなっている。

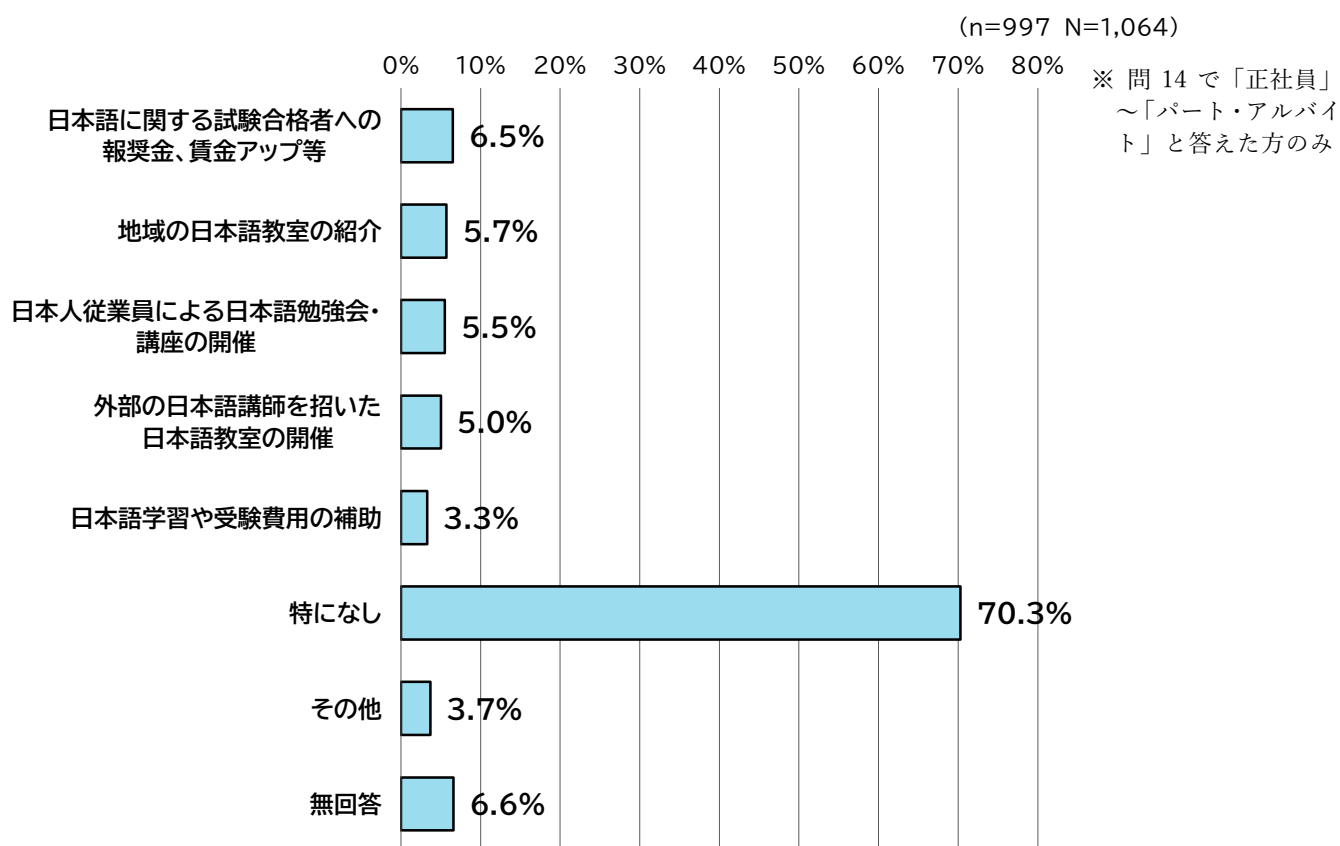
	合計	日本人の仕事仲間とうまく話ができない	給料が少ない	仕事で使う日本語がわからない	昇進・キャリアアップができない、見込めない	困ったときに相談するところがない	自分の能力が生かせない	雇用が不安定で解雇されることが心配	仕事の時間が長すぎる、休みの日が少ない	日本で仕事をするときの約束やルールがわからない	仕事がむずかしい、覚えられない	特になし	その他
全体	1,023	30.4%	28.3%	7.7%	6.9%	6.5%	5.8%	5.7%	5.0%	4.4%	1.0%	35.1%	4.1%
在留資格													
永住者	239	15.9%	28.5%	2.9%	8.8%	5.4%	2.9%	12.1%	6.3%	3.8%	0.4%	43.5%	4.2%
定住者	108	33.3%	30.6%	9.3%	6.5%	8.3%	3.7%	8.3%	10.2%	3.7%	0.9%	40.7%	4.6%
日本人の配偶者等	31	22.6%	32.3%	16.1%	9.7%	19.4%	9.7%	12.9%	0.0%	6.5%	0.0%	45.2%	6.5%
永住者の配偶者等	9	55.6%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%
技能実習	188	41.5%	31.9%	8.0%	6.4%	5.3%	5.3%	0.0%	3.7%	4.3%	1.6%	27.1%	2.7%
特定技能1号	156	27.6%	26.3%	4.5%	5.1%	5.1%	5.8%	3.2%	0.6%	1.3%	0.0%	38.5%	5.8%
留学	84	28.7%	35.1%	8.5%	2.1%	6.4%	5.3%	2.1%	2.1%	6.4%	2.1%	27.7%	5.3%
技術・人文知識・国際業務	98	35.7%	24.5%	14.3%	12.2%	8.2%	12.2%	2.0%	8.2%	10.2%	2.0%	29.6%	4.1%
家族滞在	19	63.2%	21.1%	31.6%	5.3%	5.3%	10.5%	5.3%	0.0%	15.8%	0.0%	26.3%	0.0%
特定活動	6	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
技能	17	29.4%	35.3%	0.0%	5.9%	5.9%	17.6%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	23.5%	0.0%
その他	27	37.0%	7.4%	7.4%	11.1%	3.7%	3.7%	11.1%	11.1%	3.7%	0.0%	33.3%	7.4%

問 19 働いている会社の日本語学習の支援

問 19 あなたが働いている会社は、どのような日本語学習の支援をしていますか？（複数選択）※

働いている会社における日本語学習の支援は「特になし」が70.3%である。

図表 I -19 働いている会社の日本語学習の支援について



在留資格別に見ると、「永住者」「定住者」等の身分に基づく資格において「特になし」が高い傾向にある。

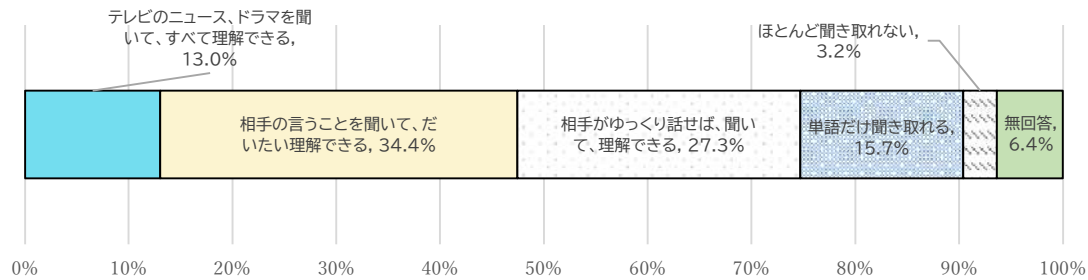
		合計	日本語に関する試験合格者への報奨金、賃金アップ等	地域の日本語教室の紹介	日本人従業員による日本語勉強会・講座の開催	外部の日本語講師を招いた日本語教室の開催	日本語学習や受験費用の補助	特になし	その他
全体		997	6.5%	5.7%	5.5%	5.0%	3.3%	70.3%	3.7%
在留資格	永住者	228	1.3%	3.1%	3.1%	2.6%	1.3%	81.6%	2.6%
	定住者	99	1.0%	3.0%	2.0%	6.1%	2.0%	79.8%	2.0%
	日本人の配偶者等	28	7.1%	3.6%	7.1%	0.0%	3.6%	89.3%	0.0%
	永住者の配偶者等	9	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
	技能実習	188	13.3%	5.9%	5.9%	8.0%	4.8%	61.2%	4.3%
	特定技能 1 号	156	10.3%	9.0%	5.1%	1.3%	6.4%	66.0%	1.9%
	留学	94	8.5%	4.3%	13.8%	10.6%	3.2%	56.4%	9.6%
	技術・人文知識・国際業務	98	6.1%	9.2%	8.2%	3.1%	2.0%	73.5%	4.1%
	家族滞在	18	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	77.8%	11.1%
	特定活動	6	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%
	技能	17	5.9%	0.0%	0.0%	5.9%	5.9%	70.6%	0.0%
	その他	25	0.0%	16.0%	4.0%	8.0%	4.0%	52.0%	12.0%

(3)日本語能力

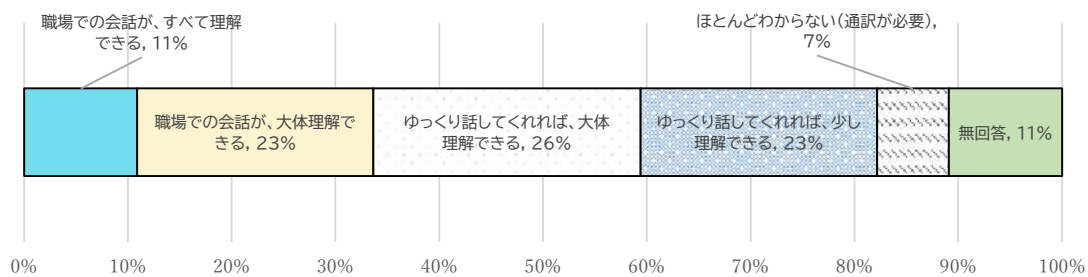
問 20 日本語能力：聞く

問 20 【聞くことについて】あなたは日本語をどのくらい聞いて理解できますか？

図表 I -20 日本語能力:聞く(n=1,273)



(参考)2019年度調査(n=859)



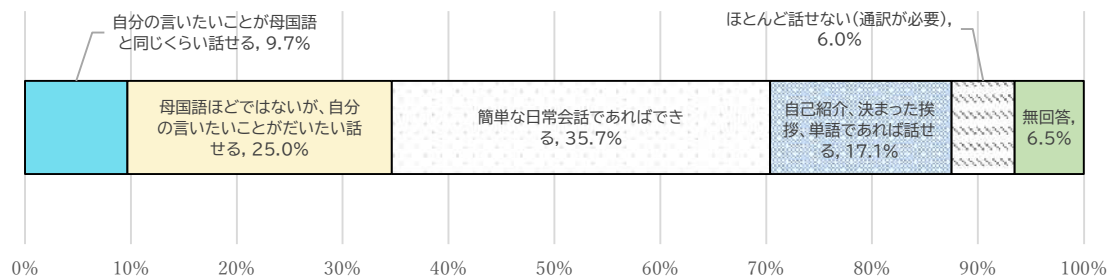
※本調査と 2019 年度調査では、回答の選択肢が異なるため、参考としての比較である。

		合計	テレビのニュース、ドラマを聞いて、すべて理解できる	相手の言うことを聞いて、だいたい理解できる	相手がゆっくり話せば、聞いて、理解できる	単語だけ聞き取れる	ほとんど聞き取れない
全体		1,273	13.0%	34.4%	27.3%	15.7%	3.2%
国籍	ベトナム	298	3.4%	49.0%	24.5%	15.4%	1.0%
	フィリピン	230	8.7%	16.1%	36.5%	25.7%	3.9%
	ブラジル	203	20.2%	29.1%	21.7%	20.2%	4.4%
	中国	117	18.8%	31.6%	17.1%	21.4%	6.8%
	インドネシア	117	7.7%	37.6%	47.0%	3.4%	0.9%
	ネパール	81	13.6%	43.2%	24.7%	3.7%	3.7%
	ミャンマー	67	23.9%	50.7%	19.4%	1.5%	1.5%
	タイ	22	4.5%	31.8%	50.0%	13.6%	0.0%
	スリランカ	21	28.6%	33.3%	19.0%	9.5%	0.0%
	その他	110	26.4%	27.3%	20.9%	13.6%	6.4%
在留資格	永住者	298	25.8%	29.2%	23.5%	13.4%	1.3%
	定住者	148	8.1%	23.6%	23.6%	29.7%	9.5%
	日本人の配偶者等	46	21.7%	32.6%	17.4%	21.7%	6.5%
	永住者の配偶者等	20	5.0%	10.0%	40.0%	20.0%	10.0%
	技能実習	195	1.5%	34.4%	39.0%	16.9%	1.0%
	特定技能 1 号	158	4.4%	55.1%	24.1%	7.6%	1.3%
	留学	165	15.2%	35.8%	32.1%	10.9%	2.4%
	技術・人文知識・国際業務	101	21.8%	45.5%	15.8%	9.9%	2.0%
	家族滞在	46	6.5%	28.3%	23.9%	30.4%	8.7%
	特定活動	8	12.5%	37.5%	25.0%	0.0%	25.0%
	技能	19	0.0%	21.1%	47.4%	21.1%	0.0%
	その他	32	9.4%	31.3%	31.3%	12.5%	6.3%

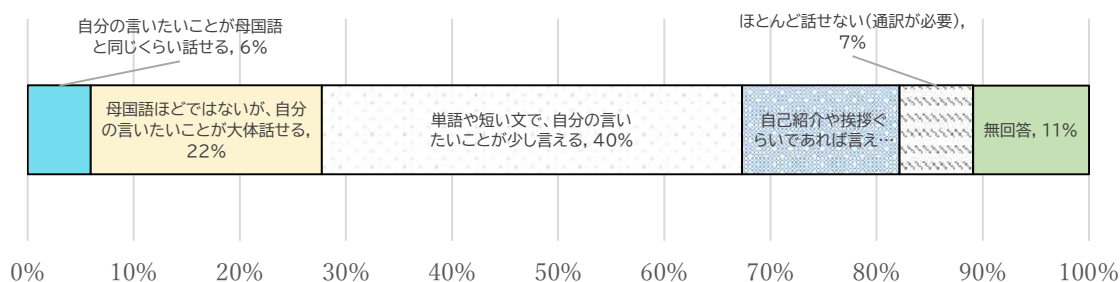
問 21 日本語能力:話す

問 21 【話すことについて】あなたは日本語をどのくらい話せますか？

図表 I -21 日本語能力:話す(n=1,273)



2019年度調査(n=859)



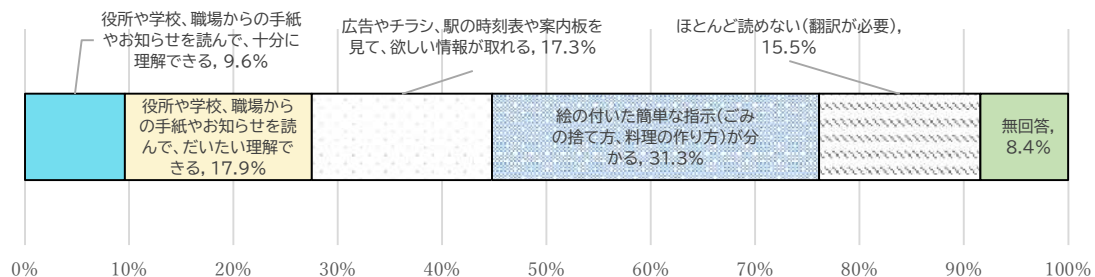
※本調査と 2019 年度調査では、回答の選択肢が異なるため、参考としての比較である。

		合計	テレビのニュース、ド ラマを聞いて、 すべて理解できる	相手の言うこ とを聞いて、 だいたい理解 できる	相手がゆっく り話せば、聞 いて、理解で きる	単語だけ聞き 取れる	ほとんど聞き 取れない
全体		1,273	13.0%	34.4%	27.3%	15.7%	3.2%
国籍	ベトナム	298	3.4%	49.0%	24.5%	15.4%	1.0%
	フィリピン	230	8.7%	16.1%	36.5%	25.7%	3.9%
	ブラジル	203	20.2%	29.1%	21.7%	20.2%	4.4%
	中国	117	18.8%	31.6%	17.1%	21.4%	6.8%
	インドネシア	117	7.7%	37.6%	47.0%	3.4%	0.9%
	ネパール	81	13.6%	43.2%	24.7%	3.7%	3.7%
	ミャンマー	67	23.9%	50.7%	19.4%	1.5%	1.5%
	タイ	22	4.5%	31.8%	50.0%	13.6%	0.0%
	スリランカ	21	28.6%	33.3%	19.0%	9.5%	0.0%
	その他	110	26.4%	27.3%	20.9%	13.6%	6.4%
在留資格	永住者	298	25.8%	29.2%	23.5%	13.4%	1.3%
	定住者	148	8.1%	23.6%	23.6%	29.7%	9.5%
	日本人の配偶者等	46	21.7%	32.6%	17.4%	21.7%	6.5%
	永住者の配偶者等	20	5.0%	10.0%	40.0%	20.0%	10.0%
	技能実習	195	1.5%	34.4%	39.0%	16.9%	1.0%
	特定技能 1 号	158	4.4%	55.1%	24.1%	7.6%	1.3%
	留学	165	15.2%	35.8%	32.1%	10.9%	2.4%
	技術・人文知識・国際業務	101	21.8%	45.5%	15.8%	9.9%	2.0%
	家族滞在	46	6.5%	28.3%	23.9%	30.4%	8.7%
	特定活動	8	12.5%	37.5%	25.0%	0.0%	25.0%
	技能	19	0.0%	21.1%	47.4%	21.1%	0.0%
	その他	32	9.4%	31.3%	31.3%	12.5%	6.3%

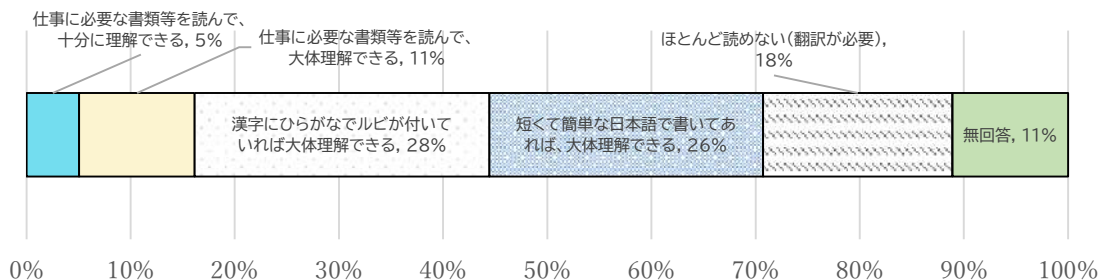
問 22 日本語能力:読む

問 22 【読むことについて】あなたは日本語をどのくらい読めますか？

図表 I-22 日本語能力:読む(n=1,273)



2019年度調査(n=859)



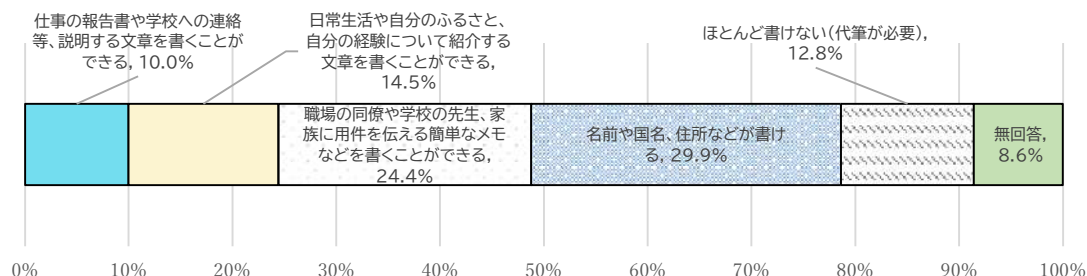
※本調査と 2019 年度調査では、回答の選択肢が異なるため、参考としての比較である。

		合計	役所や学校、 職場からの手 紙やお知らせ を読んで、十 分に理解で きる	役所や学校、 職場からの手 紙やお知らせ を読んで、だ いたい理解で きる	広告やチラ シ、駅の時刻 表や案内板を 見て、欲しい 情報が取れる	絵の付いた簡 単な指示（ご みの捨て方、 料理の作り 方）が分かる	ほとんど読め ない（翻訳が 必要）	
全体			1,273	9.6%	17.9%	17.3%	31.3%	15.5%
国籍	ベトナム	298	3.0%	23.8%	13.8%	45.0%	6.4%	
	フィリピン	230	3.5%	6.5%	10.9%	37.4%	28.3%	
	ブラジル	203	10.8%	13.8%	20.7%	23.2%	24.6%	
	中国	117	24.8%	31.6%	12.8%	13.7%	11.1%	
	インドネシア	117	6.8%	12.0%	30.8%	38.5%	6.8%	
	ネパール	81	9.9%	17.3%	29.6%	25.9%	4.9%	
	ミャンマー	67	10.4%	25.4%	20.9%	26.9%	11.9%	
	タイ	22	4.5%	13.6%	13.6%	63.6%	4.5%	
	スリランカ	21	14.3%	47.6%	9.5%	9.5%	9.5%	
その他	110	24.5%	15.5%	16.4%	14.5%	23.6%		
在留資格	永住者	298	19.1%	16.1%	14.8%	22.8%	17.1%	
	定住者	148	5.4%	10.1%	14.2%	26.4%	37.2%	
	日本人の配偶者等	46	13.0%	23.9%	19.6%	23.9%	19.6%	
	永住者の配偶者等	20	0.0%	5.0%	10.0%	55.0%	15.0%	
	技能実習	195	1.5%	14.4%	16.9%	48.7%	8.2%	
	特定技能1号	158	3.8%	18.4%	21.5%	42.4%	6.3%	
	留学	165	7.9%	26.1%	23.0%	27.3%	11.5%	
	技術・人文知識・国際業務	101	19.8%	30.7%	17.8%	18.8%	7.9%	
	家族滞在	46	2.2%	17.4%	15.2%	30.4%	28.3%	
	特定活動	8	25.0%	12.5%	12.5%	12.5%	25.0%	
	技能	19	0.0%	15.8%	21.1%	36.8%	15.8%	
	その他	32	15.6%	25.0%	9.4%	18.8%	15.6%	

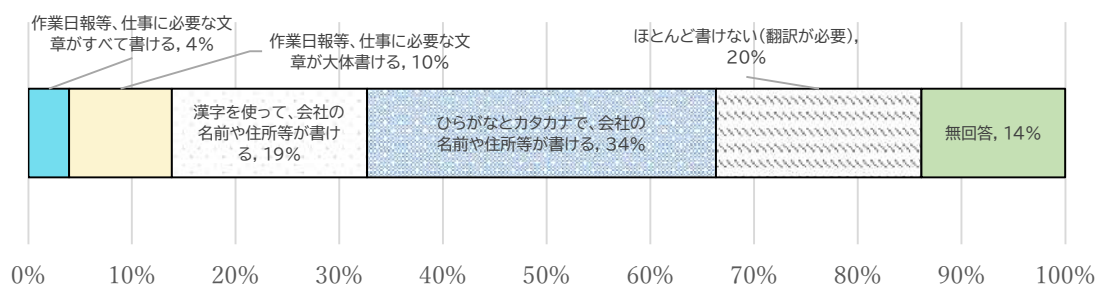
問 23 日本語能力:書く

問 23 【書くことについて】あなたは日本語をどのくらい書けますか？

図表 I-23 日本語能力:書く(n=1,273)



2019年度調査(n=859)

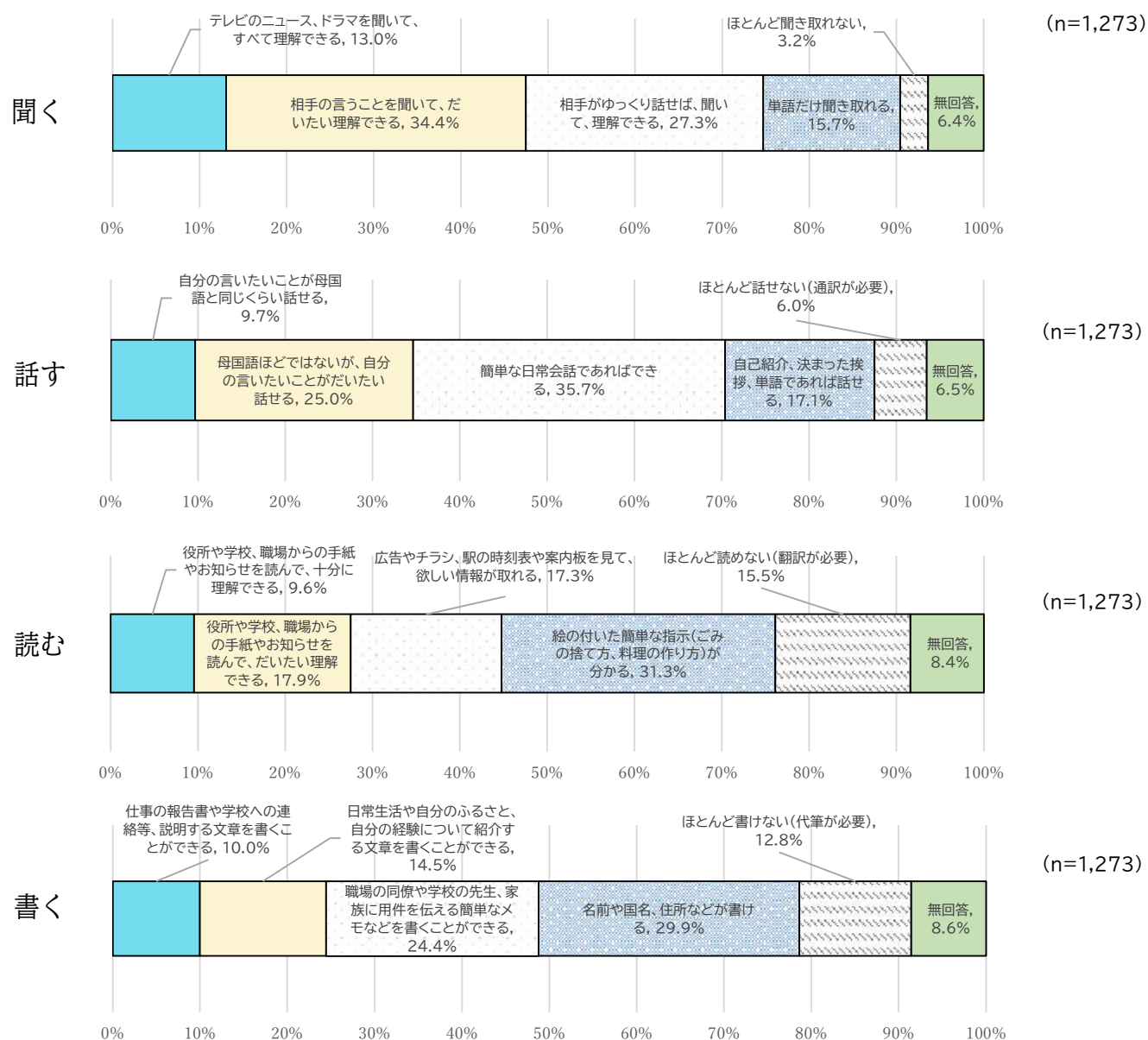


※本調査と 2019 年度調査では、回答の選択肢が異なるため、参考としての比較である。

		合計	仕事や学校の連絡等、説明する文章を書くことができる	日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる	職場の同僚や学校の先生、家族に用件を伝える簡単なメモなどを書くことができる	名前や国名、住所などが書ける	ほとんど書けない(代筆が必要)
全体		1,273	10.0%	14.5%	24.4%	29.9%	12.8%
国籍	ベトナム	298	5.0%	12.1%	38.3%	30.5%	5.0%
	フィリピン	230	2.6%	5.7%	14.3%	41.3%	22.2%
	ブラジル	203	10.8%	6.4%	21.2%	26.1%	30.0%
	中国	117	17.9%	21.4%	20.5%	25.6%	9.4%
	インドネシア	117	7.7%	20.5%	27.4%	36.8%	2.6%
	ネパール	81	11.1%	29.6%	21.0%	22.2%	2.5%
	ミャンマー	67	17.9%	37.3%	25.4%	14.9%	0.0%
	タイ	22	4.5%	9.1%	50.0%	31.8%	4.5%
	スリランカ	21	19.0%	23.8%	23.8%	23.8%	0.0%
	その他	110	24.5%	15.5%	11.8%	24.5%	17.3%
在留資格	永住者	298	15.1%	10.4%	19.8%	26.8%	18.8%
	定住者	148	4.7%	8.1%	10.8%	36.5%	32.4%
	日本人の配偶者等	46	15.2%	10.9%	28.3%	23.9%	19.6%
	永住者の配偶者等	20	5.0%	0.0%	15.0%	45.0%	20.0%
	技能実習	195	2.6%	13.8%	25.6%	44.6%	2.6%
	特定技能 1 号	158	5.7%	19.0%	38.6%	24.1%	5.1%
	留学	165	11.5%	32.1%	23.0%	24.2%	4.8%
	技術・人文知識・国際業務	101	20.8%	19.8%	30.7%	16.8%	5.0%
	家族滞在	46	6.5%	4.3%	28.3%	32.6%	19.6%
	特定活動	8	25.0%	0.0%	37.5%	12.5%	12.5%
	技能	19	0.0%	5.3%	36.8%	42.1%	5.3%
	その他	32	15.6%	9.4%	15.6%	28.1%	18.8%

問 20～23 日本語能力(再掲)

「ほとんど聞き取れない」「ほとんど話せない」はそれぞれ3.2%、6.0%であるのに対し、「ほとんど読めない」「ほとんど書けない」はそれぞれ15.5%、12.8%と高くなっている。



就業状況との関連を見ると、仕事を「している」という人では「ほとんど聞き取れない」「ほとんど話せない」はそれぞれ2%、4%にとどまるが、「ほとんど読めない」「ほとんど書けない」では10%を超えている。

また、仕事を「していない」という人では「ほとんど聞き取れない」「ほとんど話せない」「ほとんど読めない」「ほとんど書けない」が仕事を「している」という人よりも高くなっている。

		聞く能力				
仕事	合計	テレビのニュース、ドラマを聞いて、すべて理解できる	相手の言うことを聞いて、だいたい理解できる	相手がゆっくり話せば、聞いて、理解できる	単語だけ聞き取れる	ほとんど聞き取れない
している	1,064	13%	37%	27%	14%	2%
していない (今、探している)	105	11%	22%	30%	28%	8%
していない (探していない)	87	17%	23%	25%	21%	13%

		話す能力				
仕事	合計	自分の言いたいことが母国語と同じくらい話せる	母国語ほどではないが、自分の言いたいことがだいたい話せる	簡単な日常会話であればできる	自己紹介、決まった挨拶、単語であれば話せる	ほとんど話せない (通訳が必要)
している	1,064	10%	26%	38%	16%	4%
していない (今、探している)	105	7%	22%	27%	27%	17%
していない (探していない)	87	14%	20%	23%	24%	17%

		読む能力				
仕事	合計	役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んでも、十分に理解できる	役所や学校、職場からの手紙やお知らせを読んでも、だいたい理解できる	広告やチラシ、駅の時刻表や案内板を見て、欲しい情報が取れる	絵の付いた簡単な指示(ごみの捨て方、料理の作り方)が分かる	ほとんど読めない (翻訳が必要)
している	1,064	9%	19%	18%	32%	13%
していない (今、探している)	105	10%	13%	10%	29%	33%
していない (探していない)	87	13%	17%	16%	30%	22%

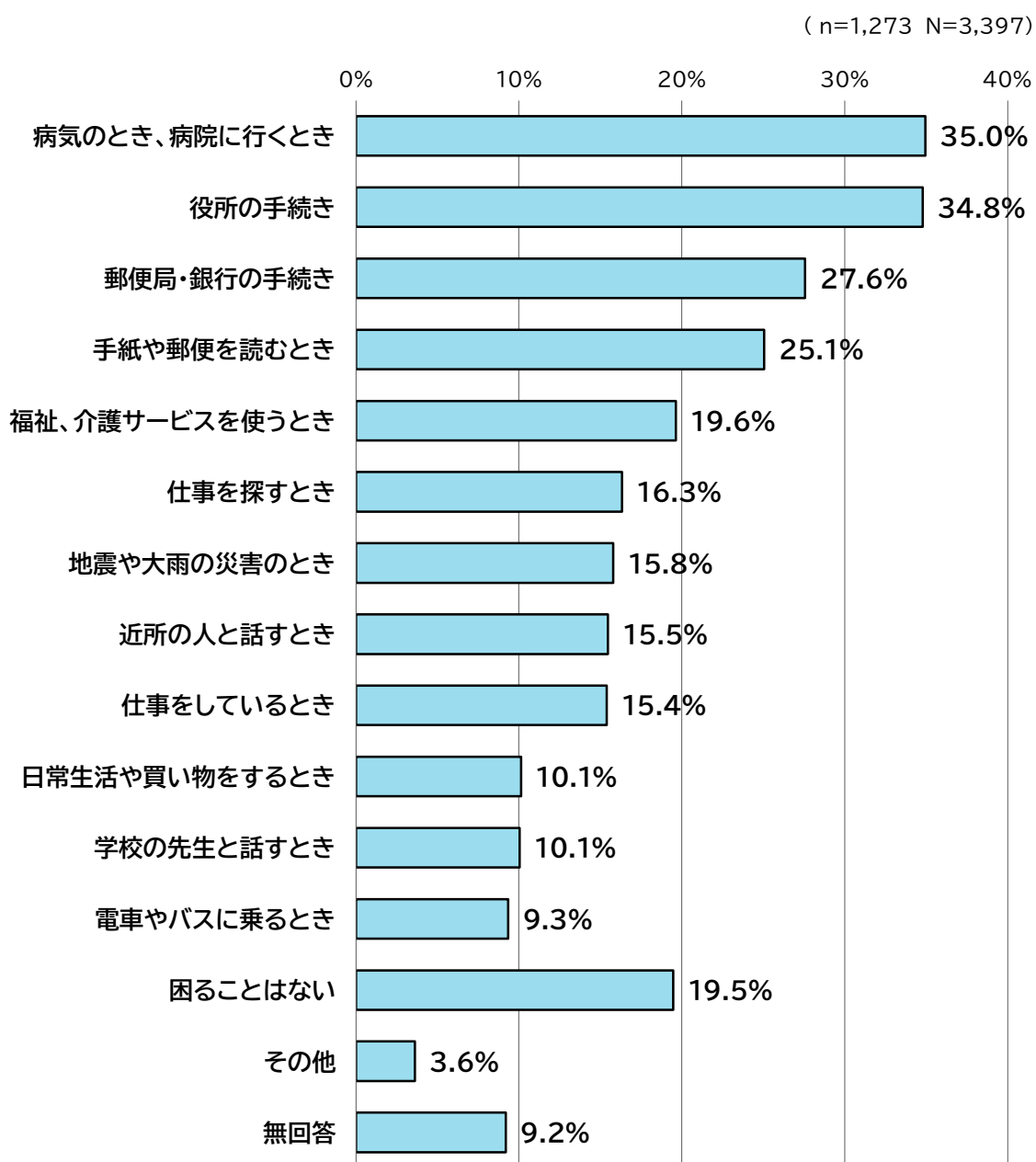
		書く能力				
仕事	合計	仕事の報告書や学校への連絡等、説明する文章を書くことができる	日常生活や自分のふるさと、自分の経験について紹介する文章を書くことができる	職場の同僚や学校の先生、家族に用件を伝える簡単なメモなどを書くことができる	名前や国名、住所などが書ける	ほとんど書けない (代筆が必要)
している	1,064	10%	15%	26%	29%	11%
していない (今、探している)	105	9%	7%	19%	35%	25%
していない (探していない)	87	13%	20%	11%	36%	17%

問 24 日本語が不自由で困ること

問 24 日本語が不自由で、困ることはどんなときですか？（複数選択）

日本語が不自由で困ることは、「病気のとき、病院に行くとき」（35.0%）、「役所の手続き」（34.8%）、「郵便局・銀行の手続き」（27.6%）、「手紙や郵便を読むとき」（25.1%）の順で高くなっている。

図表 I -24 日本語が不自由で困ること



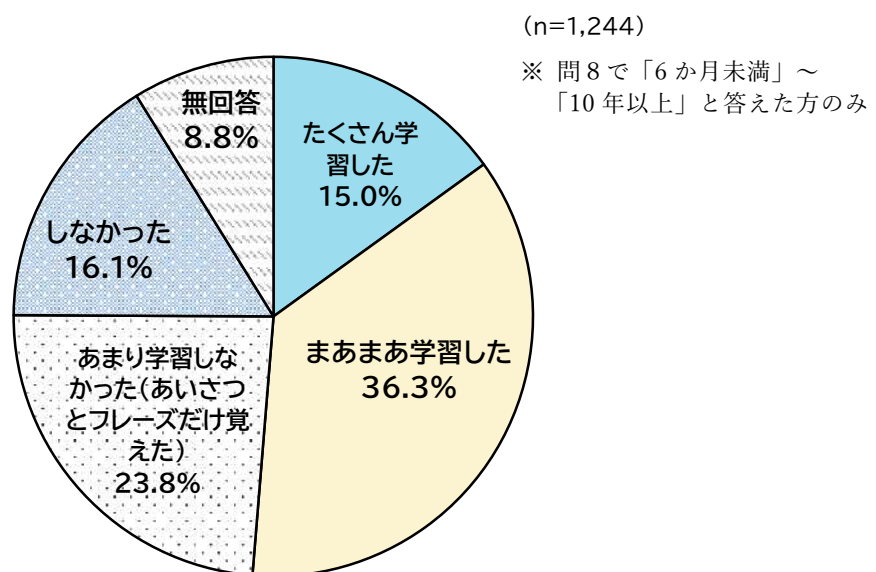
(4)日本語学習

問 25 来日前の日本語学習

問 25 日本に来る前に、どの程度学習しましたか？※

来日前の日本語の学習は、「まあまあ学習した」が36.3%で最も多く、次いで「あまり学習しなかった（あいさつとフレーズだけ覚えた）」が23.8%、「しなかった」が16.1%、「たくさん学習した」が15.0%となっている。

図表 I -25 来日前の日本語学習



在留資格別に見ると、身分に基づく資格である「永住者」「定住者」「日本人の配偶者」「永住者の配偶者」は「しなかった」の割合が高くなっている。一方で、就労系在留資格（技能実習、特定技能1号、技術・人文知識・国際業務）及び留学では、学習要件等もあることから、学習しなかった人はほとんどいない。

		合計	たくさん学習した	まあまあ学習した	あまり学習しなかった(あいさつとフレーズだけ覚えた)	しなかった
全体		1,244	15.0%	36.3%	23.8%	16.1%
在留資格	永住者	276	7.6%	20.3%	26.1%	35.9%
	定住者	148	3.4%	21.6%	27.0%	38.5%
	日本人の配偶者等	45	6.7%	31.1%	31.1%	28.9%
	永住者の配偶者等	19	10.5%	21.1%	26.3%	26.3%
	技能実習	195	17.4%	50.8%	18.5%	1.0%
	特定技能1号	158	21.5%	53.2%	18.4%	0.0%
	留学	164	25.6%	40.9%	22.0%	6.7%
	技術・人文知識・国際業務	101	24.8%	43.6%	22.8%	3.0%
	家族滞在	45	8.9%	31.1%	42.2%	11.1%
	特定活動	8	12.5%	50.0%	0.0%	25.0%
	技能	19	15.8%	36.8%	31.6%	5.3%
	その他	32	28.1%	28.1%	28.1%	3.1%

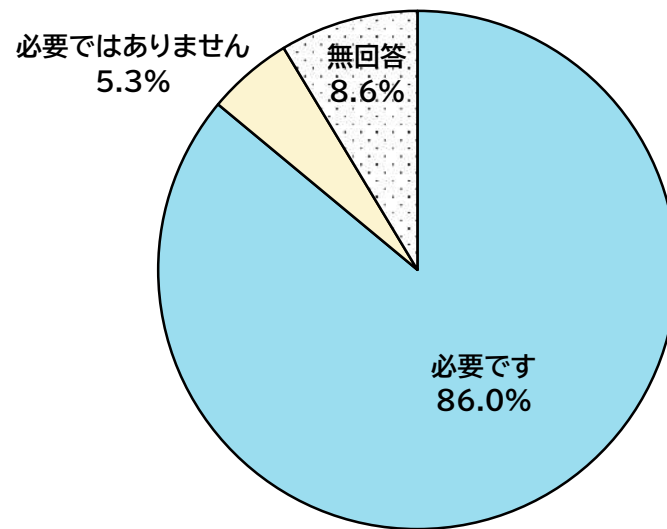
問 26 日本語の習得の必要性

問 26 あなたにとって、日本語の習得は必要ですか？

回答者本人の日本語の習得については、86.0%が必要であると認識している。

図表 I -26 日本語の習得の必要性

(n=1,273)

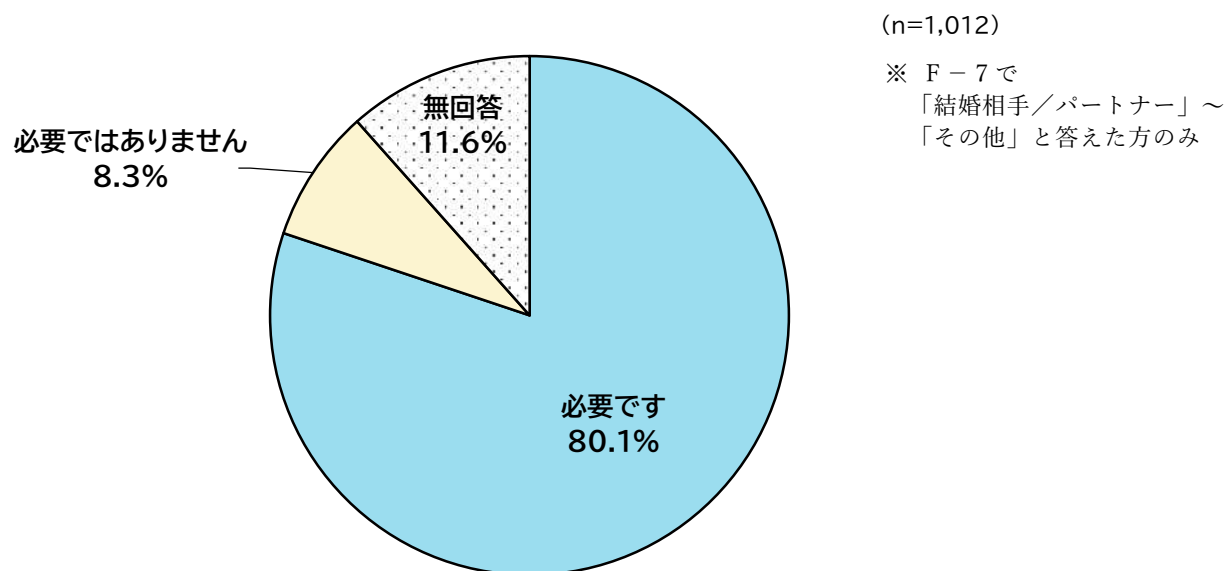


問 27 同居人への日本語の必要性

問 27 あなたと一緒に住んでいる人にとって、日本語は必要だと思いますか？※

回答者の同居人の日本語の習得については、80.1%が必要であると認識している。

図表 I -27 同居人への日本語の必要性

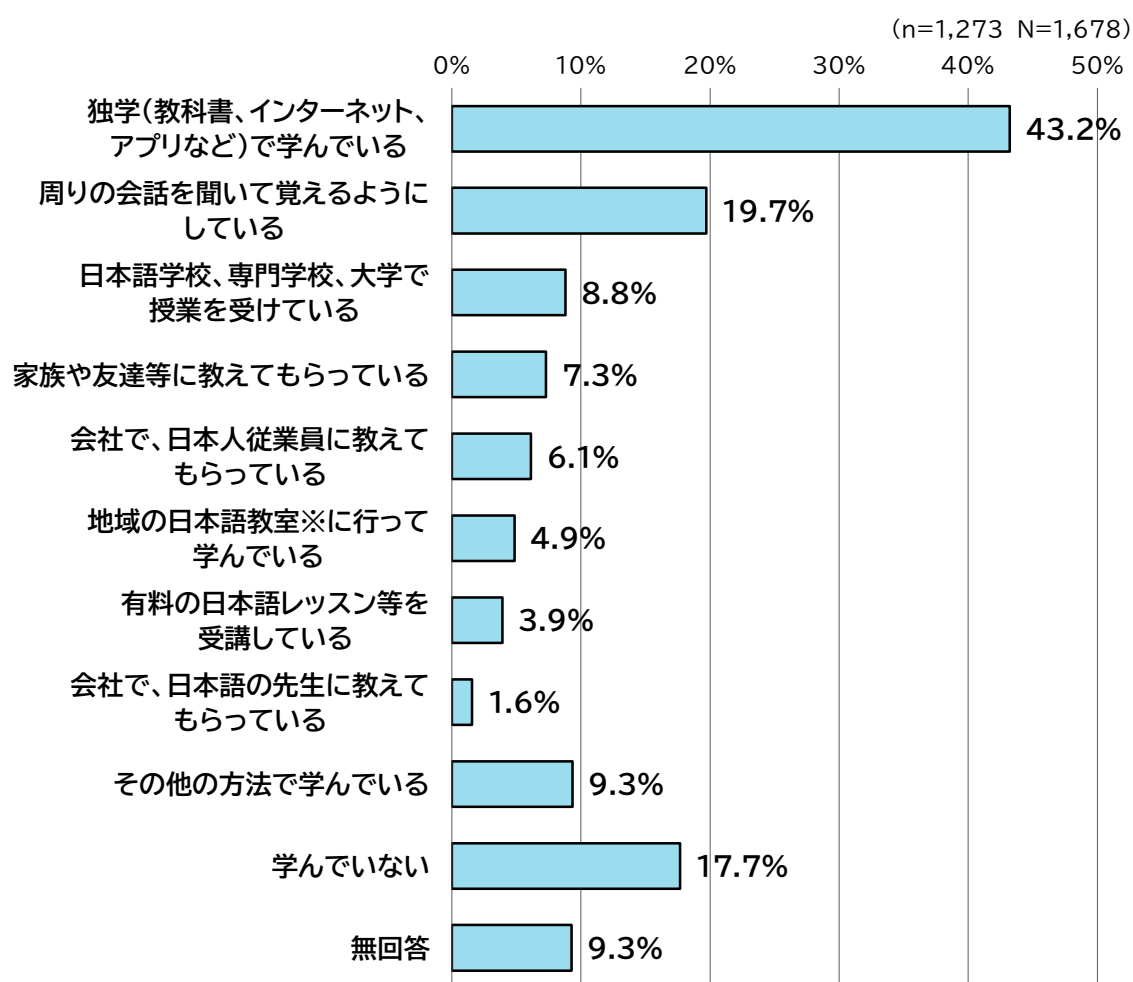


問 28 現在の日本語学習

問 28 今、あなたは日本語を学んでいますか？（複数選択）

日本語学習の方法は、「独学（教科書、インターネット、アプリなど）で学んでいる」が43.2%で最も高く、「学んでいない」は17.7%となっている。

図表 I -28 現在の日本語学習



※「地域の日本語教室」とは、外国人住民と日本人住民が共に参加し、生活に身近なテーマについて話して日本語学習をする教室のことです。

国籍別に見ると、ベトナムとインドネシアは、独学で学んでいる割合が高く 60% 前後、ブラジルは、学んでいない割合が高く 31.0% となっている。在留資格別に見ると、就労系在留資格（技能実習、特定技能 1 号、技術・人文知識・国際業務、技能）及び家族滞在は、独学で学んでいる割合が高く 60% 前後となっている。

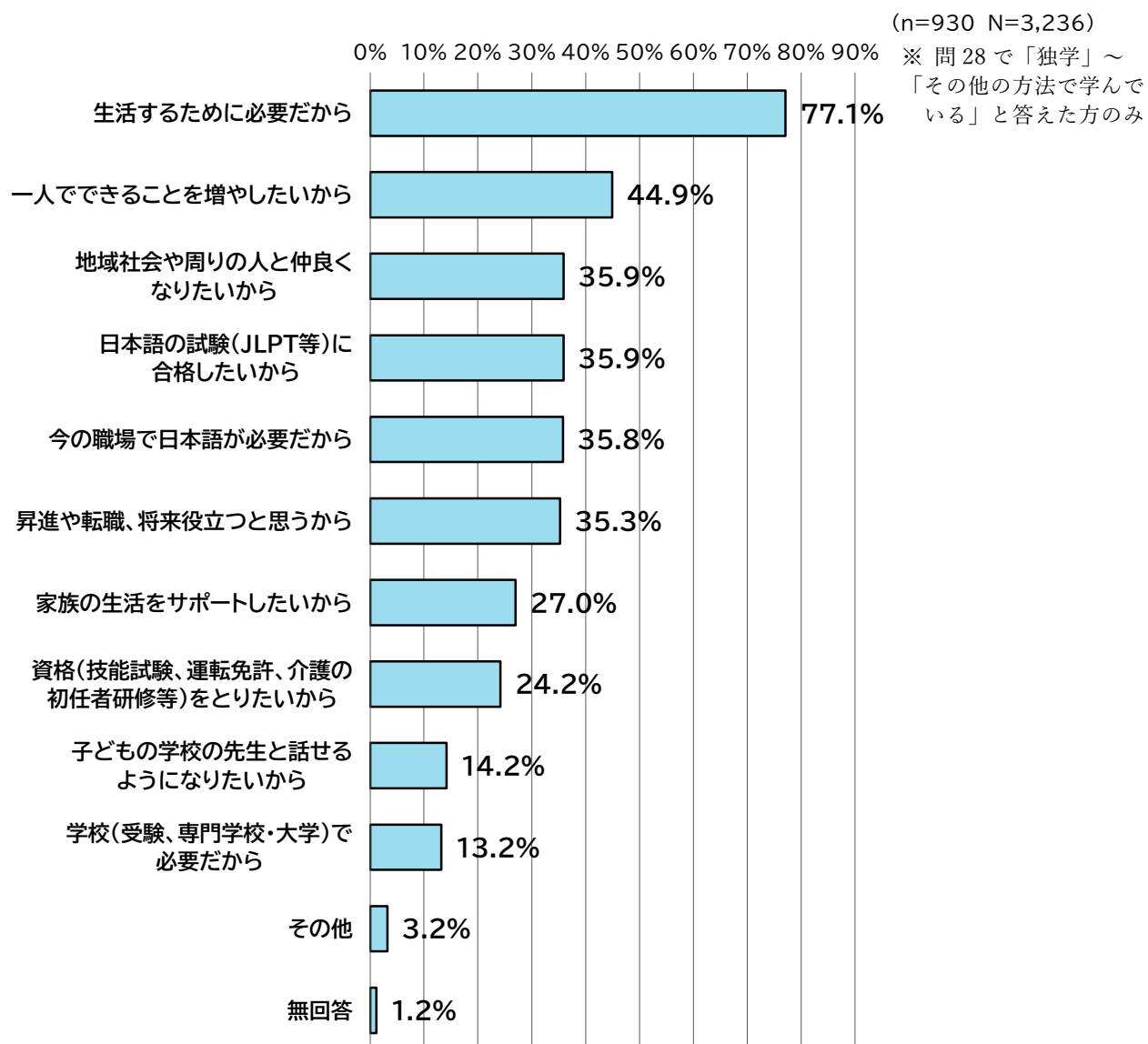
		合計	独学（教科書、インターネット、アプリなどで学んでいる）	周りの会話を聞いて覚えるようにしている	日本語学校、専門学校、大学で授業を受けている	家族や友達等に教えてもらっている	会社で、日本人従業員に教えてもらっている	有料の日本語レッスン等を受講している	会社で、日本語の先生に教えてもらっている	その他の方法で学んでいる	学んでいない	地域の日本語教室に行っている	
全体			1,273	43.2%	19.7%	8.8%	7.3%	6.1%	3.9%	1.6%	9.3%	17.7%	4.9%
国籍	ベトナム	298	59.4%	17.1%	2.0%	2.3%	2.0%	5.0%	2.0%	9.7%	10.7%	3.7%	
	フィリピン	230	32.6%	23.0%	5.7%	13.5%	6.1%	2.6%	0.4%	12.2%	17.4%	4.8%	
	ブラジル	203	28.1%	25.1%	1.5%	14.8%	12.3%	5.9%	0.0%	10.8%	31.0%	5.9%	
	中国	117	47.9%	24.8%	7.7%	4.3%	1.7%	0.9%	0.9%	4.3%	21.4%	6.0%	
	インドネシア	117	63.2%	19.7%	7.7%	5.1%	8.5%	3.4%	3.4%	13.7%	7.7%	7.7%	
	ネパール	81	32.1%	9.9%	21.0%	3.7%	6.2%	6.2%	3.7%	6.2%	11.1%	4.9%	
	ミャンマー	67	44.8%	11.9%	50.7%	1.5%	6.0%	7.5%	4.5%	0.0%	3.0%	4.5%	
	タイ	22	50.0%	22.7%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	36.4%	4.5%	
	スリランカ	21	23.8%	0.0%	28.6%	0.0%	19.0%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	9.5%	
	その他	110	35.5%	20.9%	11.8%	8.2%	7.3%	0.9%	0.9%	11.8%	31.8%	1.8%	
在留資格	永住者	298	26.5%	19.1%	2.0%	13.8%	9.1%	3.7%	0.0%	9.1%	31.2%	4.0%	
	定住者	148	29.7%	28.4%	3.4%	10.8%	9.5%	4.1%	0.7%	16.2%	27.7%	4.1%	
	日本人の配偶者等	46	39.1%	26.1%	4.3%	10.9%	4.3%	4.3%	0.0%	13.0%	21.7%	6.5%	
	永住者の配偶者等	20	45.0%	25.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	
	技能実習	195	61.0%	15.4%	1.5%	4.1%	4.1%	4.1%	2.1%	9.2%	8.7%	4.6%	
	特定技能 1号	158	52.5%	19.6%	0.6%	2.5%	8.2%	3.2%	1.3%	10.8%	14.6%	4.4%	
	留学	165	36.4%	14.5%	53.9%	1.8%	1.2%	4.8%	4.2%	3.6%	5.5%	7.3%	
	技術・人文知識・国際業務	101	59.4%	23.8%	2.0%	2.0%	6.9%	6.9%	1.0%	8.9%	11.9%	4.0%	
	家族滞在	46	58.7%	19.6%	4.3%	10.9%	2.2%	4.3%	0.0%	4.3%	15.2%	13.0%	
	特定活動	8	37.5%	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%	0.0%	37.5%	12.5%	12.5%	0.0%	
	技能	19	57.9%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	15.8%	21.1%	0.0%	
	その他	32	62.5%	18.8%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	3.1%	6.3%	9.4%	6.3%	

問 29 日本語を学ぶ理由

問 29 あなたが日本語を学ぶ理由は何ですか？（複数選択）※

日本語を学ぶ理由は、「生活するために必要だから」が最も高く 77.1%となっている。

図表 I -29 日本語を学ぶ理由

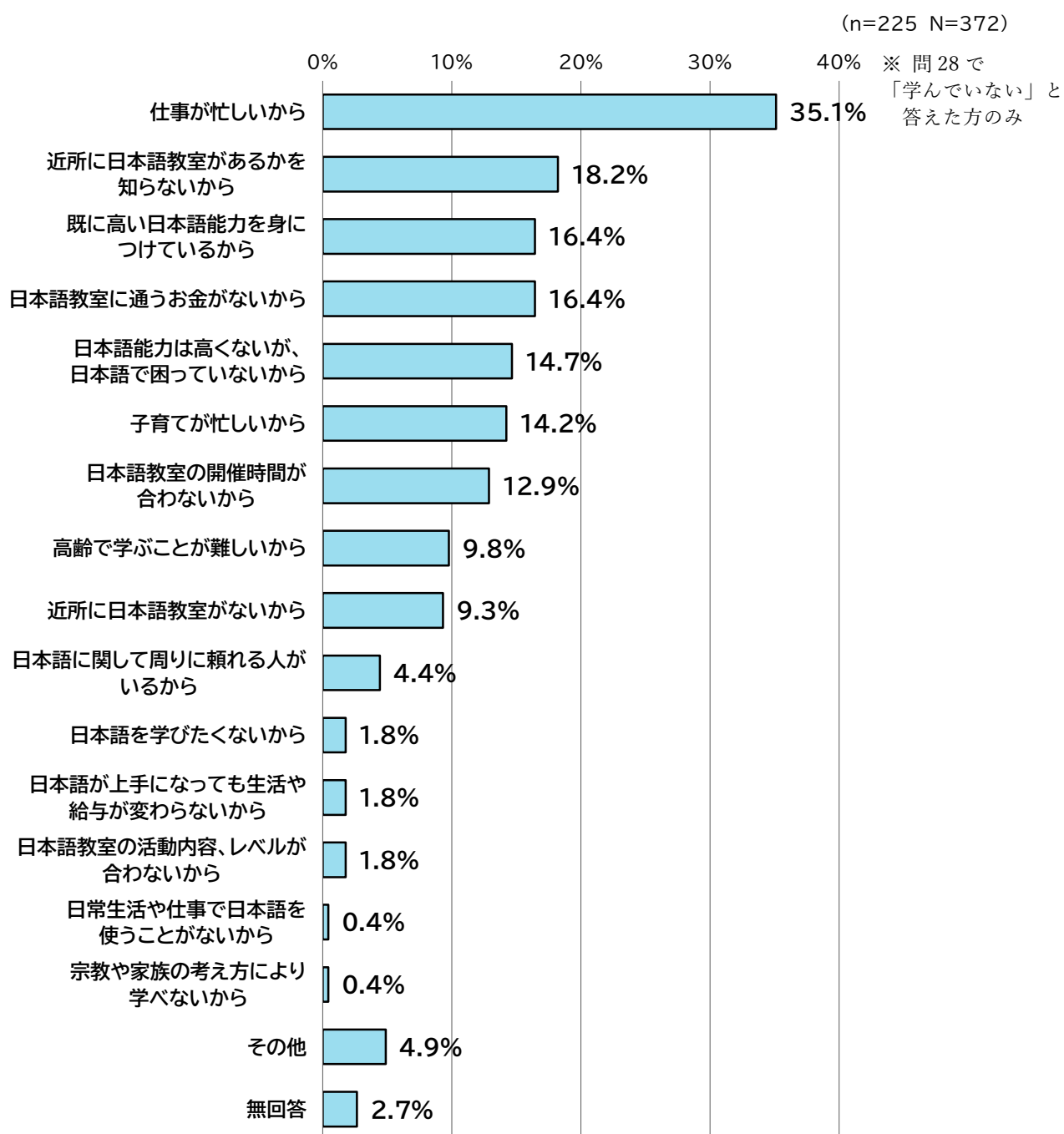


問 30 日本語を学ばない理由

問 30 今、あなたが日本語を学んでいない理由は何ですか？（複数選択）※

日本語を学ばない理由は、「仕事が忙しいから」が 35.1%で最も高くなっている。

図表 I -30 日本語を学ばない理由



問 31 地域の日本語教室への参加

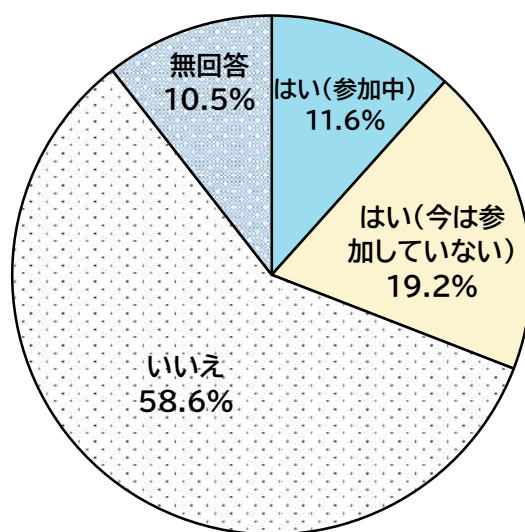
問 31 地域日本語教室※に参加したことがありますか？

※「地域日本語教室」とは、外国人住民と日本人住民が共に参加し、生活に身近なテーマについて話して日本語学習をする教室のことであり、「地域の日本語教室」と同義です。

地域の日本語教室に参加している人は11.6%、過去に参加したことがある人の19.2%と合わせても、30.8%にとどまっている。

図表 I -31 地域の日本語教室への参加

(n=1,273)



圏域別に見ると、飛騨地域における参加者が2.8%で、他の地域より少ない。

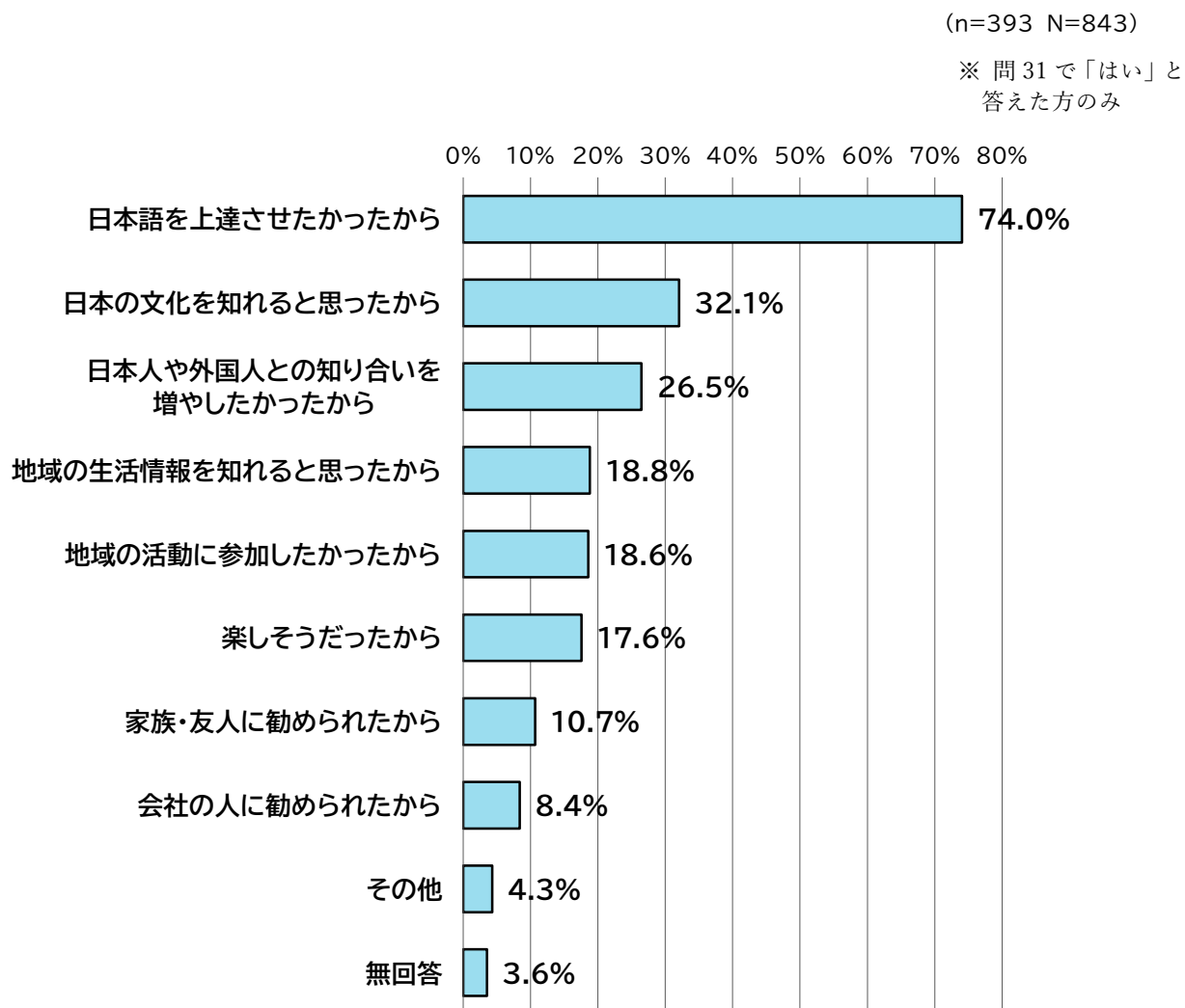
		合計	はい (参加中)	はい (今は参加していない)	いいえ	無回答
全体		1,273	11.6%	19.2%	58.6%	10.5%
圏域	岐阜	527	15.7%	16.1%	57.9%	10.2%
	西濃	192	10.4%	19.8%	57.8%	12.0%
	中濃	297	8.1%	23.2%	61.3%	7.4%
	東濃	133	12.0%	19.5%	55.6%	12.8%
	飛騨	107	2.8%	23.4%	63.6%	10.3%

問 32 地域の日本語教室に参加した理由

問 32 地域の日本語教室に参加した理由はなんですか？（複数選択）※

地域の日本語教室に参加した理由は、「日本語を上達させたかったから」が74.0%と最も高くなっている。

図表 I 32 地域の日本語教室に参加した理由



国籍別に見ると、インドネシアで「日本人や外国人との知り合いを増やしたかったから」が40.8%と高くなっている。在留資格別に見ると、技術・人文知識・国際業務で「日本人や外国人との知り合いを増やしたかったから」「日本の文化を知れると思ったから」が50%前後と高くなっている。

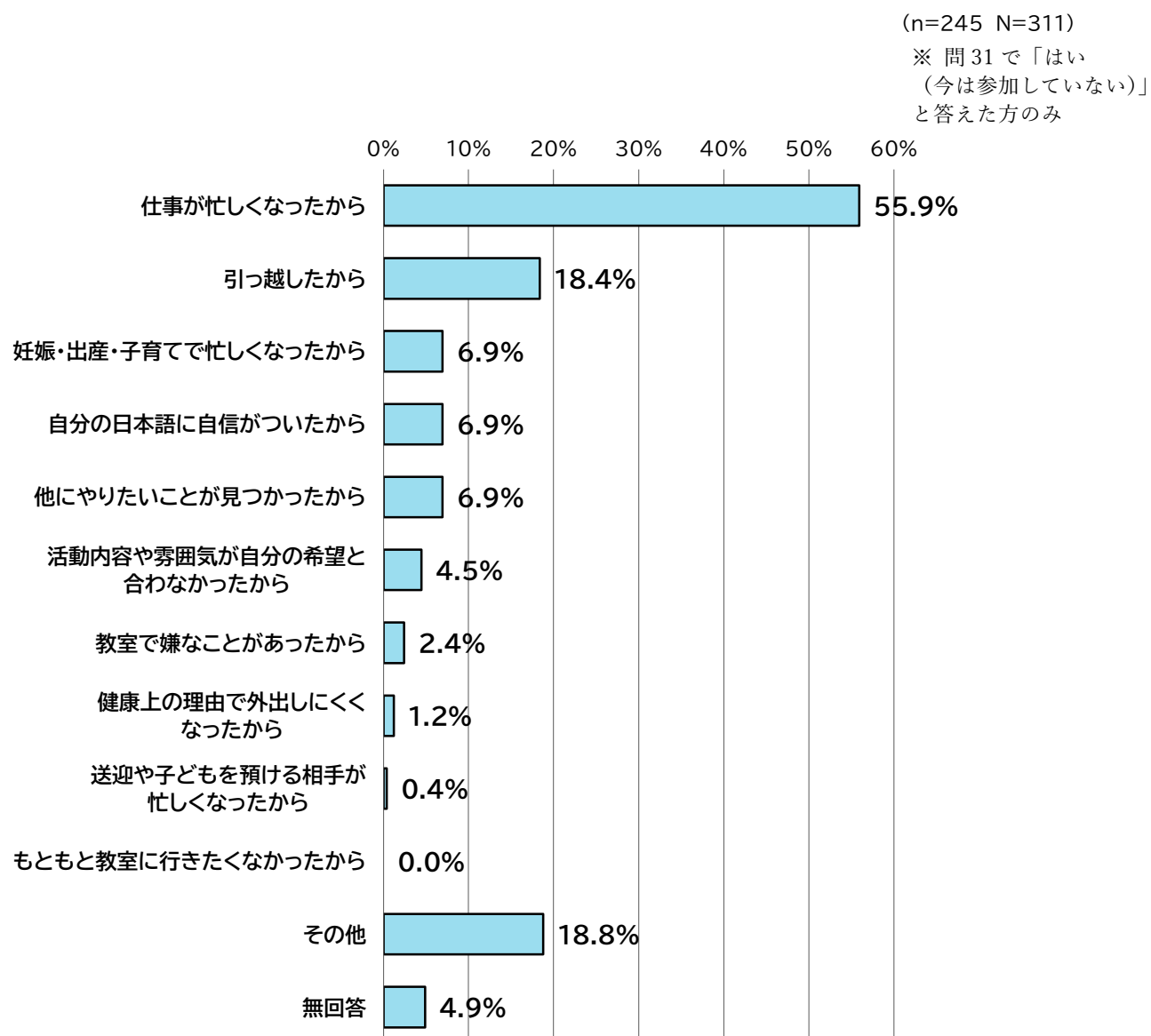
		合計	日本語を上達させたかったから	日本の文化を知れると思ったから	日本人や外国人との知り合いを増やしたかったから	地域の生活情報を知れると思ったから	地域の活動に参加したかったから	楽しそうだったから	家族・友人に勧められたから	会社の人に勧められたから	その他
全体		393	74.0%	32.1%	26.5%	18.8%	18.6%	17.6%	10.7%	8.4%	4.3%
国籍	ベトナム	64	79.7%	32.8%	32.8%	20.3%	26.6%	29.7%	14.1%	18.8%	4.7%
	フィリピン	62	58.1%	33.9%	25.8%	30.6%	17.7%	14.5%	12.9%	4.8%	8.1%
	ブラジル	55	81.8%	41.8%	14.5%	21.8%	14.5%	10.9%	14.5%	5.5%	3.6%
	中国	40	77.5%	27.5%	32.5%	17.5%	20.0%	15.0%	10.0%	7.5%	10.0%
	インドネシア	49	69.4%	36.7%	40.8%	24.5%	26.5%	34.7%	10.2%	10.2%	0.0%
	ネパール	31	77.4%	32.3%	16.1%	6.5%	12.9%	9.7%	6.5%	0.0%	3.2%
	ミャンマー	42	78.6%	31.0%	26.2%	7.1%	11.9%	4.8%	4.8%	2.4%	2.4%
	タイ	7	85.7%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
	スリランカ	9	55.6%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
	その他	32	78.1%	18.8%	25.0%	15.6%	18.8%	21.9%	9.4%	15.6%	3.1%
在留資格	永住者	81	67.9%	29.6%	18.5%	21.0%	16.0%	9.9%	11.1%	4.9%	6.2%
	定住者	37	81.1%	37.8%	18.9%	27.0%	13.5%	18.9%	16.2%	0.0%	5.4%
	日本人の配偶者等	20	65.0%	30.0%	25.0%	20.0%	15.0%	5.0%	20.0%	10.0%	5.0%
	永住者の配偶者等	6	83.3%	50.0%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	技能実習	53	73.6%	24.5%	26.4%	17.0%	20.8%	20.8%	3.8%	15.1%	5.7%
	特定技能1号	44	63.6%	25.0%	25.0%	13.6%	9.1%	20.5%	4.5%	15.9%	4.5%
	留学	74	74.3%	33.8%	27.0%	13.5%	18.9%	10.8%	9.5%	4.1%	2.7%
	技術・人文知識・国際業務	38	84.2%	50.0%	52.6%	28.9%	39.5%	39.5%	18.4%	18.4%	5.3%
	家族滞在	16	87.5%	31.3%	31.3%	18.8%	31.3%	37.5%	18.8%	6.3%	0.0%
	特定活動	3	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	技能	2	100.0%	100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	その他	8	87.5%	37.5%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 33 地域の日本語教室に参加しなくなった理由

問 33 地域日本語教室に参加しなくなった理由は何ですか？（複数選択）※

地域の日本語教室に参加しなくなった理由は、「仕事が忙しくなったから」が55.9%と他より圧倒的に高くなっている。

図表 I -33 地域の日本語教室に参加しなくなった理由

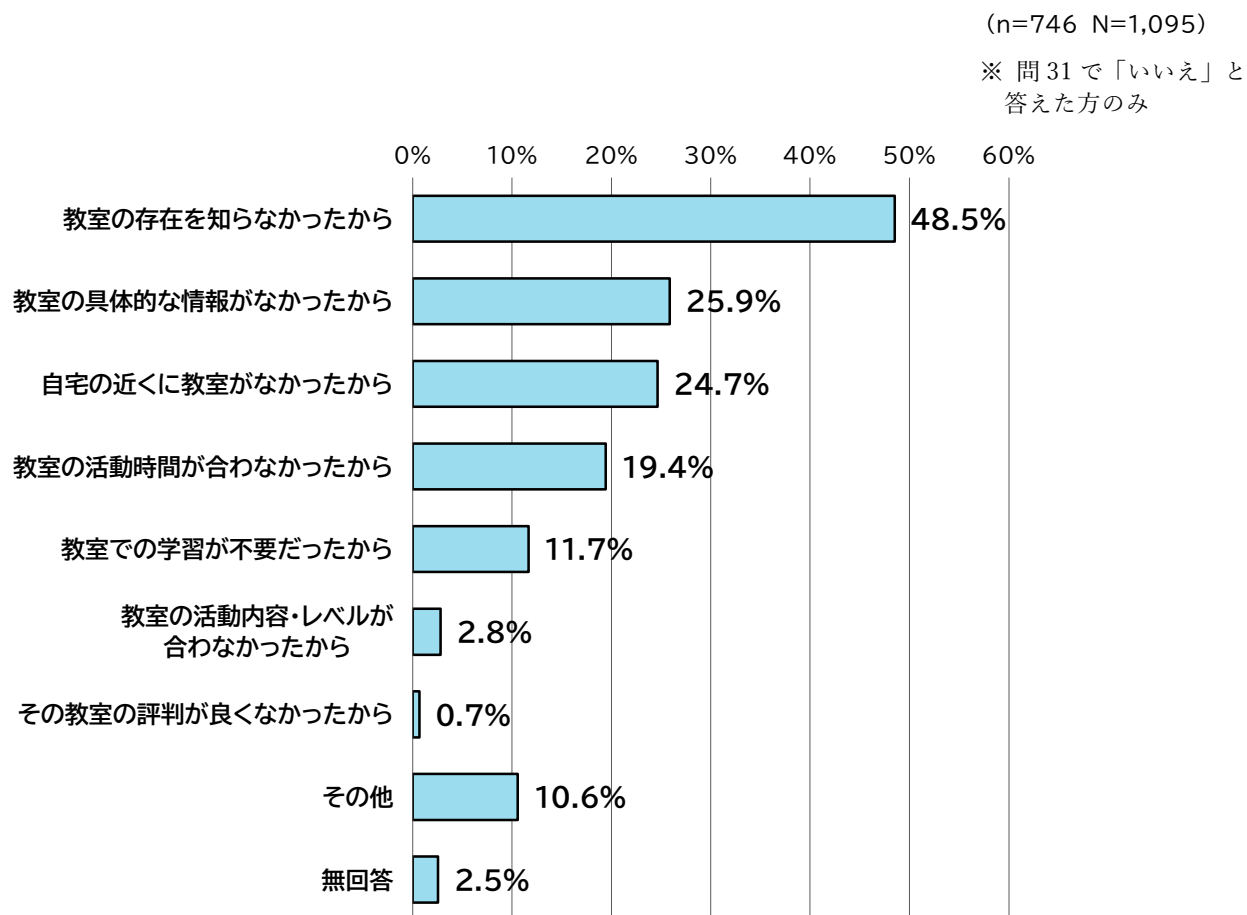


問 34 地域の日本語教室に参加しなかった理由

問 34 地域日本語教室に参加しなかった理由は何ですか？（複数選択）※

地域の日本語教室に参加しなかった理由は、「教室の存在を知らなかったから」が最も高く 48.5%となっている。

図表 I -34 地域の日本語教室に参加しなかった理由



圏域別に見ると飛騨地域、居住年数別に見ると6ヶ月未満、在留資格に見ると技能実習、特定技能1号、留学、技術・人文知識・国際業務において「教室の存在を知らなかったから」の割合が高くなっている。

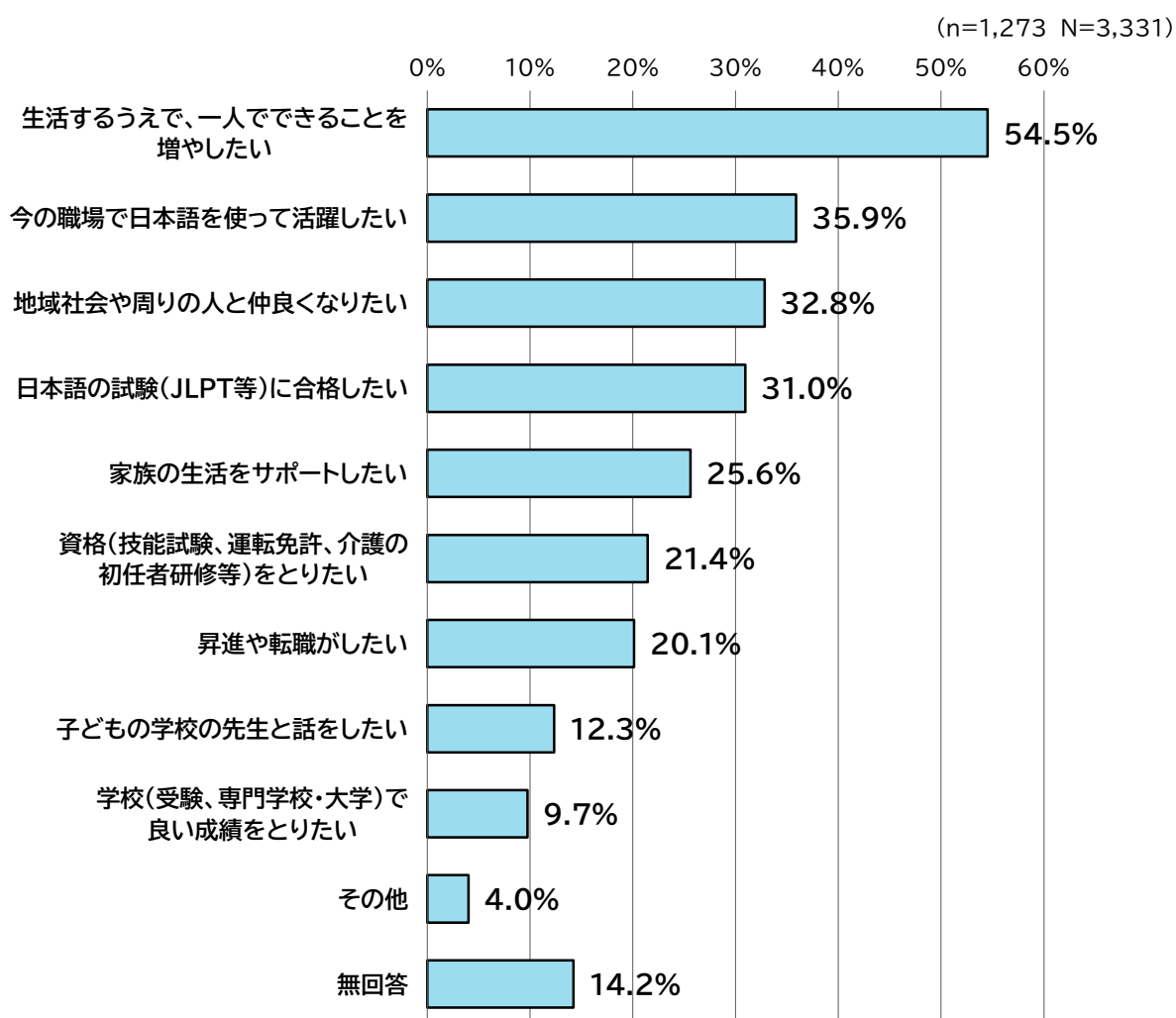
		合計	教室の存在を 知らなかった から	教室の具体的 な情報がな かったから	自宅の近くに 教室がなかつ たから	教室の活動時 間が合わな かったから	教室での学習 が不要だった から	教室の活動内 容・レベルが 合わなかった から	その教室の評 判が良くな かったから	その他
全体		746	48.5%	25.9%	24.7%	19.4%	11.7%	2.8%	0.7%	10.6%
在留資格	永住者	178	36.0%	23.0%	17.4%	23.0%	20.2%	1.7%	0.6%	10.7%
	定住者	97	41.2%	21.6%	23.7%	28.9%	7.2%	3.1%	0.0%	12.4%
	日本人の配偶者等	25	40.0%	16.0%	20.0%	16.0%	12.0%	4.0%	4.0%	20.0%
	永住者の配偶者等	11	36.4%	36.4%	45.5%	36.4%	0.0%	9.1%	0.0%	18.2%
	技能実習	117	53.8%	26.5%	29.1%	14.5%	7.7%	0.9%	0.9%	9.4%
	特定技能1号	102	59.8%	26.5%	39.2%	19.6%	6.9%	2.0%	1.0%	5.9%
	留学	79	59.5%	35.4%	19.0%	8.9%	7.6%	3.8%	0.0%	8.9%
	技術・人文知識・国際業務	55	54.5%	27.3%	20.0%	23.6%	23.6%	9.1%	1.8%	14.5%
	家族滞在	27	51.9%	18.5%	25.9%	18.5%	7.4%	0.0%	0.0%	3.7%
	特定活動	4	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	技能 その他	15 20	46.7% 50.0%	33.3% 25.0%	33.3% 15.0%	20.0% 10.0%	0.0% 5.0%	0.0% 10.0%	0.0% 0.0%	20.0% 10.0%
圏域	岐阜	305	46.6%	26.9%	19.7%	17.0%	13.8%	3.0%	0.7%	11.8%
	西濃	111	55.0%	24.3%	14.4%	15.3%	11.7%	2.7%	0.9%	9.0%
	中濃	182	44.0%	28.0%	31.3%	29.1%	7.1%	2.7%	1.1%	9.9%
	東濃	74	45.9%	21.6%	36.5%	21.6%	16.2%	1.4%	0.0%	9.5%
	飛騨	68	61.8%	22.1%	33.8%	8.8%	10.3%	2.9%	0.0%	10.3%
日本での 居住年数	6か月未満	61	63.9%	36.1%	24.6%	6.6%	8.2%	4.9%	0.0%	6.6%
	6か月以上～1年未満	53	56.6%	32.1%	24.5%	24.5%	9.4%	1.9%	0.0%	7.5%
	1年以上～3年未満	171	57.9%	30.4%	26.9%	10.5%	4.7%	2.3%	0.6%	9.4%
	3年以上～5年未満	96	50.0%	29.2%	30.2%	22.9%	6.3%	5.2%	0.0%	13.5%
	5年以上～10年未満	139	47.5%	22.3%	28.8%	27.3%	12.2%	2.2%	1.4%	10.1%
	10年以上	207	37.2%	20.8%	19.8%	24.2%	15.5%	2.4%	1.0%	12.1%
	生まれてからずっと	17	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%	82.4%	0.0%	0.0%	11.8%

問 35 日本語を学習してできるようになりたいこと

問 35 日本語を学習して「できるようになりたい」と思うことは何ですか？
(複数選択)

「生活するうえで、一人でできることを増やしたい」が最も高く 54.5%となっている。

図表 I -35 日本語を学習してできるようになりたいこと



「生活するうえで、一人でできることを増やしたい」の選択者を国籍別に見るとインドネシア、ブラジル、タイの順で高くなっている。在留資格別に見ると、技能、定住者、家族滞在が高くなっている。

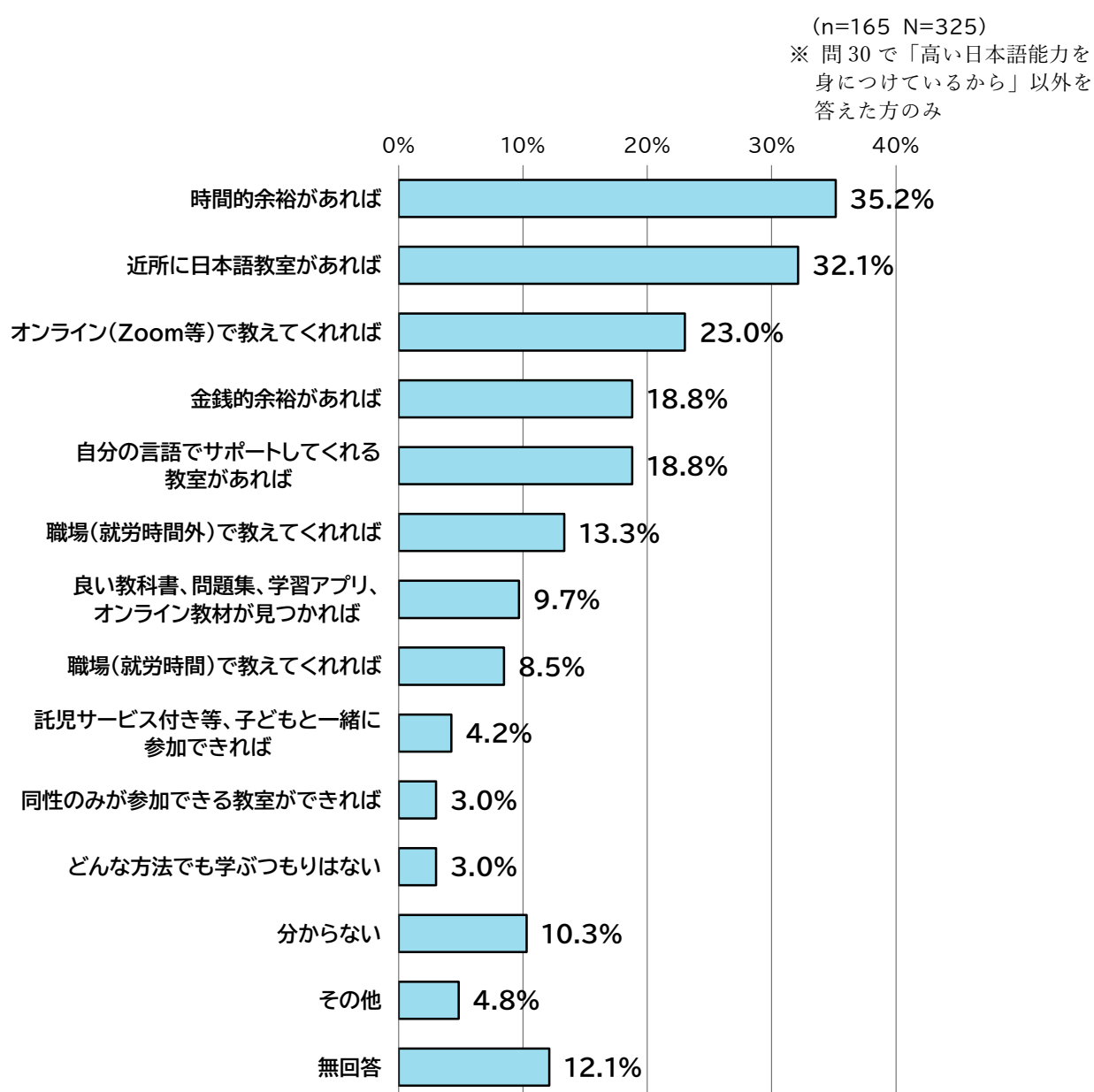
		合計	生活するうえで、一人でできることを増やしたい	今の職場で日本語を使って活躍したい	地域社会や周りの人と仲良くなりたい	日本語の試験（JLPT等）に合格したい	家族の生活をサポートしたい	資格（技能試験、運転免許、介護の初任者研修等）をとりたい	昇進や転職をしたい	子どもの学校の先生と話をしたい	学校（受験、専門学校・大学）で良い成績をとりたい	その他
全体		1,273	54.5%	35.9%	32.8%	31.0%	25.6%	21.4%	20.1%	12.3%	9.7%	4.0%
国籍	ベトナム	298	47.7%	53.0%	36.6%	43.0%	29.2%	30.9%	32.2%	11.7%	11.4%	1.0%
	フィリピン	230	52.2%	29.6%	27.0%	22.6%	28.3%	14.3%	13.0%	13.0%	5.2%	5.7%
	ブラジル	203	64.5%	36.9%	33.5%	22.7%	36.5%	18.2%	22.7%	20.2%	3.9%	7.4%
	中国	117	46.2%	39.3%	39.3%	19.7%	17.9%	20.5%	16.2%	15.4%	9.4%	5.1%
	インドネシア	117	70.9%	42.7%	46.2%	53.8%	24.8%	38.5%	23.1%	11.1%	15.4%	2.6%
	ネパール	81	49.4%	17.3%	27.2%	30.9%	17.3%	18.5%	13.6%	2.5%	17.3%	1.2%
	ミャンマー	67	49.3%	22.4%	19.4%	25.4%	17.9%	9.0%	11.9%	3.0%	25.4%	3.0%
	タイ	22	63.6%	18.2%	22.7%	50.0%	22.7%	22.7%	13.6%	13.6%	4.5%	4.5%
	スリランカ	21	52.4%	9.5%	19.0%	9.5%	14.3%	9.5%	4.8%	19.0%	4.8%	4.8%
	その他	110	59.1%	21.8%	30.9%	24.5%	14.5%	12.7%	13.6%	8.2%	7.3%	5.5%
在留資格	永住者	298	53.4%	29.9%	22.1%	18.8%	26.2%	12.4%	16.4%	16.1%	3.0%	8.7%
	定住者	148	64.9%	33.1%	42.6%	21.6%	42.6%	19.6%	20.3%	22.3%	5.4%	5.4%
	日本人の配偶者等	46	47.8%	28.3%	28.3%	15.2%	41.3%	13.0%	13.0%	17.4%	6.5%	6.5%
	永住者の配偶者等	20	55.0%	35.0%	45.0%	25.0%	30.0%	10.0%	15.0%	25.0%	10.0%	0.0%
	技能実習	195	47.7%	39.0%	30.8%	42.6%	17.9%	24.1%	21.0%	3.6%	5.1%	2.1%
	特定技能1号	158	54.4%	44.3%	30.4%	45.6%	20.9%	30.4%	21.5%	5.7%	7.6%	1.3%
	留学	165	54.5%	25.5%	36.4%	38.2%	15.2%	21.2%	15.8%	4.8%	33.3%	2.4%
	技術・人文知識・国際業務	101	55.4%	57.4%	45.5%	32.7%	29.7%	33.7%	47.5%	11.9%	9.9%	3.0%
	家族滞在	46	60.9%	32.6%	43.5%	26.1%	41.3%	28.3%	8.7%	41.3%	15.2%	0.0%
	特定活動	8	37.5%	25.0%	12.5%	25.0%	37.5%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	技能	19	68.4%	47.4%	57.9%	31.6%	42.1%	31.6%	26.3%	15.8%	5.3%	0.0%
	その他	32	65.6%	37.5%	37.5%	34.4%	12.5%	21.9%	12.5%	9.4%	9.4%	3.1%

問 36 日本語を学習する条件

問 36 あなたは、どんな条件が整ったら今の状況でも日本語を学習できそうですか？（複数選択）※

日本語を学習する条件としては、「時間的余裕があれば」（35.2%）、「近所に日本語教室があれば」（32.1%）、「オンライン（Zoom 等）で教えてくれれば」（23.0%）が高くなっている。

図表 I -36 日本語を学習する条件



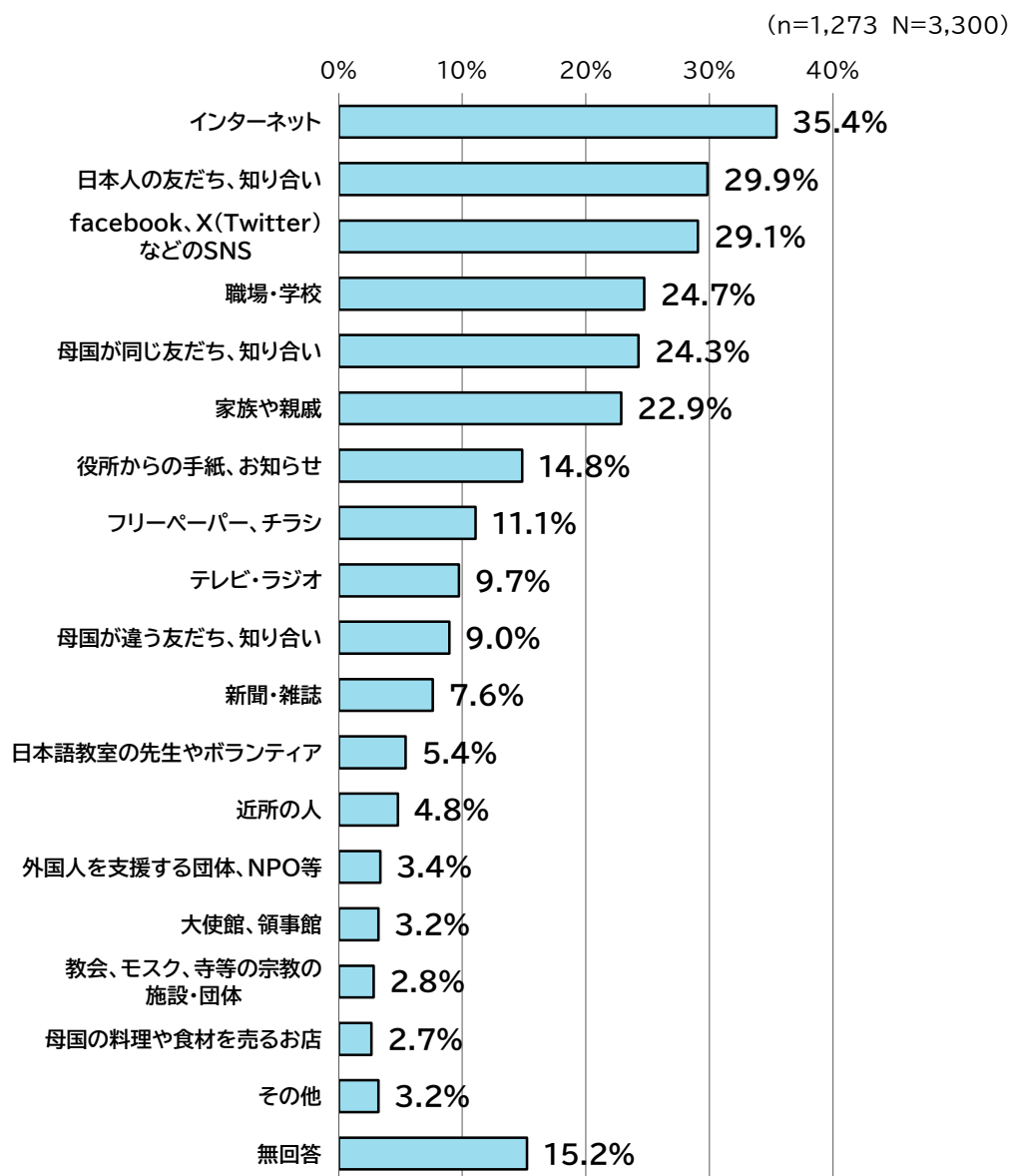
(5)困りごと

問 37 イベントや生活に必要な情報の入手方法

問 37 地域のイベントや生活に必要な情報をどうやって入手していますか？
(複数選択)

情報の入手方法は、「インターネット」(35.4%)、「日本人の友だち、知り合い」(29.9%)、「facebook、X (Twitter) などの SNS」(29.1%)、「職場・学校」(24.7%)、「母国が同じ友だち、知り合い」(24.3%)、「家族や親戚」(22.9%) の順で高くなっている。

図表 I -37 イベントや生活に必要な情報の入手方法



国籍別に見ると、ブラジルは「インターネット」、「facebook、X (Twitter) などの SNS」が高く、次いで「役所からの手紙、お知らせ」が多くなっている。在留資格別に見ると、特定技能 1 号、技術・人文知識・国際業務では「日本人の友だち、知り合い」の割合が他と比べて高くなっている。

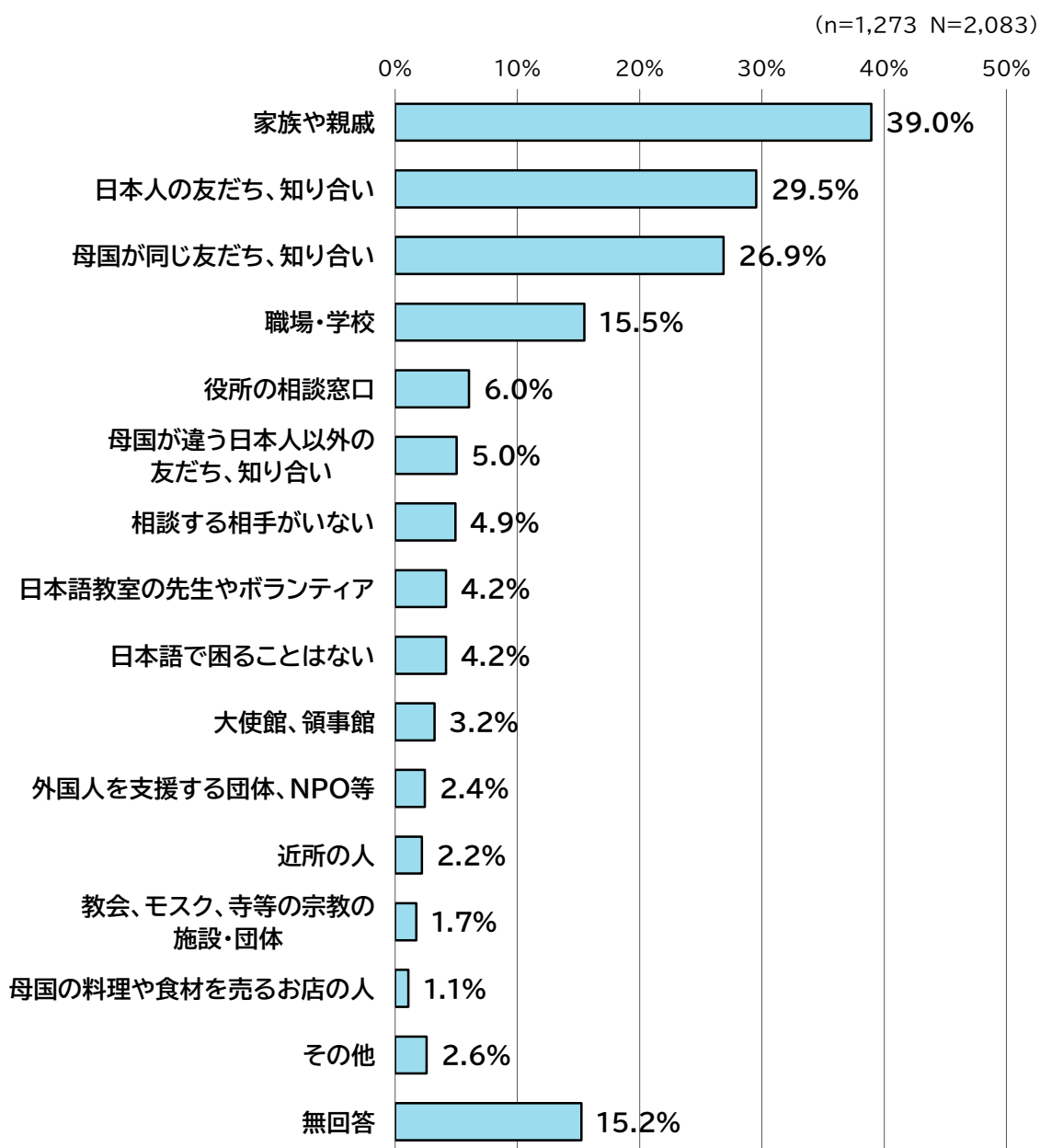
		合計	新聞・雑誌	日本語教室の先生やボランティア	近所の人	外国人を支援する団体、NPO等	大使館、領事館	教会、モスク、寺等の宗教の施設・団体	母国の料理や食材を売るお店	その他
全体		1,273	7.6%	5.4%	4.8%	3.4%	3.2%	2.8%	2.7%	3.2%
国籍	ベトナム	298	9.7%	3.7%	4.7%	1.7%	0.7%	2.0%	2.7%	4.0%
	フィリピン	230	4.3%	2.6%	4.8%	5.2%	3.5%	5.2%	1.7%	3.0%
	ブラジル	203	12.3%	3.9%	8.4%	6.4%	7.4%	4.9%	5.4%	3.0%
	中国	117	11.1%	3.4%	5.1%	0.9%	3.4%	0.0%	0.0%	3.4%
	インドネシア	117	6.8%	7.7%	1.7%	3.4%	2.6%	4.3%	2.6%	0.9%
	ネパール	81	0.0%	7.4%	1.2%	1.2%	0.0%	0.0%	4.9%	4.5%
	ミャンマー	67	0.0%	20.9%	0.0%	1.5%	3.0%	1.5%	1.5%	4.5%
	タイ	22	4.5%	4.5%	0.0%	13.6%	4.5%	0.0%	9.1%	0.0%
	スリランカ	21	9.5%	9.5%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%
	その他	110	8.2%	7.3%	8.2%	2.7%	5.5%	1.8%	0.9%	2.7%
在留資格	永住者	298	11.1%	1.7%	5.4%	4.4%	4.0%	3.0%	3.0%	3.0%
	定住者	148	5.4%	2.7%	6.1%	5.4%	5.4%	6.1%	3.4%	2.7%
	日本人の配偶者等	46	6.5%	2.2%	6.5%	0.0%	4.3%	6.5%	0.0%	4.3%
	永住者の配偶者等	20	5.0%	5.0%	15.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	技能実習	195	4.1%	3.1%	1.5%	2.6%	1.0%	2.1%	2.6%	5.1%
	特定技能 1 号	158	8.2%	3.2%	3.8%	1.9%	0.6%	0.6%	4.4%	3.2%
	留学	165	2.4%	20.0%	2.4%	4.2%	4.2%	2.4%	1.8%	3.6%
	技術・人文知識・国際業務	101	16.8%	5.9%	8.9%	3.0%	5.9%	5.0%	4.0%	1.0%
	家族滞在	46	6.5%	8.7%	8.7%	0.0%	2.2%	2.2%	2.2%	2.2%
	特定活動	8	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	技能	19	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%
	その他	32	6.3%	3.1%	9.4%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	3.1%

問 38 日本での生活で困った時の相談先

問 38 日本での生活で困った時、誰に相談していますか？（複数選択）

困った時の相談先は、「家族や親戚」（39.0%）、「日本人の友だち、知り合い」（29.5%）、「母国が同じ友だち、知り合い」（26.9%）、「職場・学校」（15.5%）の順で高くなっている。

図表 I -38 日本での生活で困った時の相談先



国籍別に見ると、ブラジルは「役所の相談窓口」の割合が18.2%と他の国籍より顕著に高くなっている。

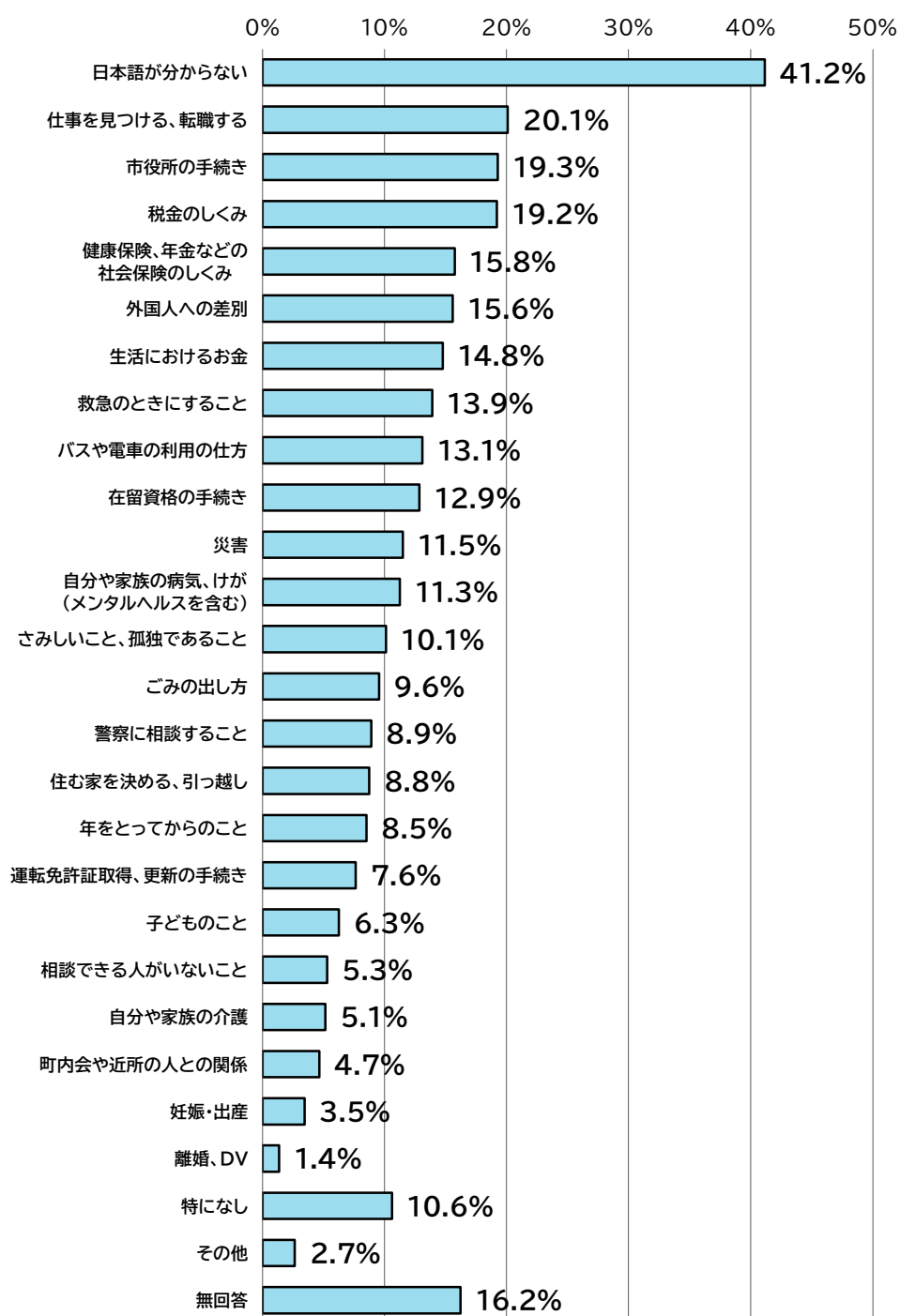
	合計	家族や親戚	日本人の友だち、知り合い	母国が同じ方たち、知り合い	職場・学校	役所の相談窓口	母国が違っても本人以外の友だち、知り合い	相談する相手がいらない	日本語教室の先生やボランティア	日本語で困ることはない	大使館、領事館	外国人を支援する団体、NPO等	近所の人	教会、モスク、神等の宗教の施設・団体	母国の料理や食料を売るお店の人	その他	
国籍	ベトナム	298	36.6%	35.6%	33.2%	18.5%	1.3%	4.4%	5.0%	2.7%	3.0%	3.4%	2.7%	1.3%	0.0%	0.7%	2.0%
	フィリピン	220	65.2%	21.7%	18.7%	9.1%	7.4%	3.0%	4.3%	1.7%	2.2%	0.4%	0.9%	1.7%	3.3%	0.0%	3.0%
	ブラジル	203	46.8%	20.7%	29.1%	9.4%	18.2%	3.0%	7.4%	1.5%	9.4%	4.9%	3.4%	3.9%	3.4%	1.5%	2.0%
	中国	117	49.6%	33.3%	29.9%	12.8%	5.1%	2.6%	3.4%	1.7%	4.3%	6.0%	0.9%	4.3%	0.9%	0.0%	0.9%
	インドネシア	117	19.7%	47.9%	41.0%	16.7%	2.6%	8.5%	5.1%	10.3%	2.6%	6.0%	5.1%	0.9%	3.4%	2.6%	1.7%
	ネパール	81	32.1%	28.4%	18.5%	23.5%	2.5%	9.9%	3.7%	13.6%	2.5%	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%	3.7%	3.7%
	ミャンマー	67	28.4%	16.4%	29.4%	19.4%	4.5%	3.0%	4.5%	11.9%	4.5%	1.5%	1.5%	1.5%	0.0%	1.5%	3.0%
	タイ	22	31.8%	50.0%	31.8%	27.3%	0.0%	9.1%	13.6%	0.0%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	スリランカ	21	19.0%	38.1%	4.8%	9.5%	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	9.5%
	その他	110	65.5%	27.3%	14.5%	21.8%	3.6%	11.8%	3.6%	2.7%	4.5%	4.5%	0.9%	3.6%	0.9%	0.9%	4.5%

問 39 来日して、困ったことや不安なこと

問 39 日本に来てから困ったことや不安なことは何ですか？（複数選択）※

来日して困ったことや不安なことは、「日本語が分からない」（41.2%）が最も高く、次いで「仕事を見つける、転職する」（20.1%）、「市役所の手続き」（19.3%）、「税金のしくみ」（19.2%）の順で高くなっている。

図表 I -39 来日して、困ったことや不安なこと



(n=1,244 N=3,953)

※ 問8で「6か月未満」～「10年以上」と答えた方のみ

国籍別に見ると、ブラジルは「外国人への差別」、「年をとってからのこと」、「子どものこと」、「自分や家族の介護」、「町内会や近所の人との関係」が他に比べると高く、介護や近所との関係など、生活に関わる不安を感じている。

在留資格別に見ると、技術・人文知識・国際業務で、「税金のしくみ」「社会保険のしくみ」など就労（所得）に関することに不安を感じている。

	合計	日本語が分からない	仕事を見つかる、転職する	市役所の手続き	税金のしくみ	健康保険、年金などの社会保険のしくみ	外国人への差別	生活におけるお金	緊急のときにすること	バスや電車の利用の仕方	在留資格の手続き	災害	自分や家族の病気、けが（メンタルヘルスを含む）	さみしいこと、孤独であること
全体	1,244	41.2%	20.1%	19.3%	19.2%	15.8%	15.6%	14.8%	13.9%	13.1%	12.9%	11.5%	11.3%	10.1%
国籍	ベトナム	52.2%	22.2%	21.9%	19.9%	19.5%	18.5%	15.5%	12.5%	13.1%	18.9%	14.8%	14.8%	10.8%
	フィリピン	229	35.8%	13.5%	22.3%	21.8%	13.5%	11.4%	18.8%	12.7%	10.9%	13.1%	10.9%	4.8%
	ブラジル	193	50.8%	21.8%	25.4%	15.0%	18.1%	26.9%	17.1%	19.2%	14.5%	15.5%	16.6%	18.7%
	中国	115	38.3%	20.0%	20.0%	20.9%	20.0%	14.8%	9.6%	11.3%	10.4%	10.4%	7.0%	13.9%
	インドネシア	117	41.9%	29.1%	14.5%	22.2%	17.1%	10.3%	13.7%	15.4%	10.3%	13.7%	8.5%	9.4%
	オーストラリア	81	38.3%	22.2%	7.4%	9.9%	9.9%	9.9%	6.2%	8.6%	21.0%	3.7%	2.5%	12.3%
	ミャンマー	67	16.4%	11.9%	9.0%	20.9%	4.5%	4.5%	9.0%	1.5%	14.9%	3.0%	6.0%	4.5%
	タイ	22	27.3%	18.2%	36.4%	27.3%	22.7%	18.2%	27.3%	18.2%	4.5%	13.6%	9.1%	13.6%
	スリランカ	21	28.6%	9.5%	4.8%	9.5%	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%	14.3%	4.8%	4.8%	4.8%
	その他	98	30.6%	21.4%	14.3%	21.4%	12.2%	16.3%	17.3%	12.2%	12.2%	10.2%	9.2%	14.3%
	永住者	276	36.2%	19.6%	16.7%	20.7%	13.8%	16.7%	14.5%	13.8%	9.4%	5.1%	10.9%	11.6%
	特定技能1号	148	52.7%	19.2%	21.5%	18.9%	22.3%	18.2%	22.3%	22.3%	17.6%	16.2%	16.9%	8.8%
在留資格	日本人の配偶者等	45	28.9%	24.4%	33.3%	24.4%	15.6%	28.9%	15.6%	15.6%	13.3%	17.8%	8.9%	11.1%
	永住者の配偶者等	19	47.4%	15.8%	15.8%	21.1%	10.5%	5.3%	10.5%	21.1%	15.8%	26.3%	10.5%	21.1%
	技能実習	195	46.2%	17.4%	14.9%	17.4%	13.8%	11.8%	12.3%	10.8%	12.3%	12.8%	6.2%	9.2%
	特定技能1号	158	38.6%	17.7%	22.2%	14.6%	14.6%	14.6%	15.2%	11.4%	12.7%	15.8%	13.9%	7.0%
	留学	164	36.6%	23.2%	18.9%	17.7%	12.8%	11.0%	15.9%	10.4%	18.9%	12.2%	7.9%	10.4%
	技術・人文知識・国際業務	101	36.6%	28.7%	17.8%	33.7%	28.7%	23.8%	11.9%	10.9%	9.9%	15.8%	13.9%	20.8%
	家族滞在	45	62.2%	22.2%	20.0%	11.1%	13.3%	11.1%	13.3%	20.0%	15.6%	11.1%	15.6%	20.0%
	特定活動	8	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%
	技能	19	42.1%	10.5%	31.6%	15.8%	5.3%	15.8%	15.8%	21.1%	5.3%	10.5%	5.3%	0.0%
	その他	32	37.5%	18.8%	25.0%	21.9%	21.9%	18.8%	21.9%	28.1%	9.4%	25.0%	21.9%	21.9%

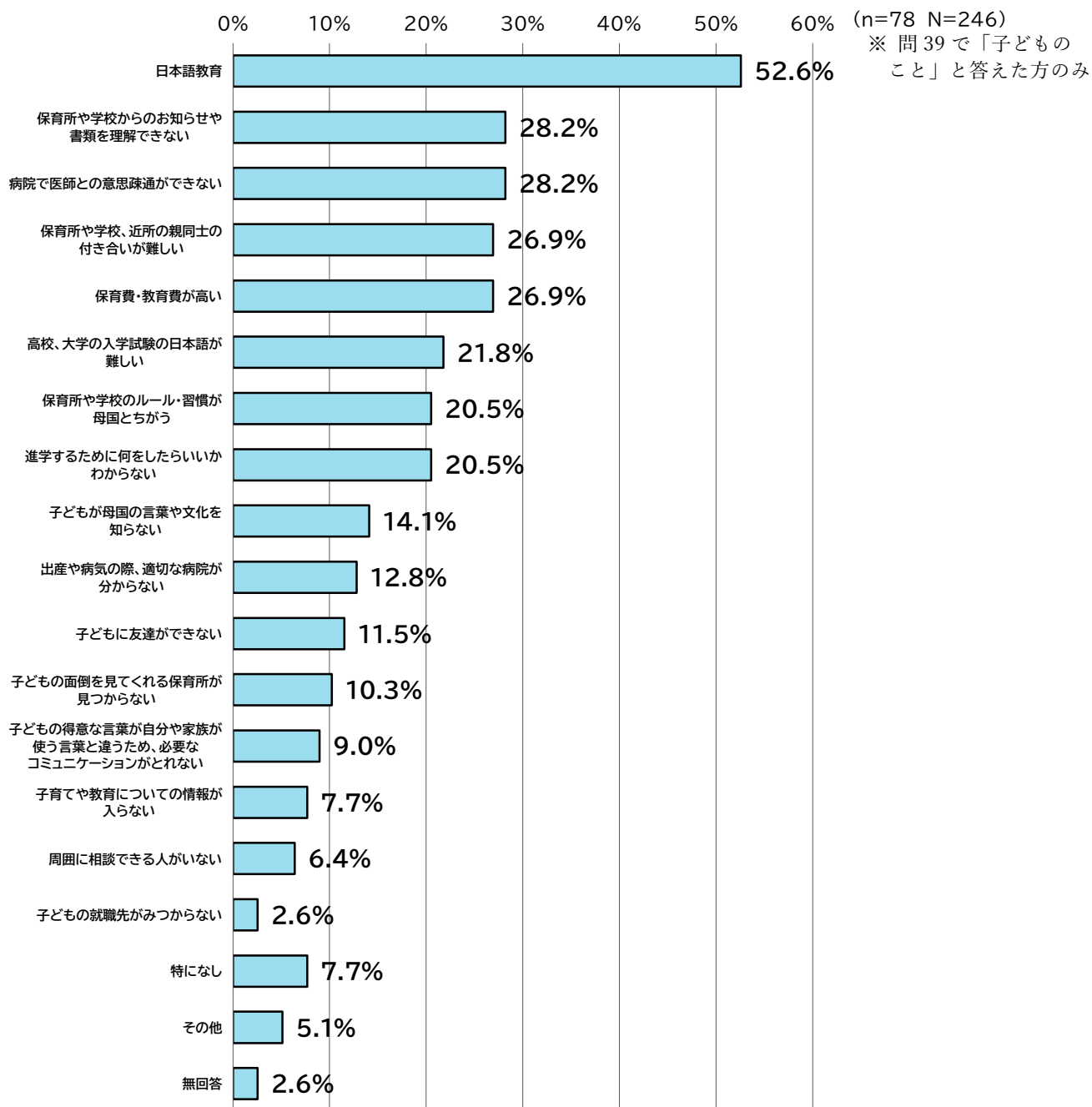
	合計	ごみの出し方	警察に相談すること	住む家を決める、引っ越し	年をとってからのこと	運転免許取得、更新の手続き	子どものこと	相談できる人がいないこと	自分や家族の介護	町内会や近所の人との関係	妊娠・出産	離婚、DV	特になし	その他	無回答
全体	1,244	9.6%	8.9%	8.8%	8.5%	7.6%	6.3%	5.3%	5.1%	4.7%	3.5%	1.4%	10.6%	2.7%	16.2%
国籍	ベトナム	297	8.1%	7.1%	11.8%	2.4%	8.1%	4.7%	5.1%	3.7%	4.0%	3.4%	0.7%	7.4%	14.8%
	フィリピン	229	5.2%	12.2%	4.4%	11.4%	4.8%	6.6%	1.3%	5.2%	2.2%	4.4%	0.9%	8.7%	26.2%
	ブラジル	193	13.0%	15.5%	10.9%	26.9%	8.8%	14.5%	10.4%	13.5%	13.5%	5.2%	5.2%	13.0%	14.0%
	中国	115	16.5%	7.0%	9.6%	8.7%	9.6%	8.7%	4.3%	0.9%	1.7%	4.3%	0.0%	7.8%	9.6%
	インドネシア	117	5.1%	9.4%	9.4%	1.7%	15.4%	4.3%	6.0%	6.8%	5.1%	4.3%	0.0%	17.1%	8.5%
	オーストラリア	81	14.8%	1.2%	8.6%	1.2%	3.7%	3.7%	3.7%	1.2%	2.5%	1.2%	9.9%	4.9%	21.0%
	ミャンマー	67	9.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	10.4%	9.0%	13.4%
	タイ	22	13.6%	22.7%	13.6%	9.1%	4.5%	4.5%	9.1%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	13.6%	0.0%
	スリランカ	21	4.8%	4.8%	9.5%	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%	4.8%	19.0%	4.8%	38.1%	0.0%
	その他	98	11.2%	6.1%	8.2%	5.1%	9.2%	1.0%	6.1%	0.0%	4.1%	0.0%	1.0%	14.3%	13.3%
	永住者	276	6.2%	8.3%	9.4%	24.6%	4.0%	8.7%	5.4%	6.9%	6.9%	2.9%	1.1%	14.5%	19.2%
	特定技能1号	148	12.8%	16.9%	6.1%	10.1%	7.4%	12.8%	6.8%	10.1%	7.4%	6.8%	4.7%	6.8%	15.5%
在留資格	日本人の配偶者等	45	11.1%	11.1%	2.2%	12.3%	13.3%	13.3%	8.9%	4.4%	4.4%	8.9%	4.4%	15.6%	2.2%
	永住者の配偶者等	19	10.5%	28.3%	0.0%	5.3%	0.0%	10.5%	0.0%	5.3%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	26.3%
	技能実習	195	6.2%	5.6%	4.6%	0.0%	7.2%	1.0%	3.6%	2.6%	3.1%	0.5%	0.0%	10.3%	20.0%
	特定技能1号	158	7.6%	5.7%	10.8%	2.5%	8.2%	0.6%	4.4%	2.5%	1.3%	3.2%	0.0%	13.3%	12.7%
	留学	164	13.4%	7.3%	14.6%	1.8%	7.3%	1.8%	4.3%	2.4%	2.4%	0.6%	0.6%	9.1%	12.8%
	技術・人文知識・国際業務	101	13.9%	9.9%	8.9%	5.9%	14.9%	5.0%	7.9%	3.0%	3.0%	4.0%	1.0%	11.9%	12.9%
	家族滞在	45	6.7%	6.7%	8.9%	2.2%	11.1%	2.2%	11.1%	11.1%	11.1%	13.3%	2.2%	0.0%	17.8%
	特定活動	8	12.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%
	技能	19	21.1%	5.3%	5.3%	0.0%	5.3%	10.5%	0.0%	5.3%	5.3%	10.5%	0.0%	5.3%	15.8%
	その他	32	21.9%	15.6%	15.6%	3.1%	15.6%	9.4%	9.4%	9.4%	12.5%	3.1%	3.1%	3.1%	18.8%

問 40 子どものことで困っていること

問 40 子どものことで困ったこと、困っていることは何ですか？（複数選択）※

子どものことで困っていることとしては、「日本語教育」が52.6%で最も高くなっている。

図表 I -40 子どものことで困っていること



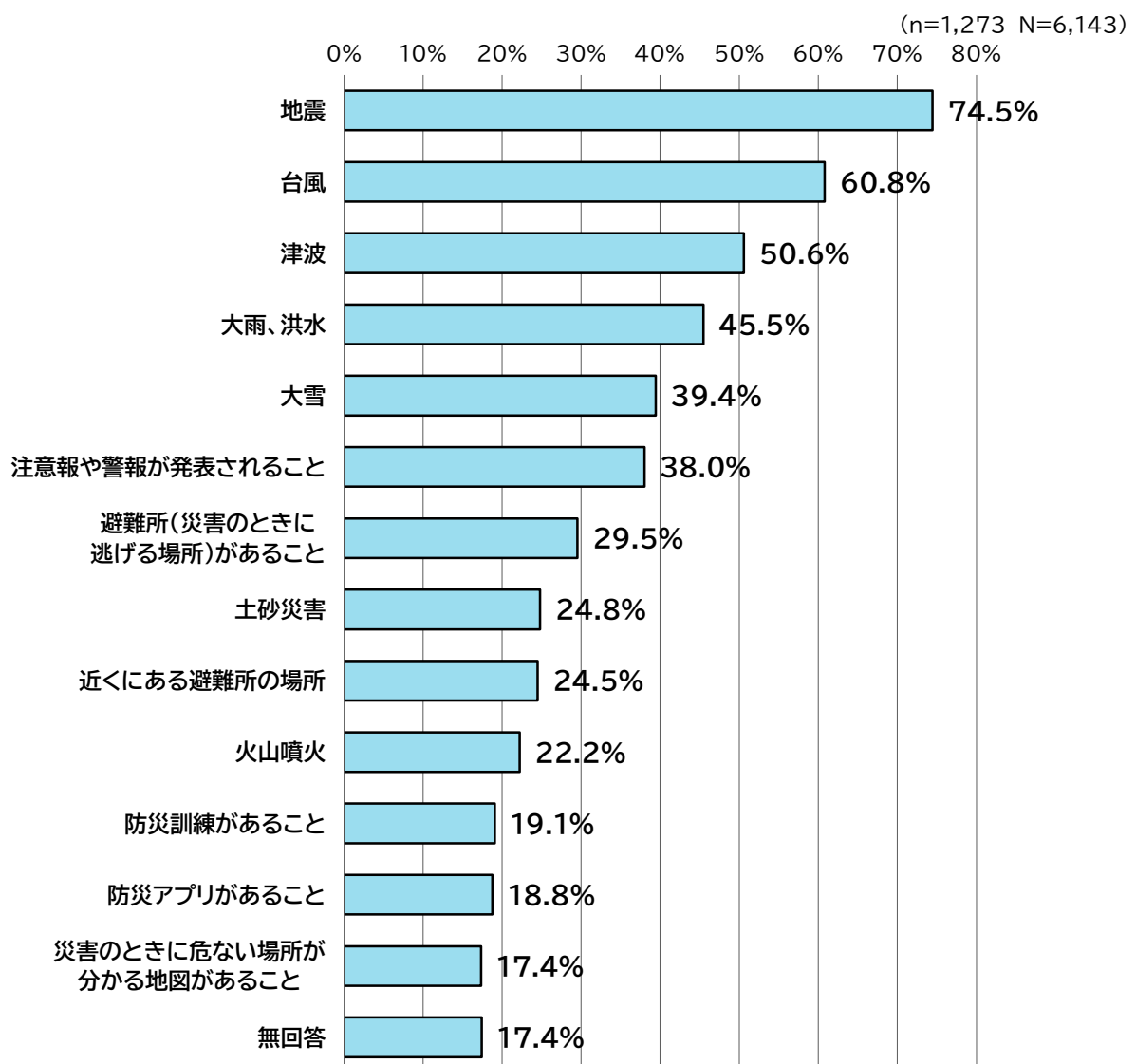
(6)災害

問 41 日本の災害に関することで知っていること

問 41 日本の災害に関することで、知っていることは何ですか？（複数選択）

日本の災害について、「地震」(74.5%)、「台風」(60.8%)、「津波」(50.6%)は半数以上が認知しているが、「避難所があること」は29.5%、「防災訓練があること」(19.1%)や「防災アプリがあること」(18.8%)は認知度が低くなっている。

図表 I -41 日本の災害に関することで知っていること



国籍別に見ると、ブラジルは「避難所」や「防災訓練」や「防災アプリ」の認知度が他の国籍と比べて高くなっている。

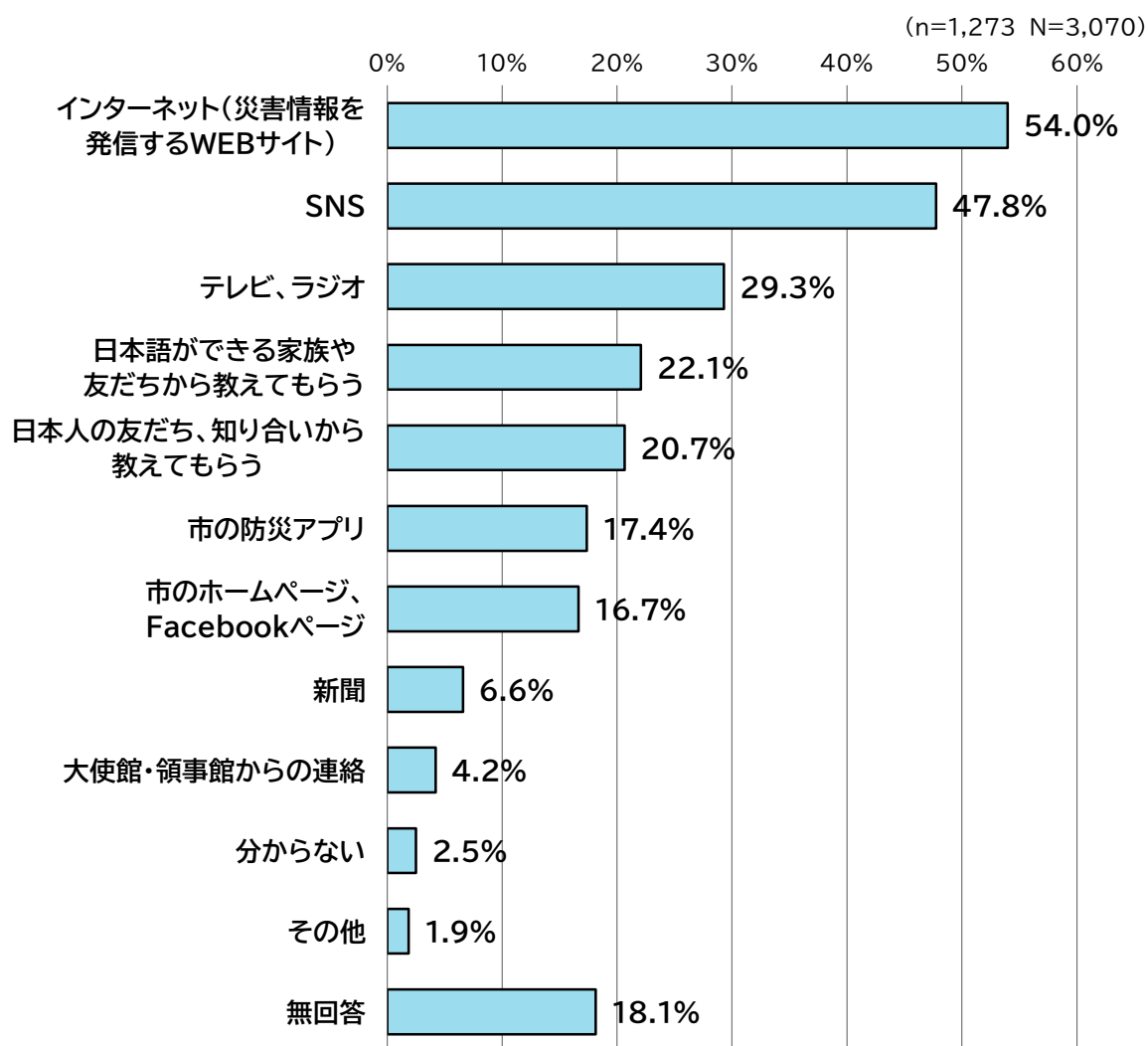
	合計	地震	台風	津波	大雨、洪水	大雪	注意報や警報が発表されること	避難所（災害のときに逃げる場所）があること	土砂災害	近くにある避難所の場所	火山噴火	防災訓練があること	防災アプリがあること	災害のときに危ない場所が分かる地図があること
全体	1,273	74.5%	60.8%	50.6%	45.5%	39.4%	38.0%	29.5%	24.8%	24.5%	22.2%	19.1%	18.8%	17.4%
ベトナム	298	81.2%	64.8%	50.7%	51.3%	61.7%	27.5%	21.1%	31.9%	14.8%	30.9%	14.8%	11.4%	11.1%
フィリピン	230	61.7%	50.9%	47.4%	33.9%	21.3%	35.7%	27.0%	22.2%	22.2%	14.3%	20.9%	18.7%	18.3%
ブラジル	203	68.5%	63.1%	53.2%	58.1%	41.9%	61.6%	50.7%	21.7%	45.3%	26.1%	30.0%	37.4%	27.1%
中国	117	83.8%	75.2%	58.1%	47.9%	25.6%	47.9%	46.2%	31.6%	35.9%	40.2%	23.1%	13.7%	23.9%
インドネシア	117	85.5%	67.5%	52.1%	41.9%	46.2%	56.4%	32.5%	29.9%	26.5%	14.5%	22.2%	19.7%	20.5%
ネパール	81	70.4%	53.1%	32.1%	30.9%	37.0%	16.0%	8.6%	13.6%	4.9%	9.9%	4.9%	3.7%	4.9%
ミャンマー	67	80.6%	43.3%	37.3%	31.3%	22.4%	6.0%	6.0%	1.5%	9.0%	9.0%	3.0%	6.0%	3.0%
タイ	22	81.8%	59.1%	22.7%	40.9%	45.5%	40.9%	27.3%	27.3%	22.7%	9.1%	22.7%	13.6%	13.6%
スリランカ	21	52.4%	42.9%	23.8%	38.1%	19.0%	9.5%	9.5%	14.3%	9.5%	4.8%	9.5%	4.8%	9.5%
その他	110	78.2%	68.2%	50.9%	56.4%	37.3%	40.9%	33.6%	30.0%	31.8%	21.8%	21.8%	32.7%	25.5%

問 42 災害の情報の入手方法

問 42 災害が起きそうな時や起きた時に、どうやって災害の情報を入手しますか？（複数選択）

災害の情報の入手方法は、「インターネット（災害情報を発信する WEB サイト）」（54.0%）や「SNS」（47.8%）の割合が高くなっている。

図表 I -42 災害の情報の入手方法



国籍別に見ると、ブラジルは「市の防災アプリ」や「市のホームページ」の割合が他より高くなっている。

	合計	日本語ができる 家族や友だちから教えて もらう	日本人の友だち、知り合い から教えてもらう	インターネット (災害情報を発信する WEBサイト)	SNS	テレビ、ラジ オ	新聞	市の防災アプ リ	市のホーム ページ、 Facebookペー ジ	大使館・領事 館からの連絡	分からない	その他
全体	1,273	22.1%	20.7%	54.0%	47.8%	29.3%	6.6%	17.4%	16.7%	4.2%	2.5%	1.9%
ベトナム	298	17.4%	25.2%	58.1%	59.4%	28.5%	9.7%	12.1%	18.8%	1.3%	2.3%	0.7%
フィリピン	230	29.1%	20.4%	41.7%	48.3%	28.7%	4.3%	16.5%	20.0%	3.0%	1.3%	1.7%
ブラジル	203	26.1%	11.3%	59.1%	53.2%	44.3%	10.3%	36.9%	24.6%	3.4%	3.0%	0.5%
中国	117	25.6%	19.7%	61.5%	33.3%	46.2%	3.4%	20.5%	8.5%	15.4%	1.7%	0.9%
インドネシア	117	19.7%	35.9%	69.2%	52.1%	18.8%	4.3%	12.8%	12.8%	8.5%	1.7%	1.7%
ネパール	81	25.9%	24.7%	48.1%	43.2%	8.6%	3.7%	3.7%	22.2%	1.2%	1.2%	4.9%
ミャンマー	67	13.4%	10.4%	53.7%	26.9%	20.9%	1.5%	4.5%	4.5%	0.0%	4.5%	4.5%
タイ	22	22.7%	13.6%	45.5%	36.4%	18.2%	4.5%	22.7%	9.1%	4.5%	4.5%	4.5%
スリランカ	21	14.3%	19.0%	28.6%	23.8%	14.3%	4.8%	9.5%	9.5%	4.8%	0.0%	4.8%
その他	110	16.4%	17.3%	48.2%	41.8%	25.5%	8.2%	18.2%	9.1%	4.5%	6.4%	4.5%

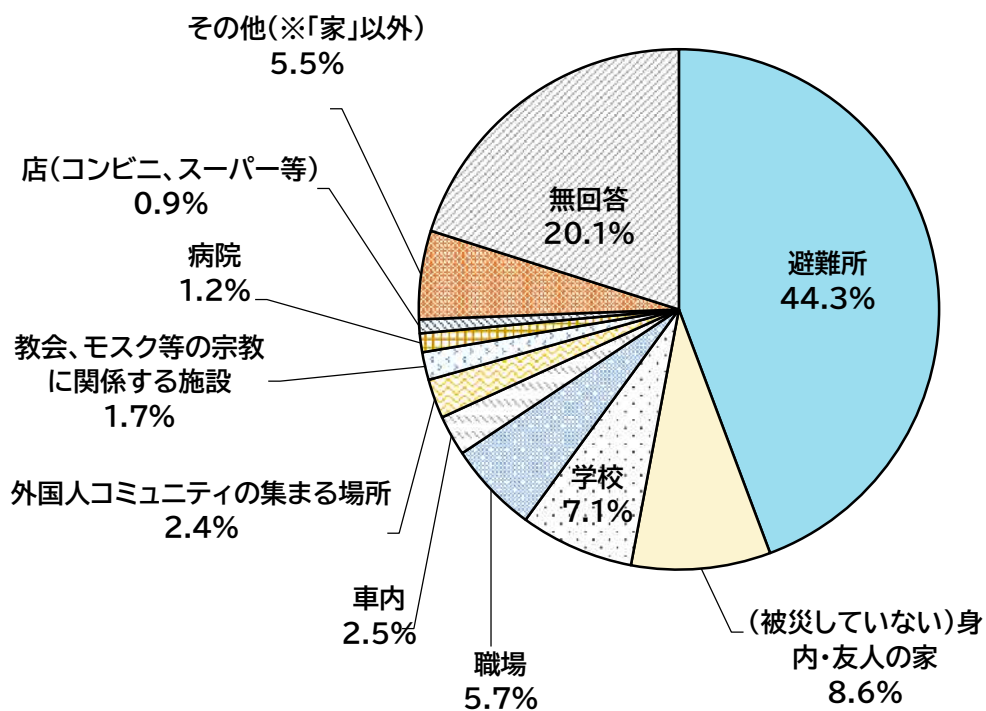
問 43 災害が起きた時に身を寄せる場所

問 43 家にいられないほど大きな災害が起きた時に、あなたはどこに身を寄せますか？
どこを頼って行きますか？

災害が起きた時に身を寄せる場所としては、44.3%が「避難所」を想定している。

図表 I -43 災害が起きた時に身を寄せる場所

(n=1,273)

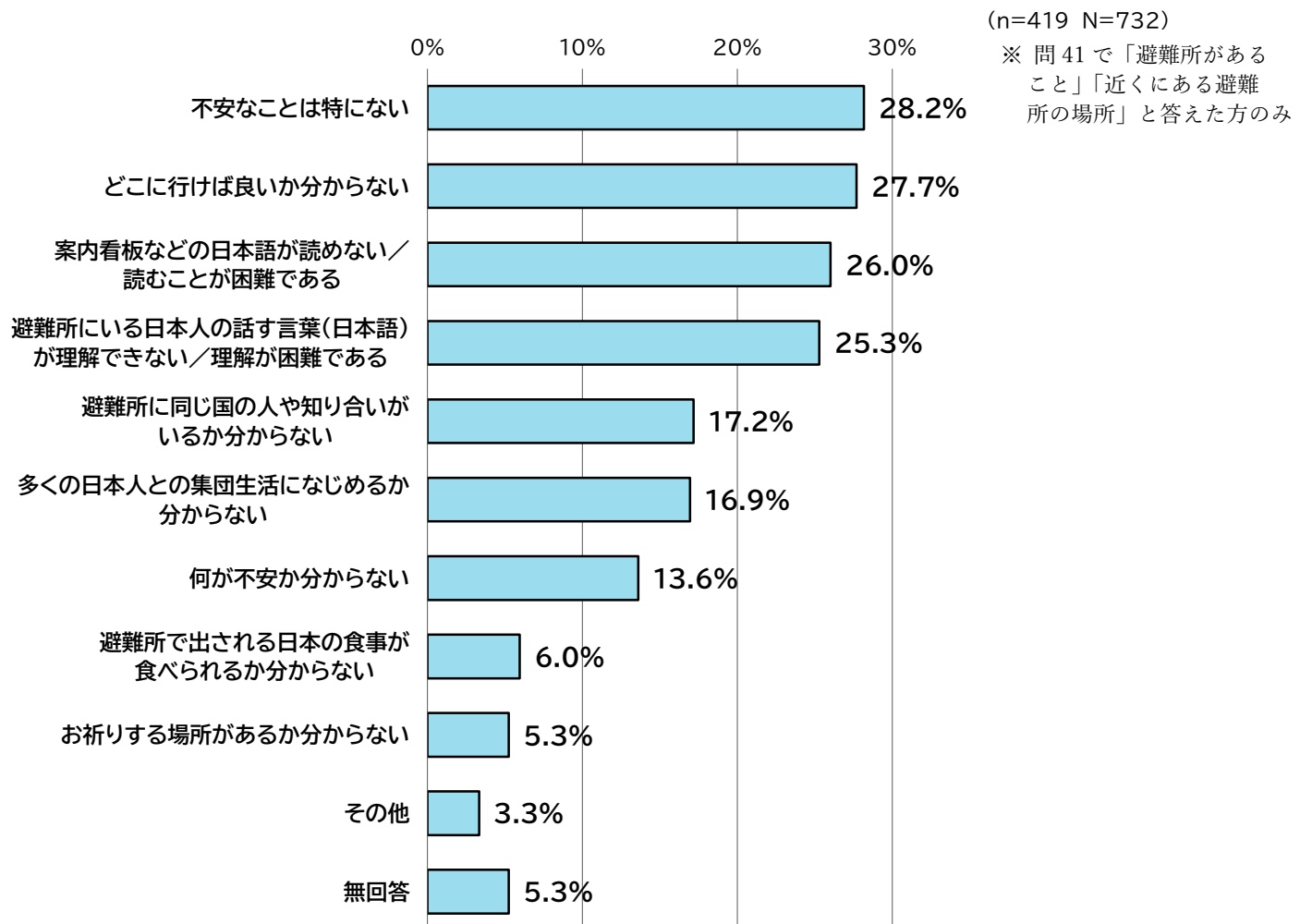


問 44 避難所での不安なこと

問 44 災害が起きて、避難所を利用する場合、不安なことは何ですか？（複数選択）※

避難所での不安なこととしては、「どこに行けば良いか分からない」（27.7%）「案内看板などの日本語が読めない／読むことが困難である」（26.0%）「避難所にいる日本人の話す言葉（日本語）が理解できない／理解が困難である」（25.3%）の順で高くなっている。

図表 I -44 避難所での不安なこと



Ⅱ 受入団体調査結果

1 調査概要

1. 1 調査の目的

県内における日本語教育機会の提供体制を整備するため、外国人県民、外国人受入団体（地域の日本語教室、市町村、外国人雇用企業等）の現状やニーズを把握し、体制整備に向けた施策立案の基礎資料とする。

1. 2 調査項目

- (1) 意思疎通の課題
- (2) 「やさしい日本語」の取組み
- (3) 日本語教育の取組み、役割
- (4) 地域の日本語教室
- (5) 地域の日本語教室の活動内容
- (6) 地域の日本語教室運営の課題や今後の取組み
- (7) 日本語教育の状況（地域の日本語教育以外）
- (8) 企業の取組み
- (9) 他団体との連携
- (10) 行政に希望する支援

1. 3 調査設計

- (1) 調査地域 岐阜県全域
- (2) 調査対象 外国人県民が所属する団体の受入関係者
- (3) 標本数 437 件
- (4) 抽出方法 自治体、国際交流協会、地域の日本語教室、学校、県が把握している県内の外国人雇用事業所等を選定。
- (5) 調査方法 該当団体へ QR コード・URL を展開し、対象者がウェブにて回答
- (6) 調査時期 2024 年 8 月 13 日～9 月 17 日
- (7) 調査実施機関 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

1. 4 回収結果

標本数 (A)	回収数 (B)	有効回答数 (C)	回収率 (B/A)	有効回答率 (C/A)
437	143	143	32.7	32.7%

1. 5 報告書の見方

- (1) 比率は全てパーセントで表し、小数点第2位を四捨五入して算出した。そのため、パーセントの合計が100.0%にならない場合がある。
- (2) 基数となるべき実数は「n」（件数）として掲載した。したがって比率は、nを100%として算出している。
- (3) 複数回答が可能な設問では総回答数を「N」として掲載した。その場合、その項目を選んだ人が、回答者全体のうち何%を占めるのかという見方をする。したがって、各項目の比率の合計は、通常100%を超える。
- (4) 本報告書中の表、グラフ及び本文で使われている選択肢の表現は、本来の意味を損なわない程度に省略している場合がある。

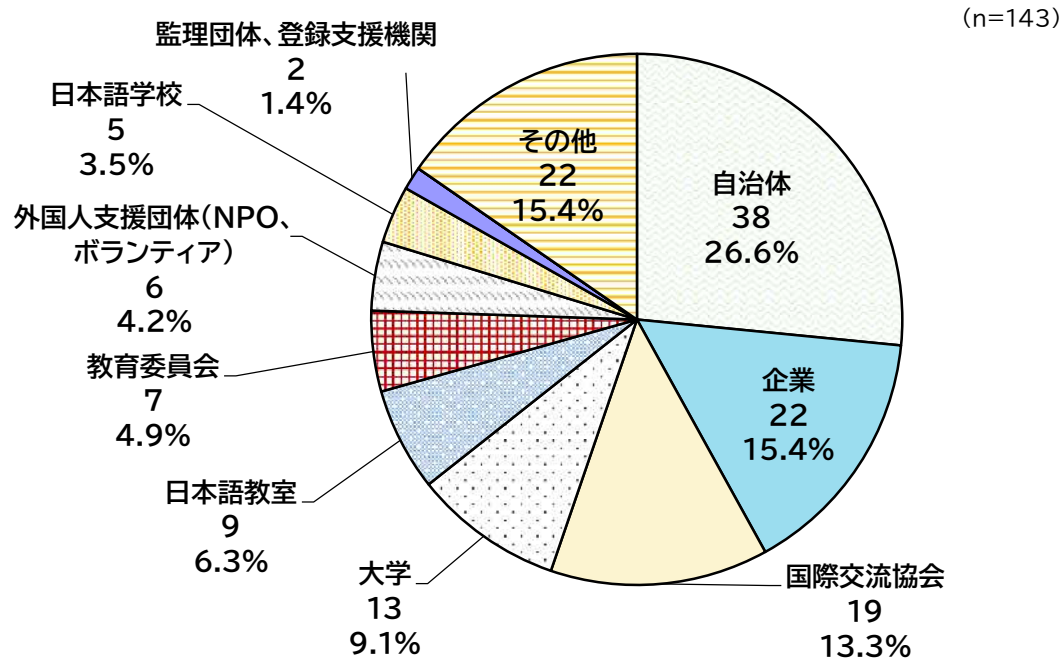
<参考> 標本誤差

受入団体アンケートは、母集団からの無作為抽出による標本調査ではないため、標本誤差は記載しない。

1. 7 対象者の属性

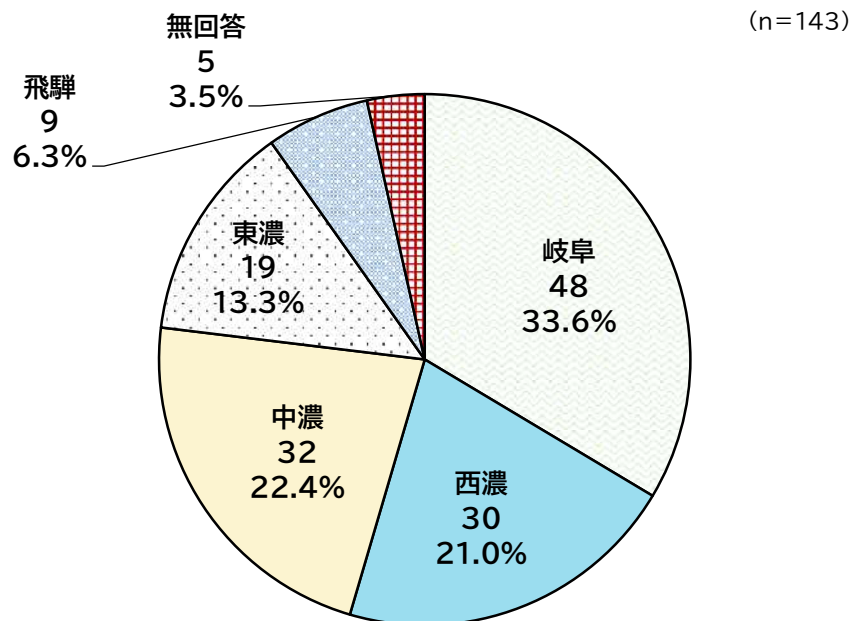
F-1 団体のカテゴリ

図表Ⅱ-1 団体のカテゴリ



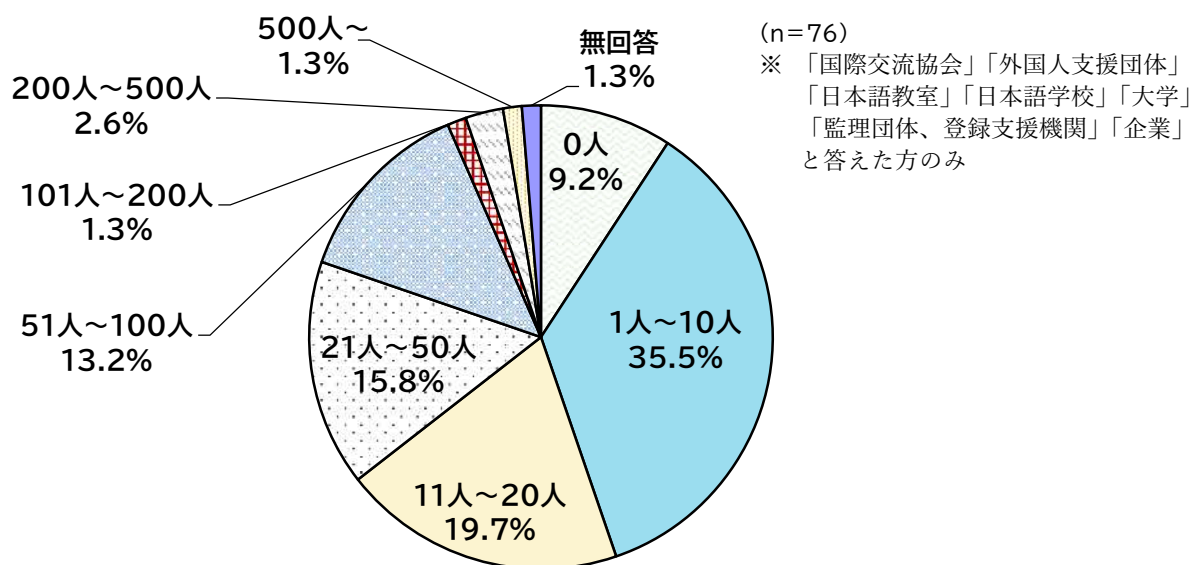
F-2 主に活動(所管)する自治体

図表Ⅱ-2 主に活動(所管)する自治体



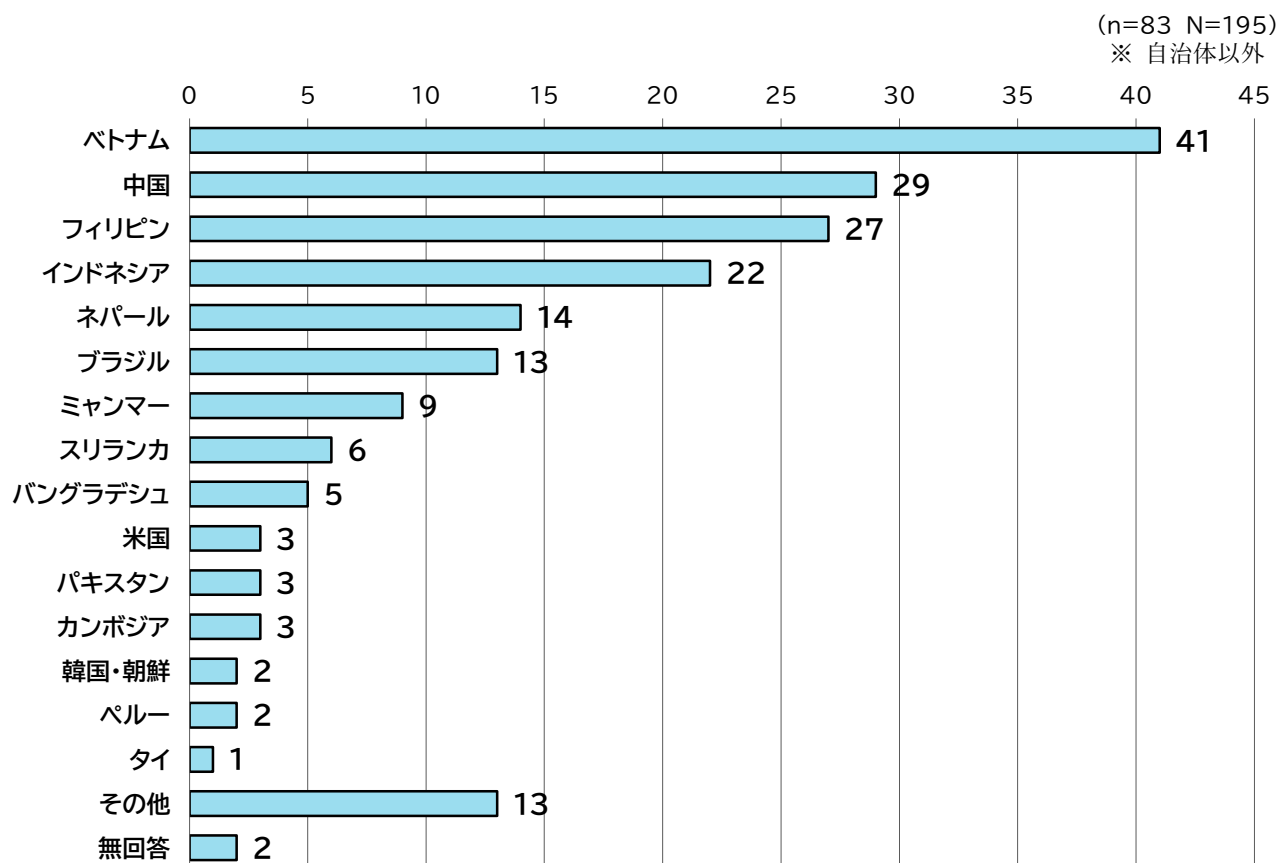
F-3 関係している外国人の人数

図表Ⅱ-3 関係している外国人の人数



F-4 国籍で多いもの上位3位

図表Ⅱ-4 国籍で多いもの上位3位

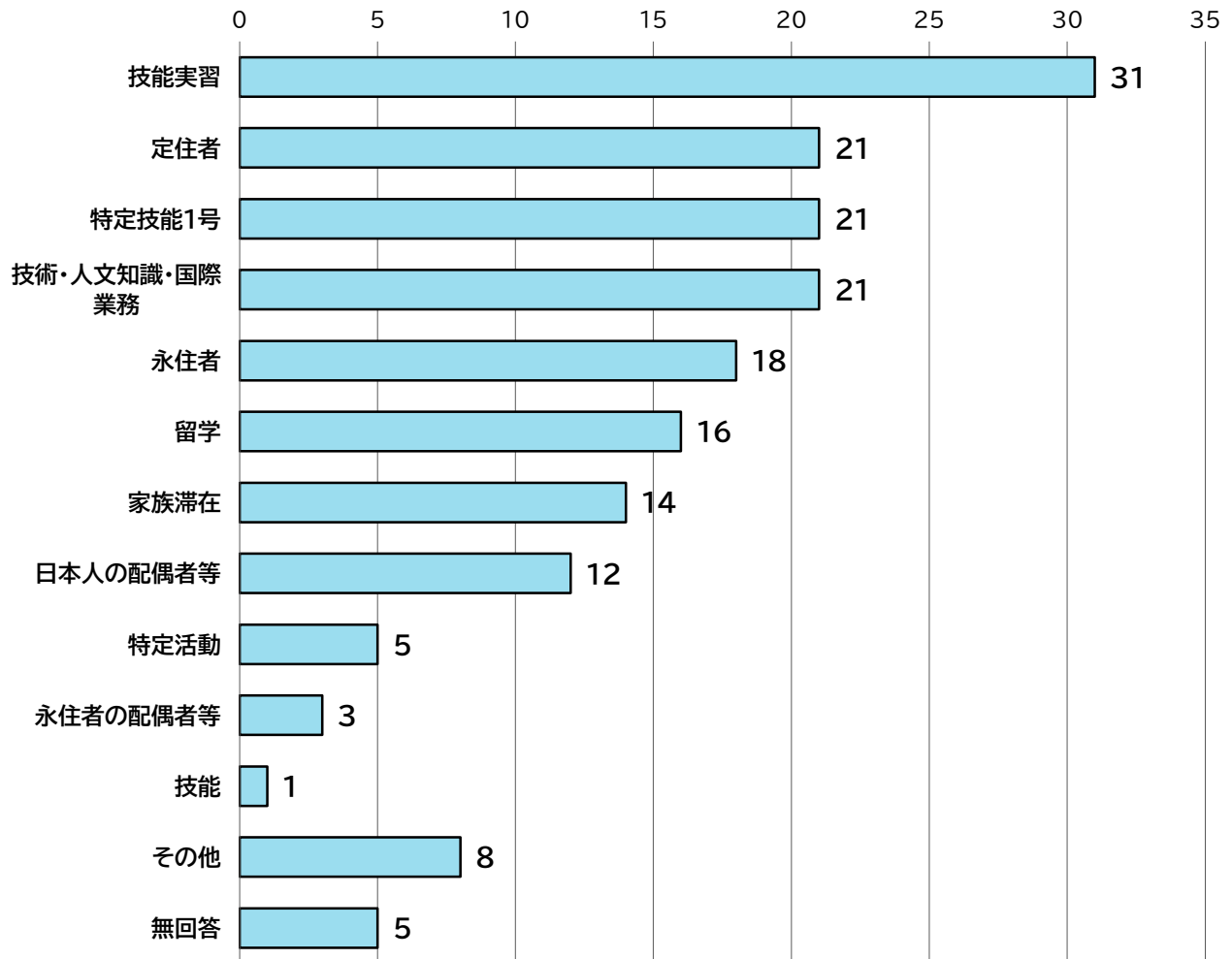


F-5 在留資格で多いもの上位3位

図表Ⅱ-5 在留資格で多いもの上位3位

(n=83 N=176)

※ 自治体以外



2 調査結果

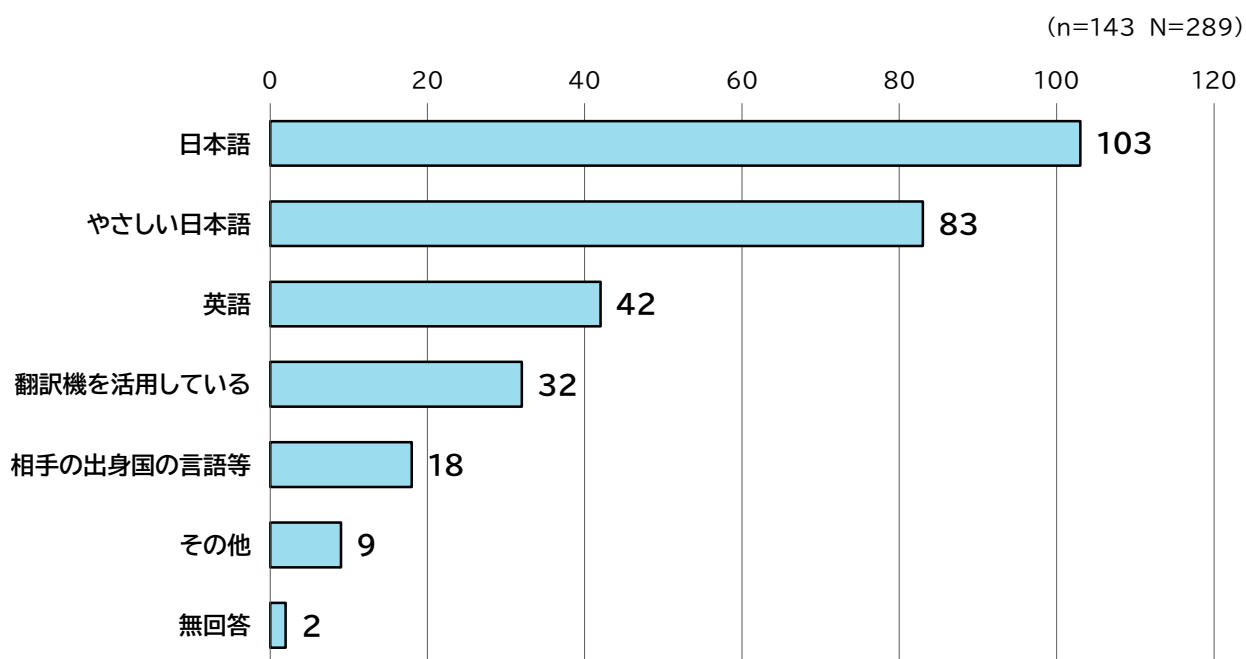
(1)意思疎通の課題

問6 外国人と話す主な言語や方法

問6 貴団体において、外国人と話す言語や方法は主に何ですか？（複数選択）

外国人と話す主な言語や方法は、「日本語」や「やさしい日本語」が中心となっている。

図表Ⅱ-6 外国人と話す主な言語や方法



自治体の半数以上で「翻訳機を活用している」。

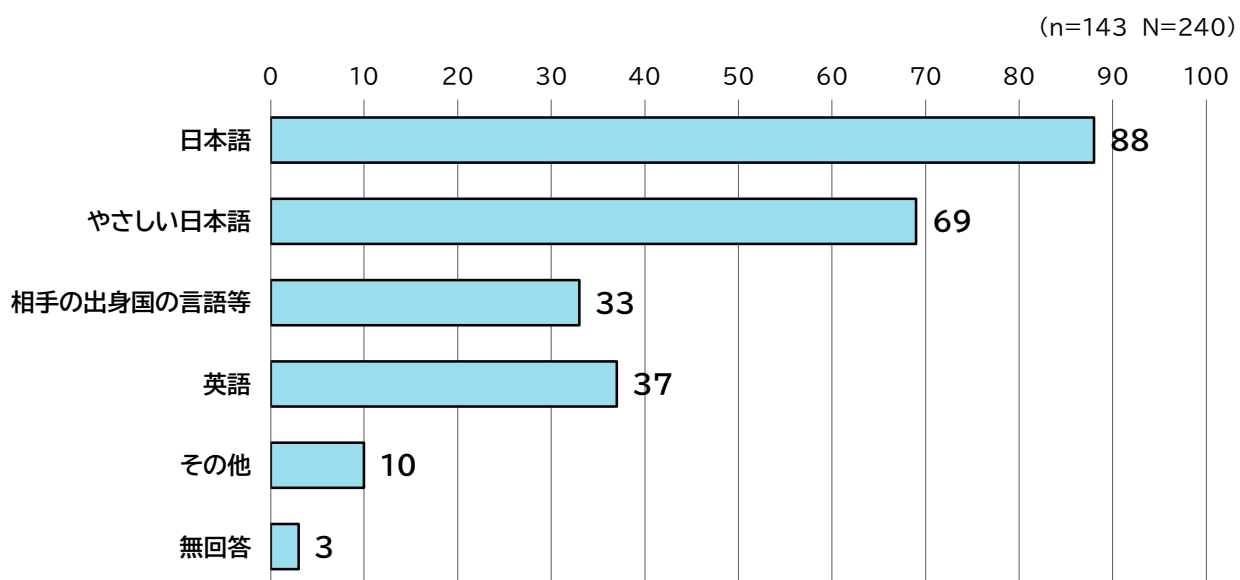
	n	日本語	やさしい日本語	相手の出身国の言語等	英語	翻訳機を活用している	その他	無回答
全体	143	103	83	18	42	32	9	2
自治体	38	31	23	4	7	20	5	0
教育委員会	7	6	3	0	3	1	0	0
国際交流協会	19	11	12	7	7	2	0	1
外国人支援団体	6	4	3	3	3	1	0	1
日本語教室	9	6	5	0	3	3	0	0
日本語学校	5	4	4	0	2	0	0	0
大学	13	10	7	1	4	0	1	0
企業	22	14	13	3	2	3	2	0
監理団体、登録支援機関	2	1	1	0	1	0	0	0
その他	22	16	12	0	10	2	1	0

問7 外国人に文書でお知らせする主な言語

問7 貴団体において、外国人に文書でお知らせする言語は主に何ですか？（複数選択）

外国人に文書でお知らせする際も、「日本語」や「やさしい日本語」が中心となっている。

図表Ⅱ-7 外国人に文書でお知らせする主な言語



企業では「相手の出身国の言語等」を使用することも多い。

	n	日本語	やさしい日本語	相手の出身国の言語等	英語	その他	無回答
全体	143	88	69	33	37	10	3
自治体	38	27	18	8	6	4	0
教育委員会	7	5	2	0	1	0	0
国際交流協会	19	5	13	6	7	2	2
外国人支援団体	6	1	4	2	3	0	1
日本語教室	9	4	6	1	3	0	0
日本語学校	5	3	4	1	2	0	0
大学	13	11	5	1	4	1	0
企業	22	15	9	10	2	3	0
監理団体、登録支援機関	2	1	2	1	1	0	0
その他	22	16	6	3	8	0	0

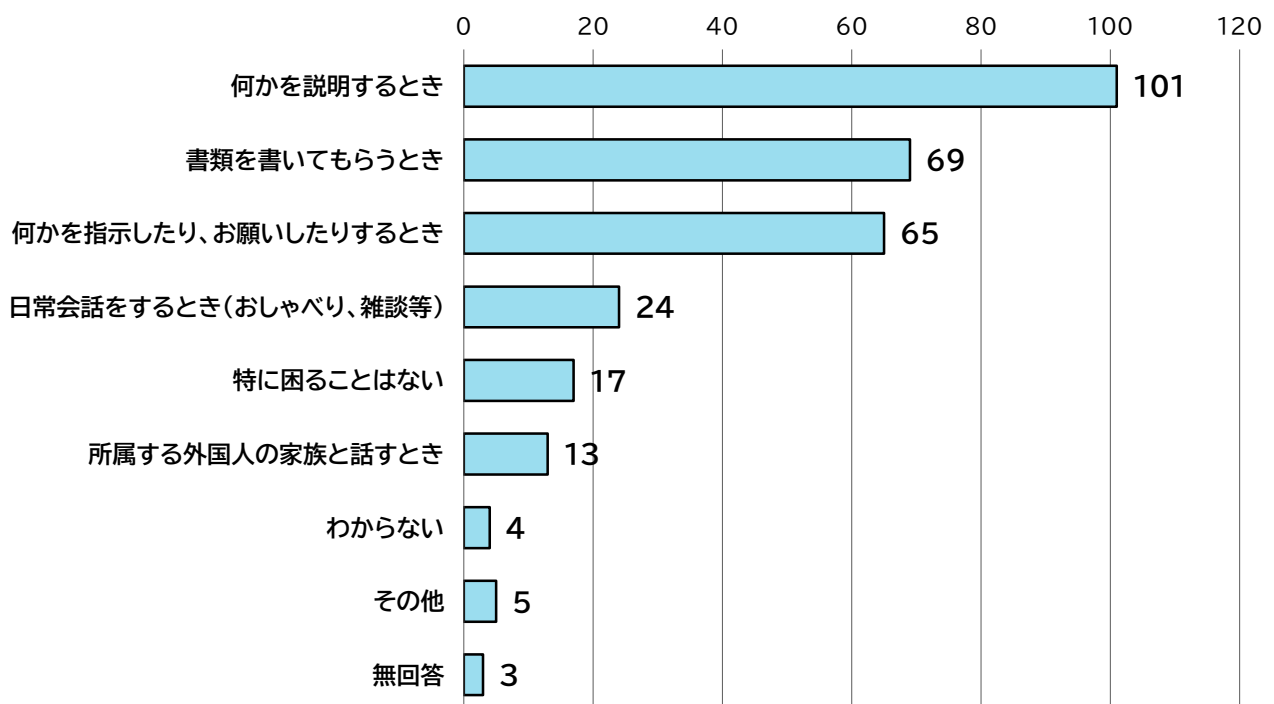
問8 外国人と日本人のコミュニケーションにおいて意思疎通に困るとき

問8 外国人と日本人のコミュニケーションにおいて、日本語が伝わらず意思疎通に困るのはどのような時ですか？（複数選択）

外国人との意思疎通で困るのは、「何かを説明するとき」が最も多く、次いで「書類を書いてもらうとき」、「何かを指示したり、お願いしたりするとき」が多くなっている。

図表Ⅱ-8 外国人と日本人のコミュニケーションにおいて意思疎通に困るとき

(n=143 N=301)



問9 コミュニケーションでの課題や工夫

問9 外国人と日本人のコミュニケーションをする上での課題や工夫があれば教えてください。（自由記述）

図表Ⅱ-9 コミュニケーションでの課題や工夫

カテゴリ	主な意見
やさしい日本語 対応	・ 「やさしい日本語」を使用する ・ ゆっくり話す ・ 難しい言葉や言い回しを使用せず、分かりやすい表現に置き換える
何度も確認をする	・ 分からないことは分からないと言わせる。何度も確認する ・ 説明内容を理解されたか確認するため内容をもう一度伺う
翻訳機を使う	・ AI 翻訳機を使用 ・ 翻訳アプリを使用 ・ 日本語学習初心者の場合は、Voice Tra などの翻訳ソフトを積極的に利用
通訳を介す	・ 同国出身のボランティア通訳者への依頼 ・ 監理団体や派遣会社を通しての通訳で、最低限の意思疎通は出来ていると思っている ・ 同国出身の先輩や卒業生に依頼
文化の違いに配慮する	・ 相手の国や文化など、背景を理解する ・ 文化的な違いによる理解不足が様々なことに影響を及ぼす

(2)「やさしい日本語」の取組み

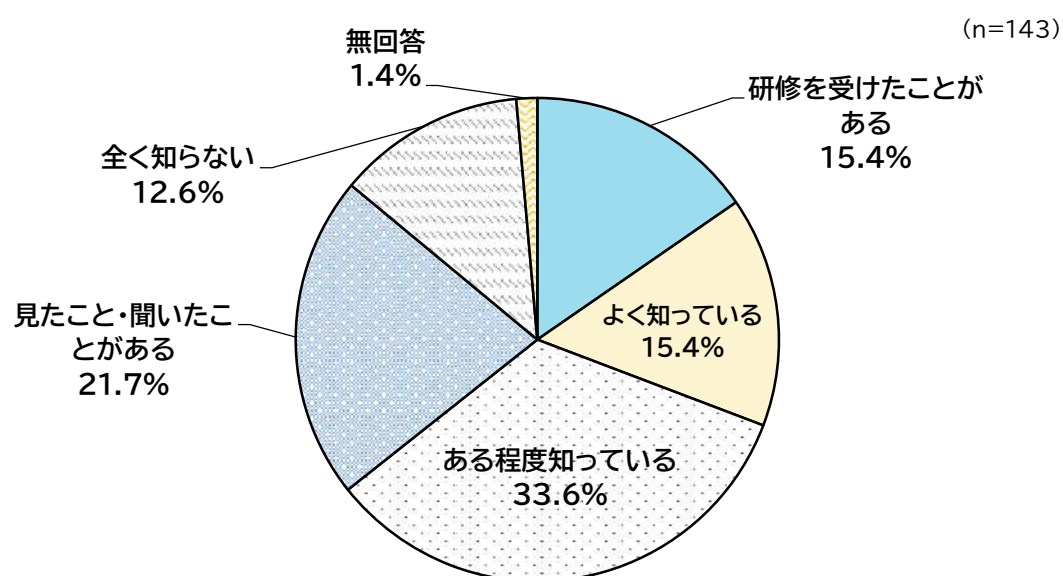
問 10 「やさしい日本語」の認知度

問 10 「やさしい日本語」※を知っていますか？

※「やさしい日本語」とは、難しい言葉を言い換えるなど、日本語を母語としない人にもわかりやすいように配慮した話し方・書き方のことです。

「やさしい日本語」について、「研修を受けたことがある」「良く知っている」「ある程度知っている」という団体が 64.4%を占める一方で、「全く知らない」も 12.6%となっている。

図表Ⅱ-10 「やさしい日本語」の認知度

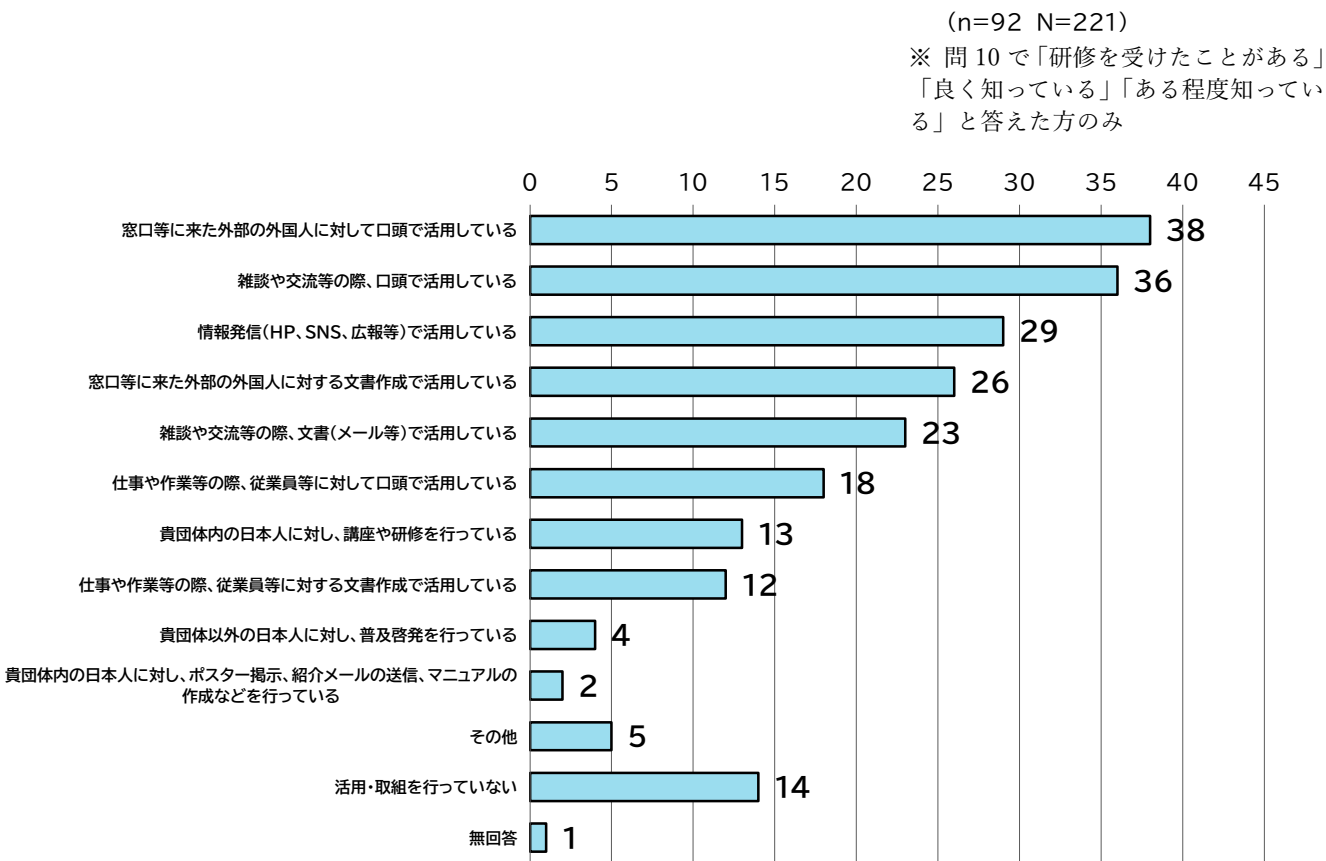


問 11 「やさしい日本語」の活用、取組み

問 11 「やさしい日本語」の活用、取組みをされていますか？（複数選択）

「研修を受けたことがある」「良く知っている」「ある程度知っている」と回答した団体の活用方法は、「窓口等に来た外部の外国人に対して口頭で活用している」や「雑談や交流等の際、口頭で活用している」が多くなっている。

図表Ⅱ-11 「やさしい日本語」の活用、取組み



自治体では「情報発信（HP、SNS、広報等）で活用している」も多くなっている。

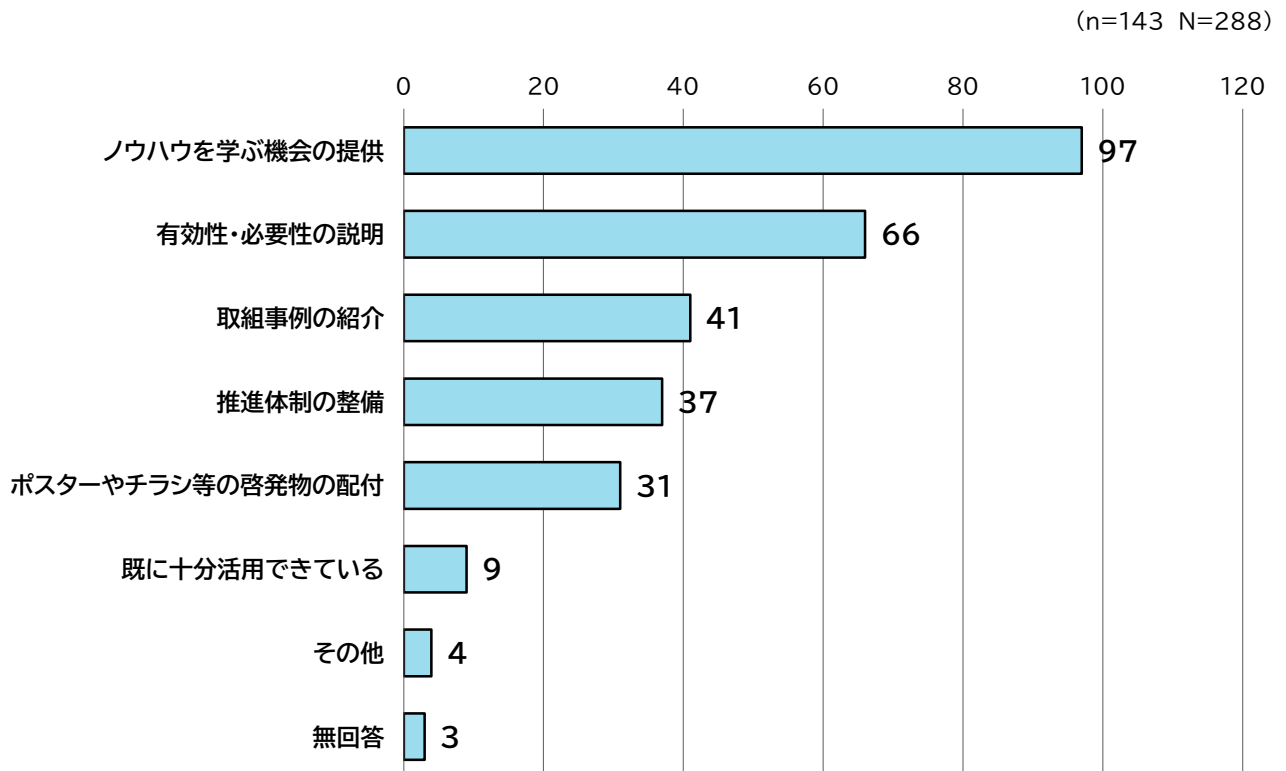
	n	用国窓	頭雑	用S情	で国窓	し書雑	活業仕	てし貴	成業仕	で対貴	行ニ紹	し、ポ	そ	な活	無
		口等	談交	N報	口等	書談	業事	る団	業事	いる	って	介、	他	用・	回
		に	流	信	に	交	等	内	等	普	マ	ス		取	答
		対	の	(H	文	等	の	の	の	及	ニ	タ		組	
		外	口	P、	書	活	活	対	作	発	の	掲		行	
		部	頭	で	作	用	業	し	文	行	作	示		っ	
		活	頭	活	成	成	従	っ	書	っ	成	、		て	
		外	外	活	外	外	員	っ	作	に	送	マ		い	
									従	人	信	ニ			
全体	92	38	36	29	26	23	18	13	12	4	2	5	14	1	
自治体	27	15	4	14	9	4	1	8	0	2	1	0	5	0	
教育委員会	4	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3	0	
国際交流協会	17	9	11	9	6	5	2	3	3	2	0	1	2	0	
外国人支援団体	4	2	3	1	2	4	2	0	1	0	0	1	0	0	
日本語教室	8	1	4	1	1	4	0	0	0	0	0	2	1	1	
日本語学校	4	2	2	2	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	
大学	7	3	3	0	3	1	0	0	0	0	0	1	0	0	
企業	12	2	3	0	1	0	6	1	4	0	1	0	2	0	
監理団体、登録支援機関	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	8	3	5	1	3	3	5	0	3	0	0	0	1	0	

問 12 「やさしい日本語」の活用を推進するために必要な取組み

問 12 貴団体において「やさしい日本語」の活用を推進するためにはどうすれば良いと思いますか？（複数選択）

「やさしい日本語」の活用を推進するために必要な取組みとしては、「ノウハウを学ぶ機会の提供」が最も多くなっている。

図表Ⅱ-12 「やさしい日本語」の活用を推進するために必要な取組み

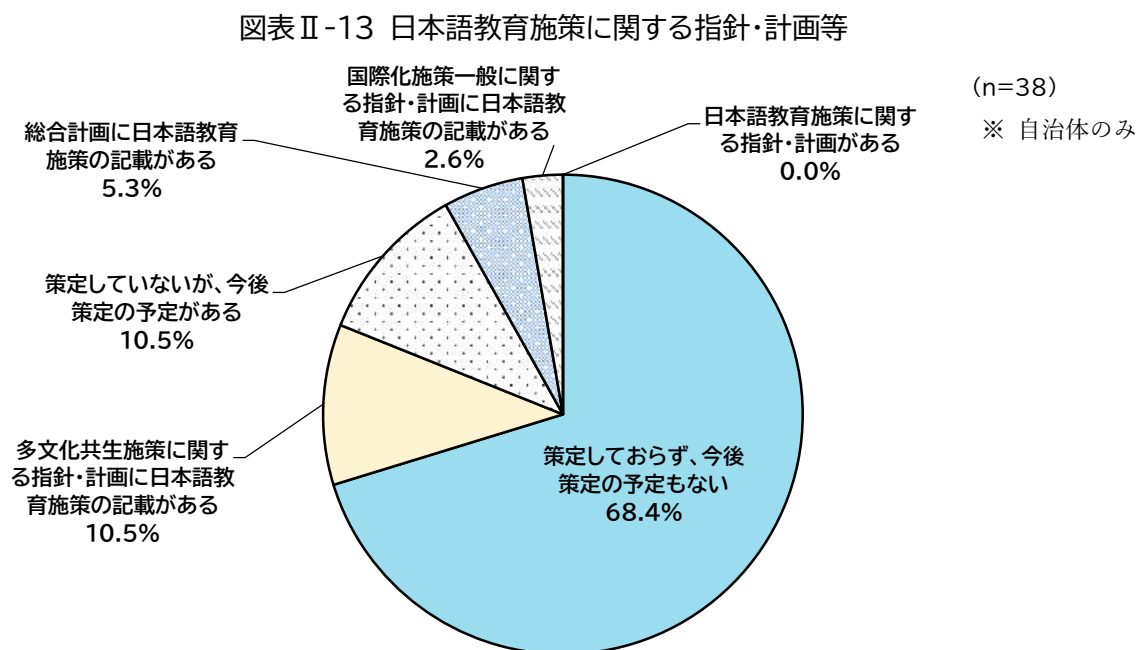


(3)日本語教育の取組み、役割

問 13 日本語教育施策に関する指針・計画等

問 13 日本語教育施策に関する指針・計画等がありますか？※

日本語教育施策に関する指針・計画等について、「策定しておらず、今後策定の予定もない」が68.4%となっており、「多文化共生施策に関する指針・計画に日本語教育施策の記載がある」が10.5%、「国際化施策一般に関する指針・計画に日本語教育施策の記載がある」が2.6%にとどまっている。

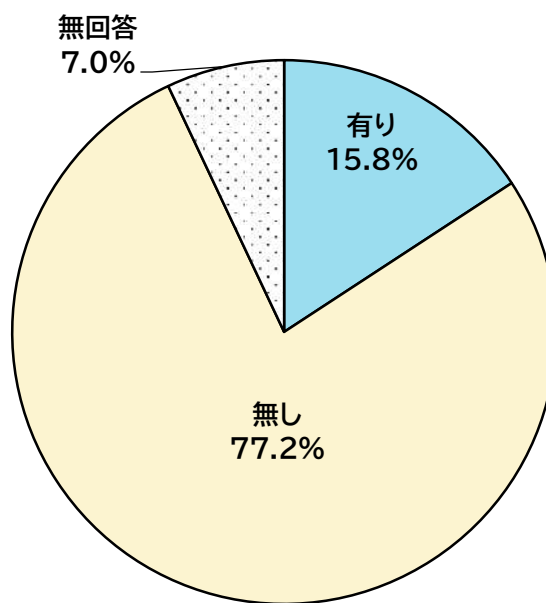


問 14 アンケート調査等

問 14 規模を問わず、過去 10 年以内に外国人住民を対象に実施したアンケートやヒアリング調査があれば教えてください。※

過去 10 年以内に外国人住民を対象としたアンケートやヒアリング調査については、「無し」が 77.2%を占めており、「有り」は 15.8%にとどまっている。

図表Ⅱ-14 アンケート調査等



(n=57)
※ 自治体、
国際交流協会のみ

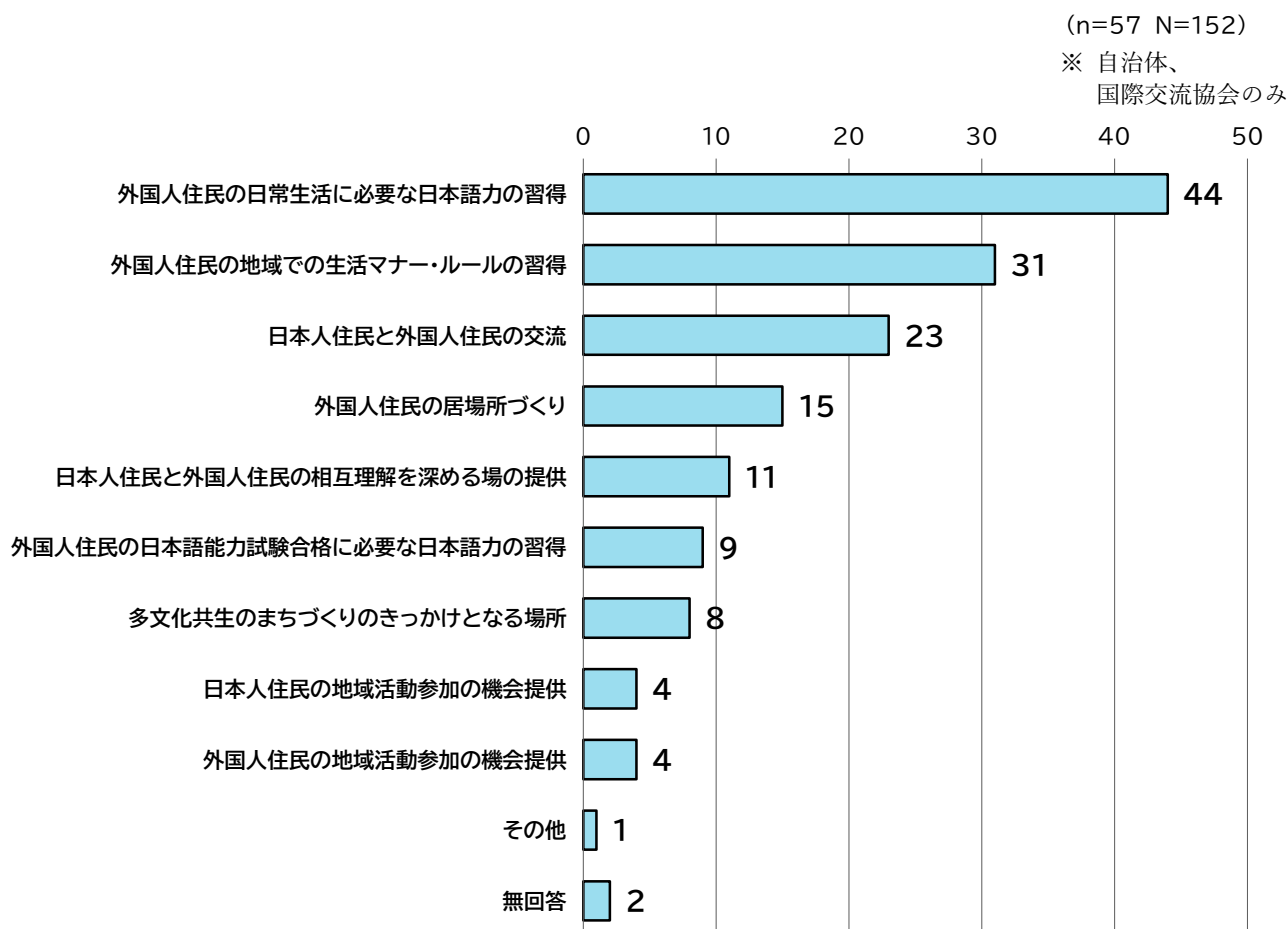
問 15 在住外国人に対する日本語教育における地域の日本語教室の役割

問 15 地域日本語教室の役割にはどのようなものがあるとお考えですか。

最も当てはまるもの3つまで選択してください。(複数選択) ※

地域の日本語教室の役割としては、「外国人住民の日常生活に必要な日本語力の習得」が最も多く、次いで「外国人住民の地域での生活マナー・ルールの習得」となっている。

図表Ⅱ-15 在住外国人に対する日本語教育における地域の日本語教室の役割

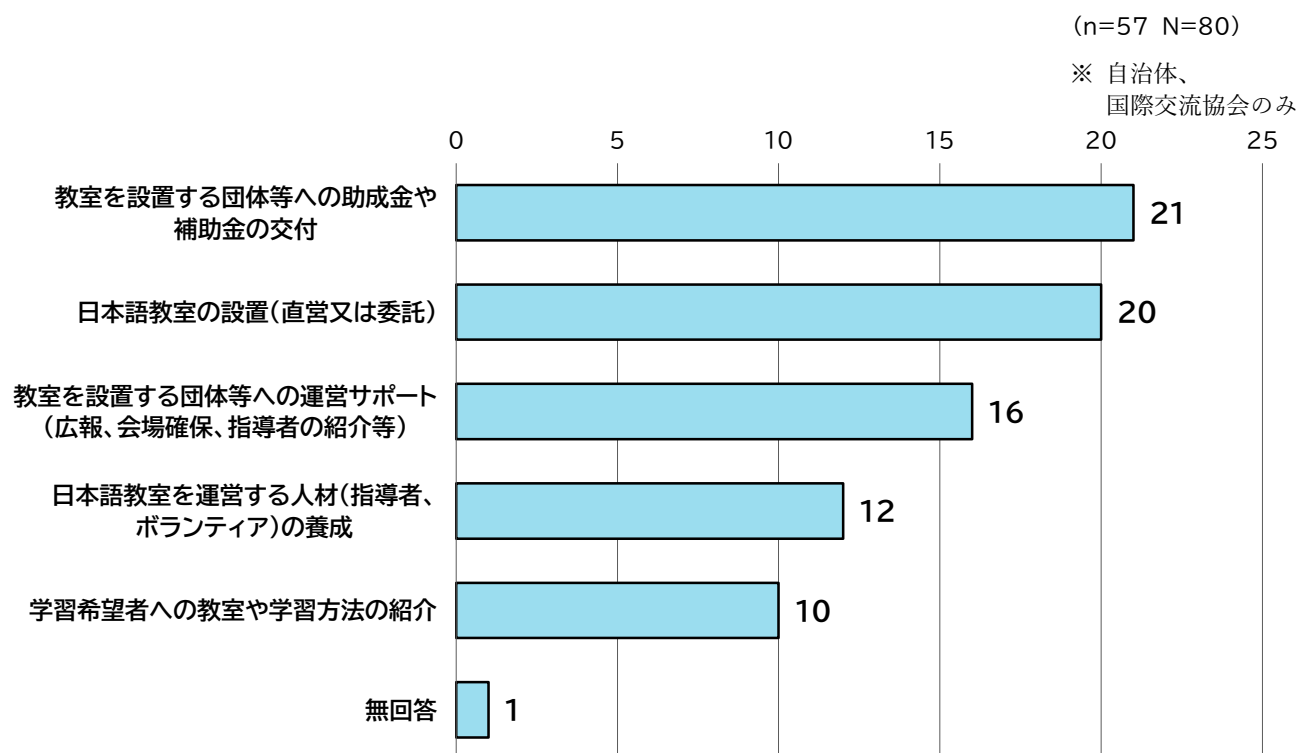


問 16 在住外国人に対する日本語教育における市町村の役割

問 16 外国人住民に対する日本語教育における市町村の役割にはどのようなものがあると思われますか。最も当てはまるもの3つまで選択してください。（複数選択）※

日本語教育における市町村の役割としては、「教室を設置する団体等への助成金や補助金の交付」が最も多く、次いで「日本語教室の設置（直営又は委託）」となっている。

図表Ⅱ-16 在住外国人に対する日本語教育における市町村の役割



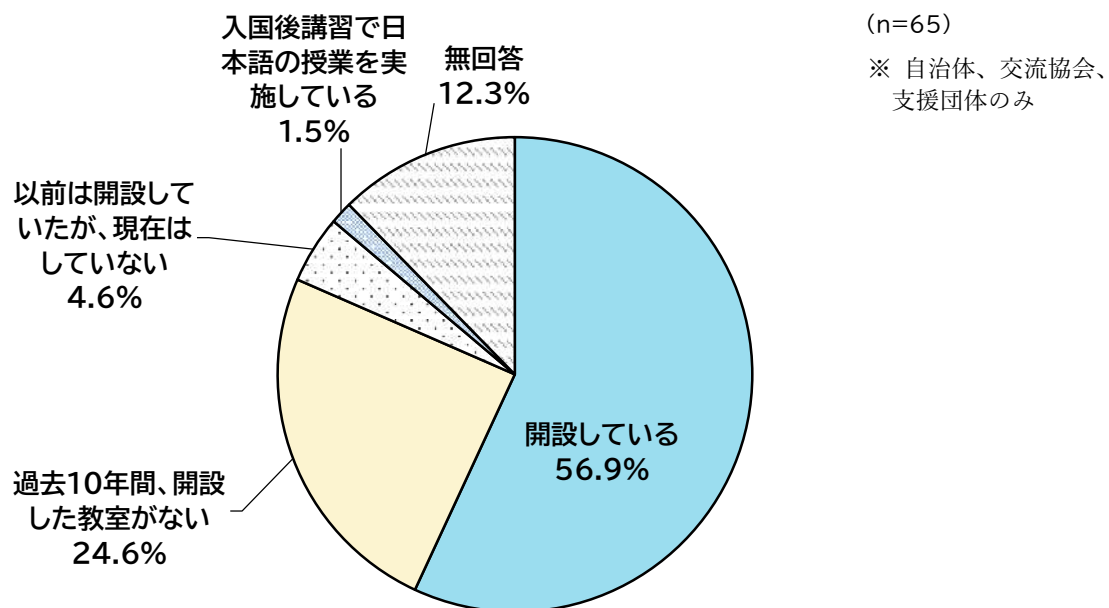
(4)地域の日本語教室

問 17 地域の日本語教室の開設状況

問 17 地域日本語教室の開設状況（把握しているもの）を教えてください。
（令和 6 年 4 月 1 日現在）※

「開設している」が 56.9%、「過去 10 年間、開設した教室がない」が 24.6%となっている。

図表Ⅱ-17 地域の日本語教室の開設状況



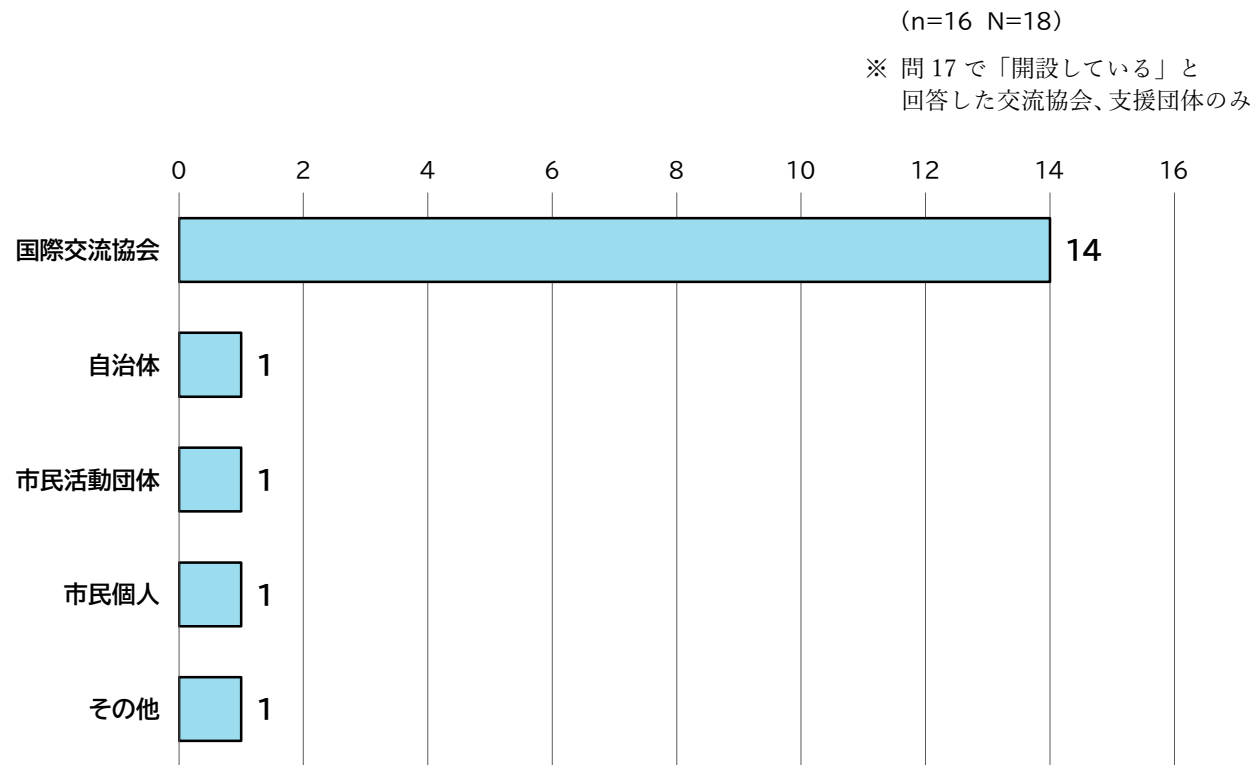
	n	開設している	以前は開設していたが、現在はしていない	過去10年間、開設した教室がない	入国後講習で日本語の授業を実施している	無回答
全体	65	37	3	16	1	8
自治体	38	21	0	13	0	4
教育委員会	0	0	0	0	0	0
国際交流協会	19	13	2	2	0	2
外国人支援団体	6	3	1	0	0	2
日本語教室	0	0	0	0	0	0
日本語学校	0	0	0	0	0	0
大学	0	0	0	0	0	0
企業	0	0	0	0	0	0
監理団体、登録支援機関	2	0	0	1	1	0
その他	0	0	0	0	0	0

問 18 地域の日本語教室の主催者

問 18 教室の主催者は次のうちどれですか。（複数選択）※

教室の主催者は、国際交流協会がほとんどとなっている。

図表Ⅱ-18 地域の日本語教室の主催者

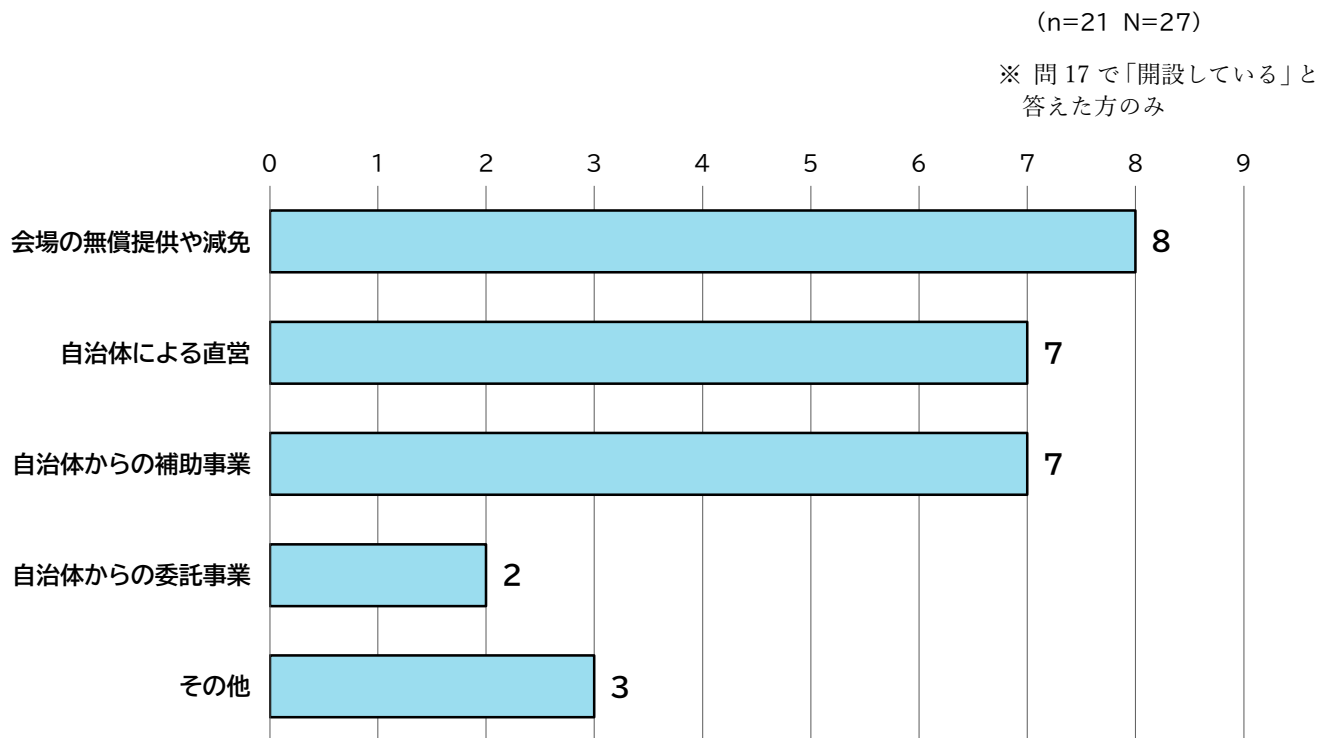


問 19 地域の日本語教室への貴市町村の関与

問 19 各日本語教室への貴市町村の関与はどのような形ですか。（複数選択）※

地域の日本語教室への自治体の関与は、「会場の無償提供や減免」が最も多く、次いで「自治体による直営」「自治体からの補助事業」が多くなっている。

図表Ⅱ-19 地域の日本語教室への貴市町村の関与

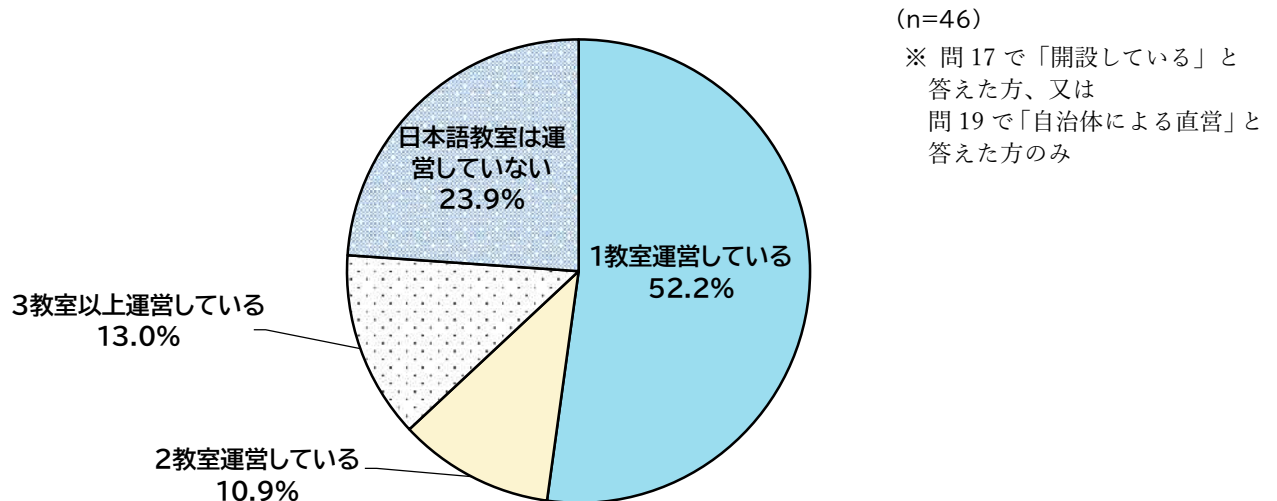


問 20 地域の日本語教室の運営教室数

問 20 貴団体が運営する日本語教室の数はいくつありますか。※

運営教室の数としては、「1 教室運営している」が 52.2%となっている。

図表Ⅱ-20 地域の日本語教室の運営教室数



	n	1教室 運営している	2教室 運営している	3教室以上 運営している	運営していない
全体	46	24	5	6	11
自治体	21	6	4	2	9
国際交流協会	13	8	1	3	1
日本語教室	9	7	0	1	1
外国人支援団体	3	3	0	0	0
教育委員会	0	0	0	0	0
日本語学校	0	0	0	0	0
大学	0	0	0	0	0
企業	0	0	0	0	0
監理団体、登録支援機関	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0

(5)地域の日本語教室の活動内容

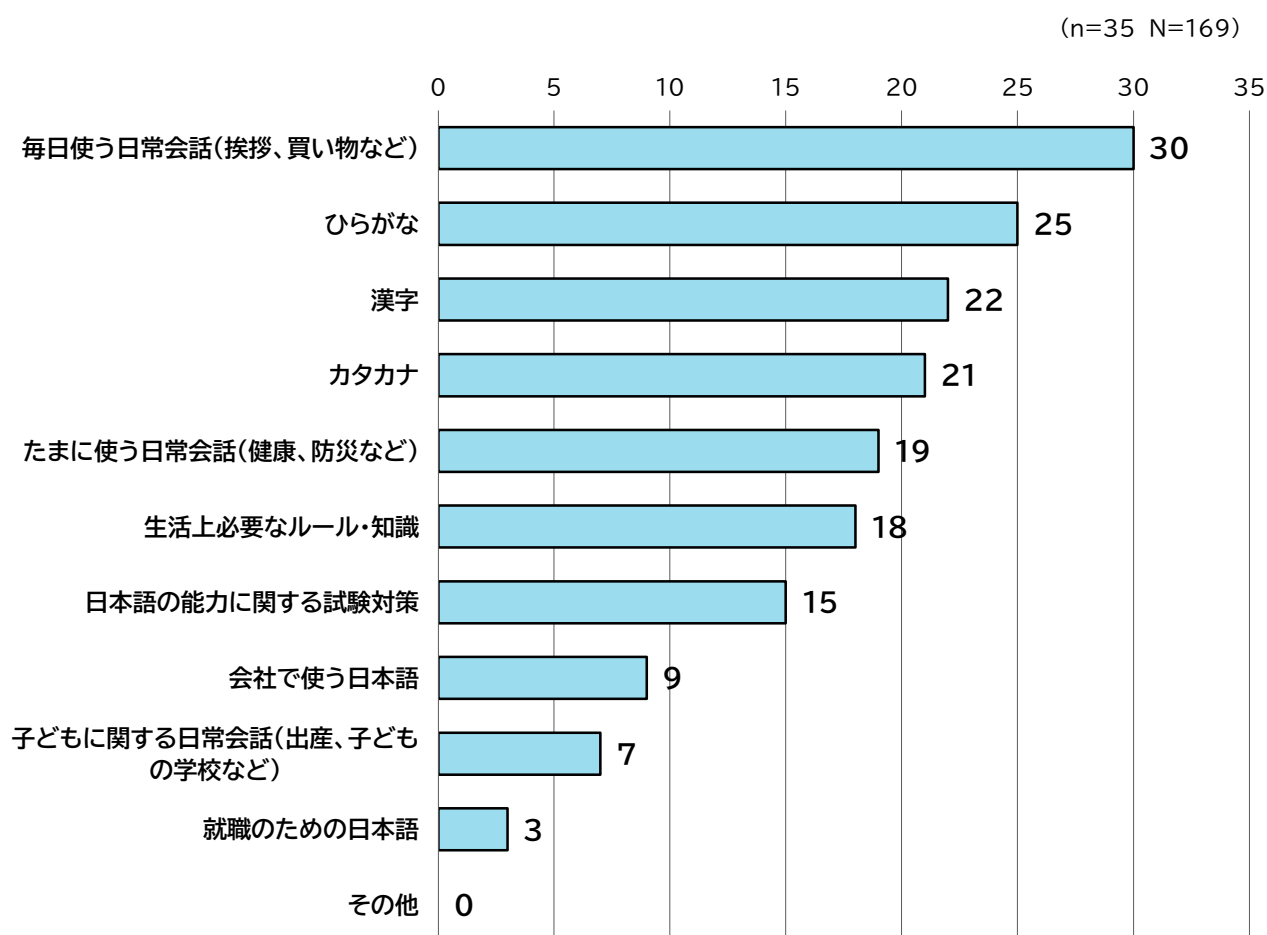
注：問 20 において、「1 教室運営している」「2 教室運営している」「3 教室以上運営している」と回答した団体 (n=35) のうち、「2 教室運営している」「3 教室以上運営している」と回答した団体については、それぞれの団体が運営する 1 教室を抽出して集計した。

問 21 日本語教室で教える内容

問 21 何を学ぶ活動をしていますか？（複数選択）

地域の日本語教室で教える内容は、「毎日使う日常会話（挨拶、買い物など）」が最も多く、次いで「ひらがな」「漢字」が多くなっている。

図表Ⅱ-21 地域の日本語教室で教える内容



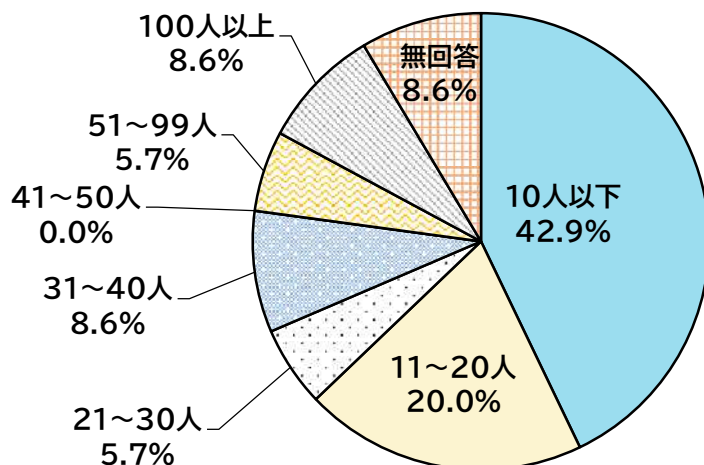
問 22 日本語指導者(ボランティア等)の登録人数

問 22 日本語指導者（ボランティア等）の登録人数

日本語指導者（ボランティア等）の登録人数は、「10人以下」が42.9%を占めている。

図表Ⅱ-22 日本語指導者(ボランティア等)の登録人数

(n=35)



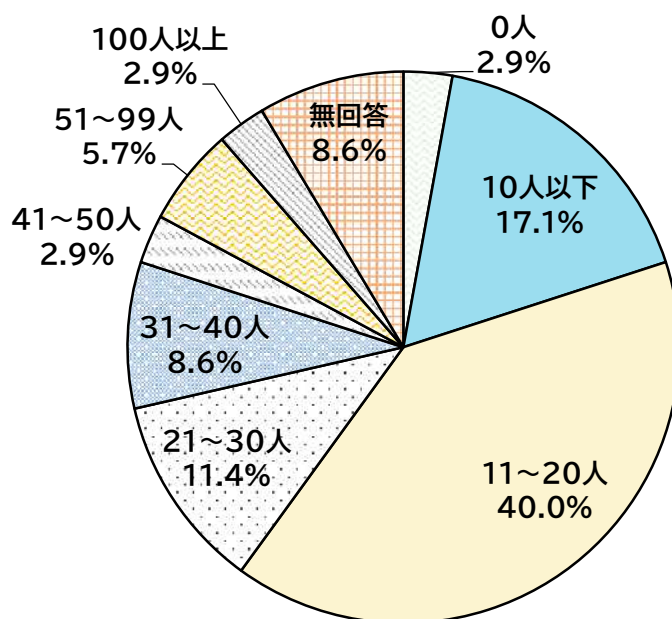
問 23 学習者の登録人数

問 23 学習者の登録人数

学習者の登録人数は、「10人以下」が17.1%、「11~20人」が40.0%となっており、20人以下が57.1%を占めている。

図表Ⅱ-23 学習者の登録人数

(n=35)

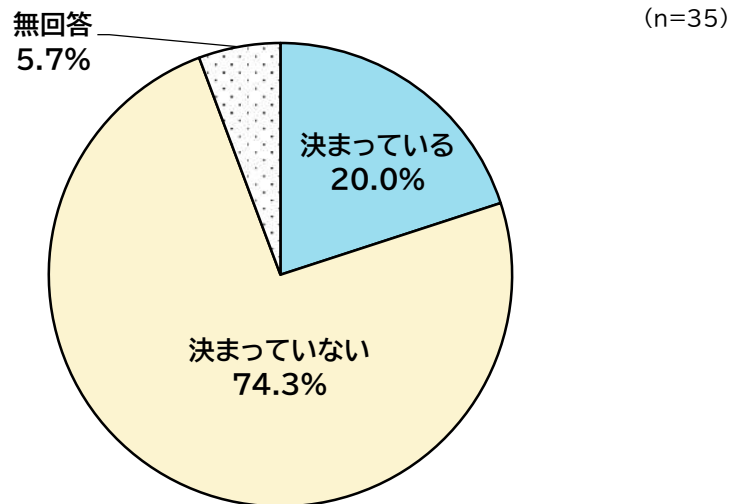


問 24 使用教材

問 24 使用教材

使用教材は「決まっていない」が74.3%を占めている。

図表Ⅱ-24 使用教材

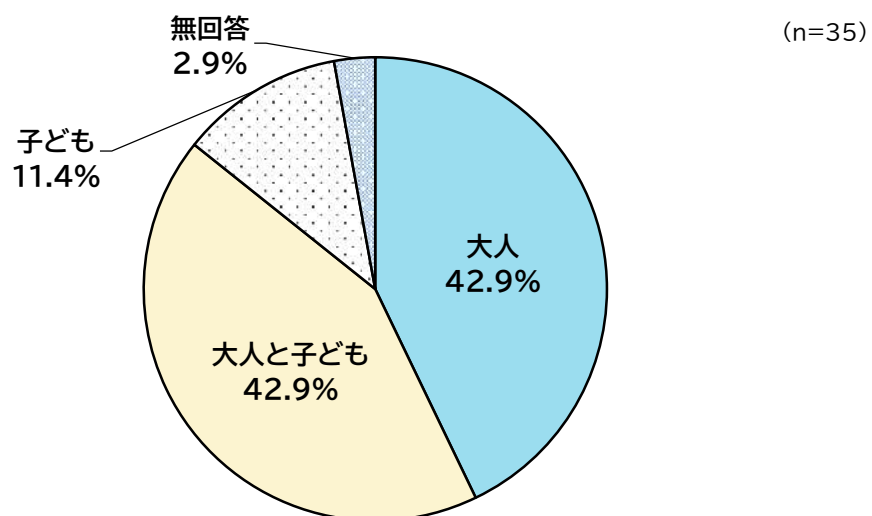


問 25 対象

問 25 対象

対象は、「大人」が42.9%、「大人と子ども」が42.9%を占めている。

図表Ⅱ-25 対象

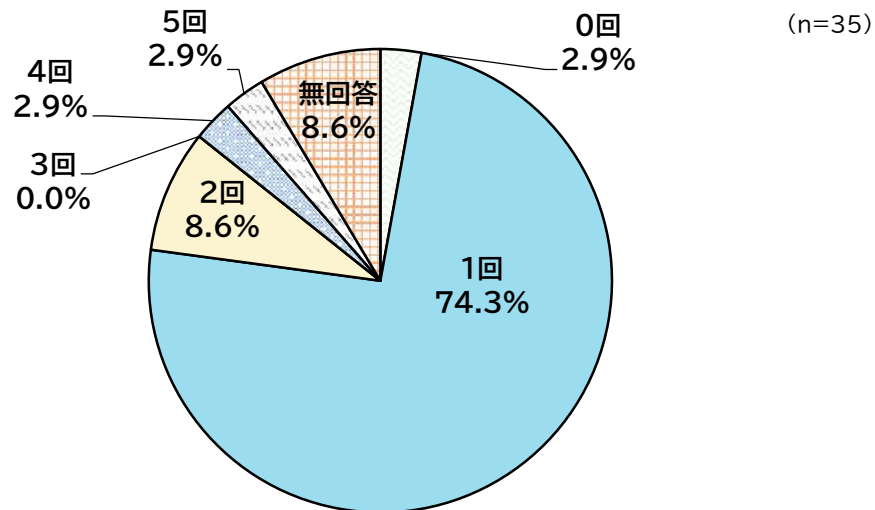


問 26 学習時間(頻度)

問 26 学習時間（頻度）（週【 】回）

学習時間は、「週 1 回」が 74.3%を占めている。

図表Ⅱ-26 学習時間(頻度)

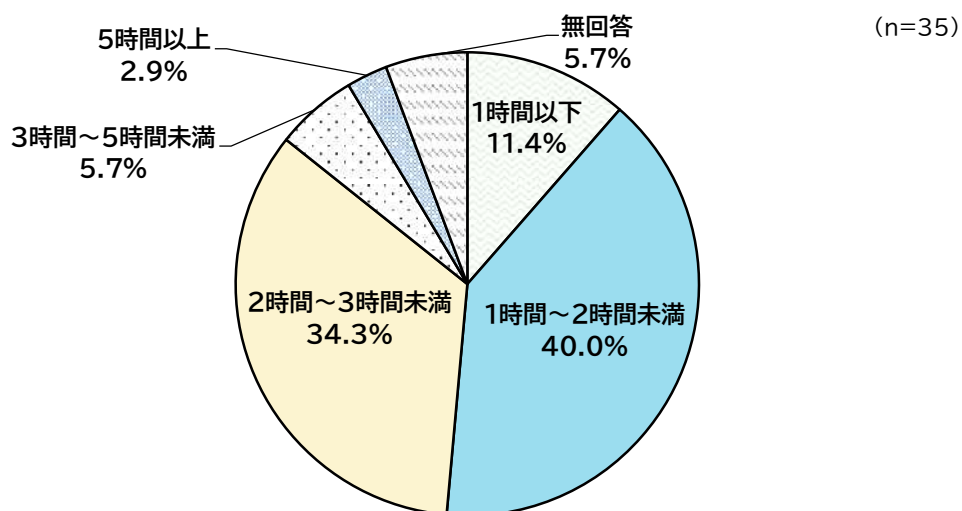


問 27 学習時間(1回の時間)

問 27 学習時間（1 回の時間）

学習時間（1 回の時間）は、「1 時間～2 時間未満」が 40.0%、「2 時間～3 時間未満」が 34.3%を占めている。

図表Ⅱ-27 学習時間(1回の時間)

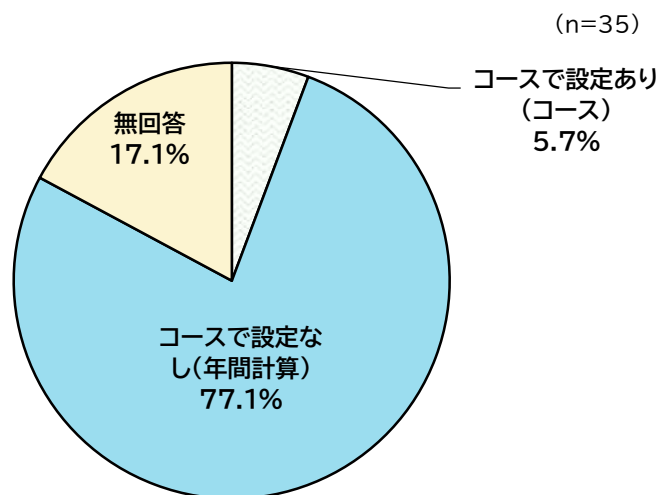


問 28 学習時間(コースでの設定)

問 28 学習時間 (コースでの設定)

学習時間 (コースでの設定) は、「コースで設定なし (年間計算)」が 77.1%を占めている。

図表Ⅱ-28 学習時間(コースでの設定)

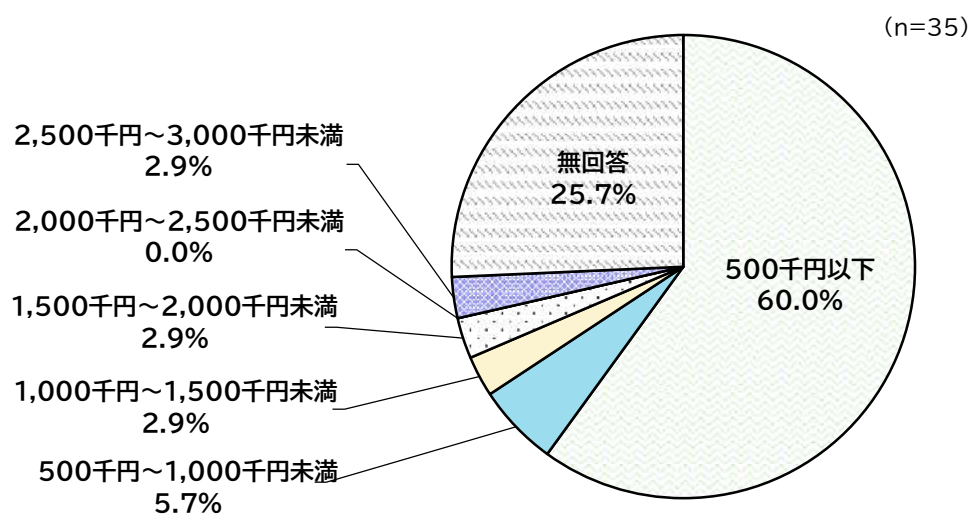


問 29 年間事業費

問 29 年間事業費

年間事業費は、「500 千円以下」が 60.0%を占めている。

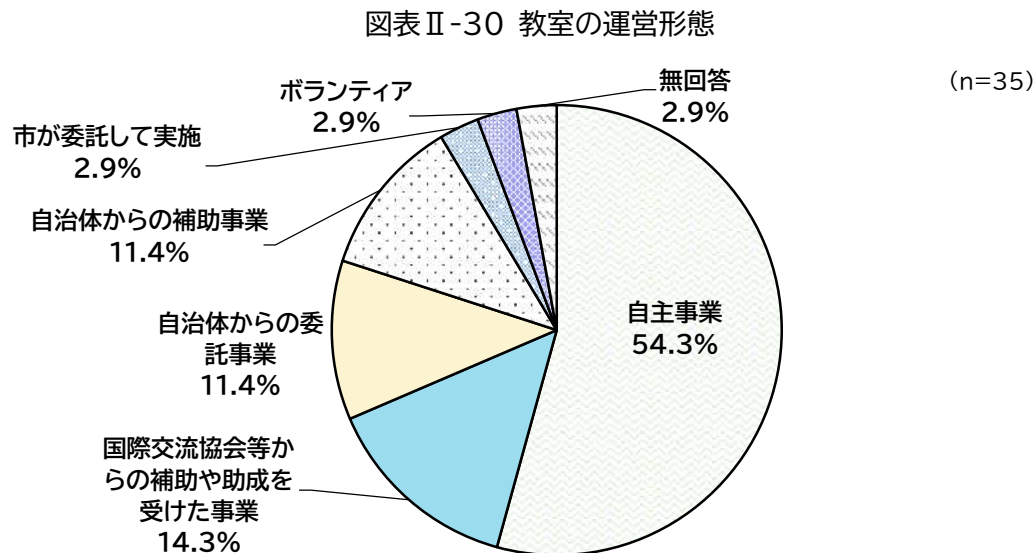
図表Ⅱ-29 年間事業費



問 30 教室の運営形態

問 30 教室の運営形態

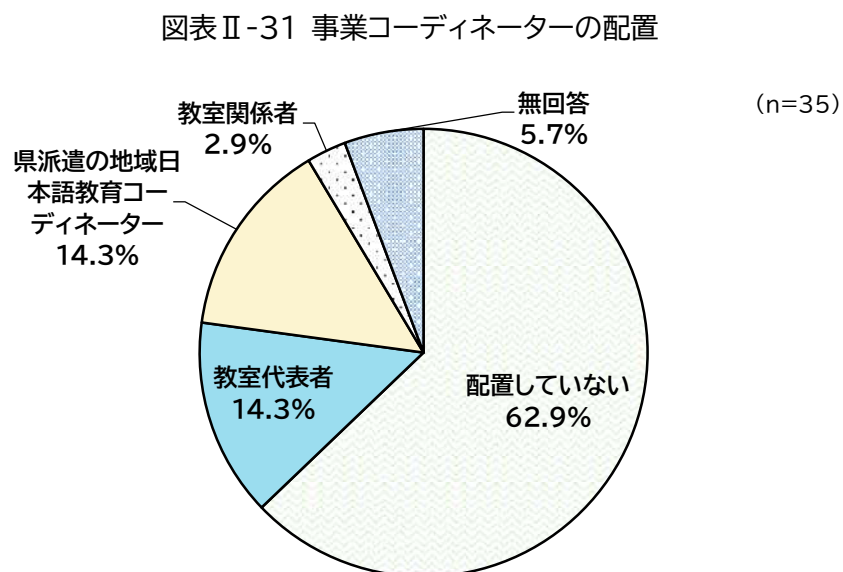
教室の運営形態は、「自主事業」が54.3%を占めている。



問 31 事業コーディネーターの配置

問 31 事業コーディネーターの配置

事業コーディネーターは、「配置していない」が62.9%を占めている。



問 21～38 日本語教室の運営状況 総括

団体について		運営する日本語教室の数	学習内容										日本語指導者（ボランティア等）			学習者		使用教材		対象	学習時間					年間事業費	教室の運営形態	事業コーディネーターの配置	学習到達度 （取組している 割合）			
団体の種類	主に活動 （所属）する 市町村		ひらがな	カタカナ	漢字	毎日使う 日常会話 （挨拶、買 い物など）	たまに使う 日常会話 （健康、気 候など）	子どもに聞 く日常会 話（出で、 子どもの行 動など）	就職のため の日本語	会社で使う 日本語	生活上必要 なルール・ 知識	日本語の能 力に関する 試験対策	その他	登録人数	登録人数 うち、有資 格者数	各級平均 人数	登録人数	各級平均 人数	定員		待機者	使用教材	程度 別の1	1回の時間	コースでの設定					コース	年間計画	
日本語教室	岐阜市	1教室運営している	○	○	○	○				○		○	15	4	15	15	15	20	0	決まっている		大人	1	1.5	コースで設定なし（年間計画）		50,000	自主事業		配置していない		
日本語教室	岐阜市	1教室運営している	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	30	6	7	40	7	40	3	決まっている		大人と子ども	1	1.5			200,000	国際交流協会等からの補助や助成を受けた事業	教室代表者			
国際交流協会	岐阜市	3教室以上運営している				○							5	5	1	30	10	15		決まっている	みんなの日本語初級Ⅰ、初級Ⅱ	大人	2	2	コースで設定あり（コース）	150	1,500,000	自治体からの補助事業		配置していない		
日本語教室	岐阜市	3教室以上運営している	○	○	○	○		○			○		37	2	23	60	28	40	0	決まっている		大人と子ども	4	1.5	コースで設定なし（年間計画）		600,000	国際交流協会等からの補助や助成を受けた事業	教室代表者			
国際交流協会	各務原市	1教室運営している	○	○	○	○	○	○	○	○	○		99	3	5	36	10	20	0	決まっている		大人と子ども	1	2	コースで設定なし（年間計画）		96	80,000	自主事業		配置していない	
自治体	各務原市	1教室運営している					○				○		99	3	5	11	4	15	0	決まっている	きふせいかつのにほんご	大人と子ども	1	2	コースで設定なし（年間計画）		11	103,500	自主事業	県広域の地域日本語教育コーディネーター		
日本語教室	稲穂市	1教室運営している	○	○	○	○	○				○	○	8	1	5	18	10		0	決まっている		大人	1	1.5	コースで設定なし（年間計画）			自治体からの補助事業		配置していない		
外国人支援団体（NPO、ボランティア）	稲穂市	1教室運営している	○	○	○	○		○					10	2	3	8	6		0	決まっている		子ども	1	1.5	コースで設定なし（年間計画）			自主事業		配置していない		
自治体	稲穂市	1教室運営している	○	○	○	○	○															大人と子ども							ボランティア			
自治体	大山市	2教室運営している	○	○	○	○						学校の附属支援等	9			26	26			決まっている		子ども	2	1	コースで設定なし（年間計画）		90	2,700,000	市が委託して実施		配置していない	
			○	○	○	○						学校の附属支援等	9			26	26			決まっている		子ども	2	1	コースで設定なし（年間計画）		90	2,700,000	市が委託して実施		配置していない	
国際交流協会	大山市	1教室運営している	○	○	○	○	○	○		○	○		126	9	8	74	12	12	65	決まっている		大人と子ども	1	1.5	コースで設定なし（年間計画）		72	918,000	自主事業		配置していない	
国際交流協会	大山市	1教室運営している	○	○	○	○	○		○				126		16	23	13	20	0	決まっている	作成プリント（オリジナル）	大人	1	2	コースで設定あり（コース）	20	1,471,000	自主事業	教室代表者			
国際交流協会	大山市	1教室運営している				○							126	9	2	3	1	3	0	決まっている		大人と子ども	1	1	コースで設定なし（年間計画）			21,000	自主事業		配置していない	
日本語教室	稲津市	1教室運営している	○	○	○	○	○				○	○	11	0	8	20	10	40	0	決まっている		大人と子ども	1	2.5	コースで設定なし（年間計画）		140	50,000	自主事業		配置していない	
外国人支援団体（NPO、ボランティア）	稲津市	1教室運営している	○	○	○	○	○				○	○	15	0	12	20	15	30	0	決まっている		大人と子ども	1	2.5	コースで設定なし（年間計画）		90	30,000	自主事業		配置していない	
自治体	稲津市	2教室運営している	○	○	○	○	○						30	0	20	50	20			決まっている		大人	1	4	コースで設定なし（年間計画）			自主事業		配置していない		
			○	○	○	○	○						40		20	40	20			決まっている		大人	1	4	コースで設定なし（年間計画）			自主事業		配置していない		
自治体	養老町	1教室運営している	○	○	○	○	○						2	0	1	10	7	10	0	決まっている		大人と子ども	1	2	コースで設定なし（年間計画）		48	0	自主事業		配置していない	
自治体	垂井町	1教室運営している					○				○						5	15	0	決まっている		大人	1.5	0	自治体からの委託事業	12	200,000	自治体からの委託事業	県広域の地域日本語教育コーディネーター	1回1程度		
日本語教室	関市	1教室運営している	○			○							1	0	5	10	5	20	0	決まっている		大人	1	1.5	コースで設定なし（年間計画）		50,000	国際交流協会等からの補助や助成を受けた事業	教室代表者			
国際交流協会	関市	3教室以上運営している	○	○	○						○																					
国際交流協会	関市	3教室以上運営している	○	○	○	○							5		4	13	10			決まっている		子ども	1	1	コースで設定なし（年間計画）			自治体からの補助事業		配置していない		
			○	○	○	○							5			5	5			決まっている		子ども	1	1				自治体からの補助事業		配置していない		
			○	○	○	○							5			15				決まっている		大人	1	1.5				自治体からの補助事業		配置していない		
国際交流協会	郡上市	1教室運営している				○				○			8	0	6	9	6	15	0	決まっている		大人	0	1.5	コースで設定なし（年間計画）		4	30,000	自主事業		配置していない	
国際交流協会	郡上市	2教室運営している					○	○					37	0	20	14	11		0	決まっている		大人と子ども	1	2	コースで設定なし（年間計画）		10	131,055	自主事業		配置していない	
						○	○			○			11	0	9	10	5		0	決まっている	標準教材	大人	1	2	コースで設定なし（年間計画）		20	16,863	自主事業		配置していない	
自治体	郡上市	2教室運営している				○	○						37	0	20	14	11		0	決まっている		大人と子ども	1	2	コースで設定なし（年間計画）		10	131,055	自主事業		配置していない	
						○	○						11	0	8	10	5		0	決まっている	標準教材の教材	大人	1	2	コースで設定なし（年間計画）		6	16,863	自主事業	教室開所者		
外国人支援団体（NPO、ボランティア）	美濃加茂市	1教室運営している	○	○	○	○	○	○					6		5	16	5		0	決まっている	にほんごこれだけ！	大人	2	1.5				自治体からの委託事業		教室代表者		
自治体	可児市	3教室以上運営している	○							○			10			28				決まっている		子ども	5	5.5	コースで設定なし（年間計画）			自治体からの委託事業		教室開所者		
			○	○	○	○														決まっている		子ども						自治体からの委託事業		教室開所者		
			○	○	○					○										決まっている		子ども	4	2	コースで設定なし（年間計画）			自治体からの委託事業		教室開所者		
自治体	坂祝町	3教室以上運営している	○		○	○	○			○			8	0	8	14	8	20		決まっている		大人	1	2				自治体からの補助事業		配置していない		
国際交流協会	多治見市	1教室運営している	○	○	○	○				○		○	17	1	12	15	10			決まっている		大人	1	1.8	コースで設定なし（年間計画）		145,000	国際交流協会等からの補助や助成を受けた事業		配置していない		
	多治見市	1教室運営している	○	○	○	○	○	○	○	○	○		18	1	10	20	12	8		決まっている		大人	1	2	コースで設定なし（年間計画）		50	145,000	自治体からの委託事業		配置していない	
自治体	瑞浪市	2教室運営している				○	○						3	3	3	6	5	10	0	決まっている	県の教材等	大人	1	3	コースで設定なし（年間計画）		15	236,000	自主事業	県広域の地域日本語教育コーディネーター		
						○	○						3	3	3	8	5	10	0	決まっている	県の教材等	大人	1	3	コースで設定なし（年間計画）		15	236,000	自主事業	県広域の地域日本語教育コーディネーター		
自治体	土岐市	1教室運営している				○	○				○		13	1	5	124	5			決まっている		大人と子ども	1	1.5	コースで設定なし（年間計画）		54	10,000	自主事業	県広域の地域日本語教育コーディネーター		
自治体	中津川市	1教室運営している					○						15	2	15	20	20			決まっている		大人	1	2				400,000	自主事業	県広域の地域日本語教育コーディネーター		
日本語教室	中津川市	1教室運営している	○	○	○	○	○			○	○		7	4	3	40	6	20	0	決まっている		大人と子ども	1	1.5	コースで設定なし（年間計画）		60	20,000	自主事業		配置していない	
国際交流協会	恵那市	1教室運営している				○			○	○			10	1	5	20	10			決まっている	みんなの日本語、いっしょ	大人	1	1.5	コースで設定なし（年間計画）		150,000	国際交流協会等からの補助や助成を受けた事業		配置していない		
日本語教室	飛騨市	1教室運営している	○	○		○	○			○			1	1	1	0	0	3	0	決まっている		大人と子ども	1	1	コースで設定なし（年間計画）		60	0	自主事業		配置していない	

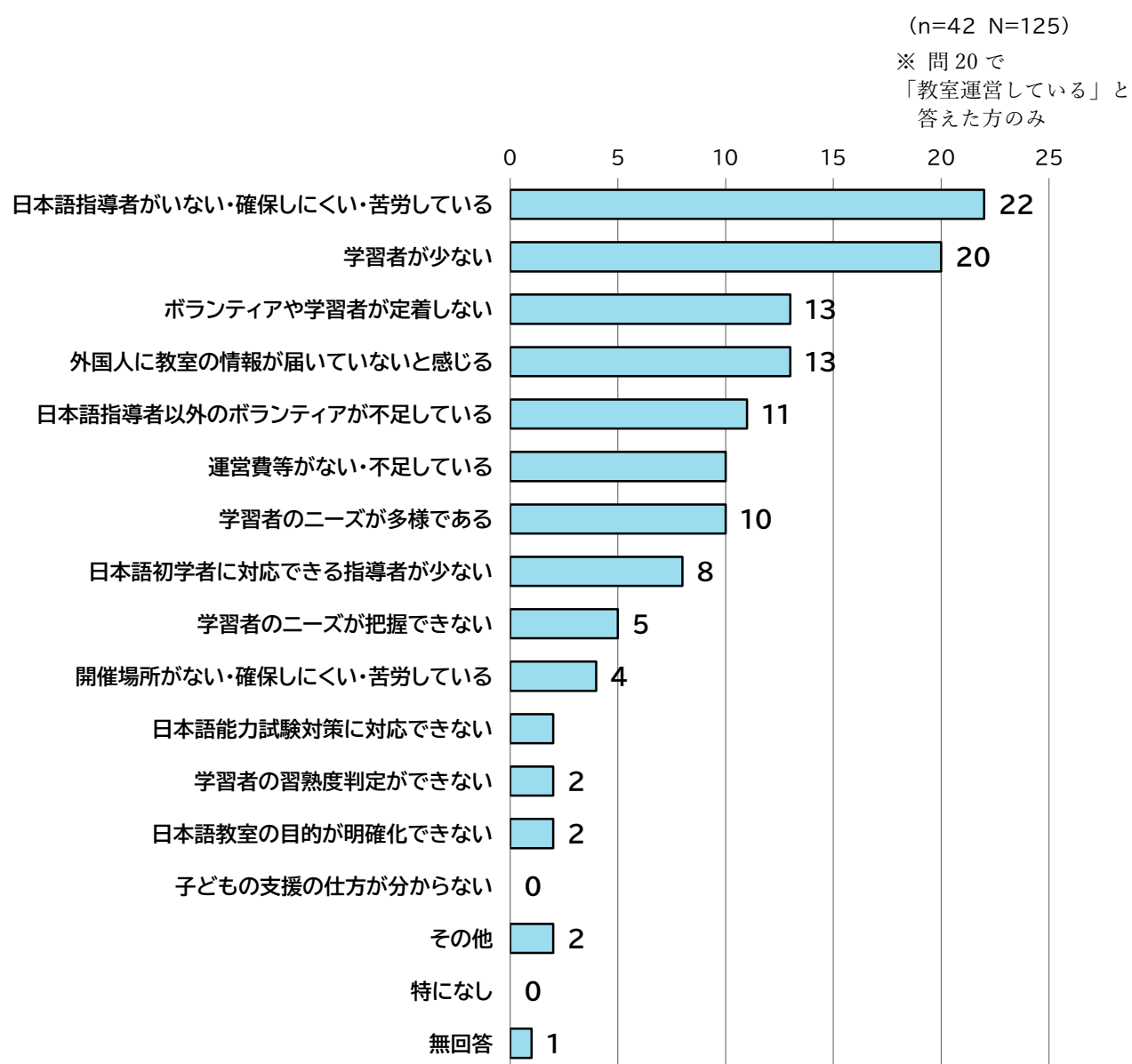
(6)地域の日本語教室運営の課題や今後の取組み

問 39 地域の日本語教室運営における課題

問 39 日本語教室運営における課題は何ですか？（複数選択）※

日本語教室運営における課題としては、「日本語指導者がいない・確保しにくい・苦勞している」が最も多く、次いで「学習者が少ない」、「ボランティアや学習者が定着しない」「外国人に教室の情報が届いていないと感じる」となっている。

図表Ⅱ-39 地域の日本語教室運営における課題



問 40 新たな取組み等

問 40 これから日本語教室で行う新たな取組み・取り組んでみたいことがあれば教えてください。（自由記述）

図表Ⅱ-40 新たな取組み等

カテゴリ	主な意見
自治体	(課題) ・通訳者がいない ・内容が相手に伝わっているかが確認できない (工夫) ・「やさしい日本語」の活用 ・窓口が異なる手続きにおける職員間の引継ぎ
教育委員会	(課題) ・通訳者の勤務条件 (工夫) ・A I 翻訳機の活用
国際交流協会	(工夫) ・「やさしい日本語」やD X機器の活用 ・相手の国や文化などの理解
支援団体	(工夫) ・「やさしい日本語」やD X機器の活用 ・必要時の母語通訳
日本語教室	(工夫) ・説明時に理解度を確認する ・相手の希望を尊重しつつ、こちらの事業を説明する ・難解な言葉・漢字を使用しない
日本語学校	(工夫) ・通訳や「やさしい日本語」の活用
大学	(課題) ・日本人側の語学力 (工夫) ・留学生同士による通訳
企業	(課題) ・通訳者の費用や時間的制限 (工夫) ・「やさしい日本語」、通訳、D X機器の活用
その他	(工夫) ・説明時に理解度を確認する ・「やさしい日本語」、通訳、D X機器の活用 ・文化的違いの丁寧な説明

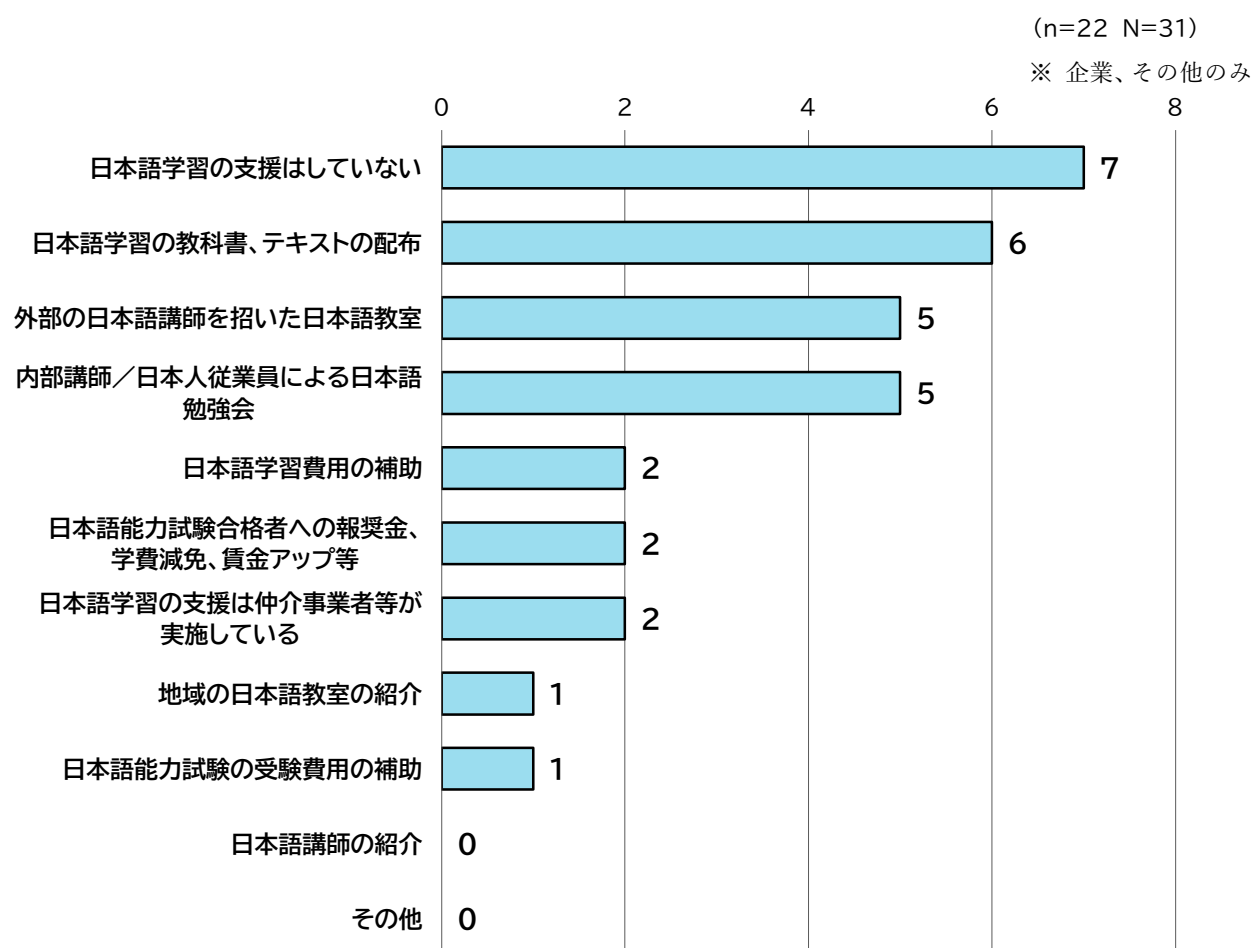
(7)日本語教育の支援状況(地域の日本語教室以外)

問 41 支援状況

問 41 令和6年4月以降、次のような日本語学習の支援をしていますか？
(複数選択) ※

企業の日本語学習の支援状況については、7企業が「日本語学習の支援はしていない」とのことだが、一方で、「日本語学習の教科書、テキストの配布」(6企業)、「外部の日本語教師を招いた日本語教室」(5企業)、「内部講師／日本人従業員による日本語勉強会」(5企業)などの支援をしている企業もあった。

図表Ⅱ-41 支援状況

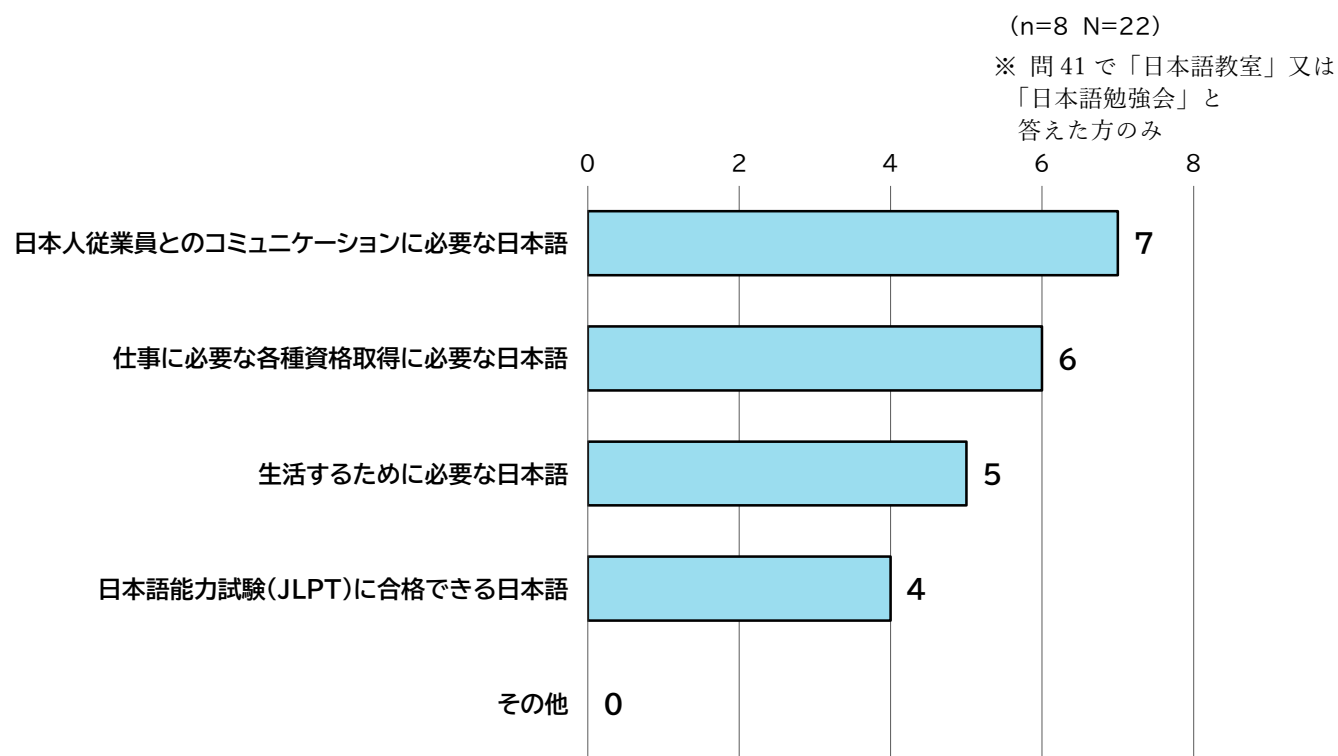


問 42 教えている内容

問 42 どのような内容を教えていますか？（複数選択）

教えている内容としては、「日本人従業員とのコミュニケーションに必要な日本語」が最も多く、次いで「仕事に必要な各種資格取得に必要な日本語」となっている。

図表Ⅱ-42 教えている内容

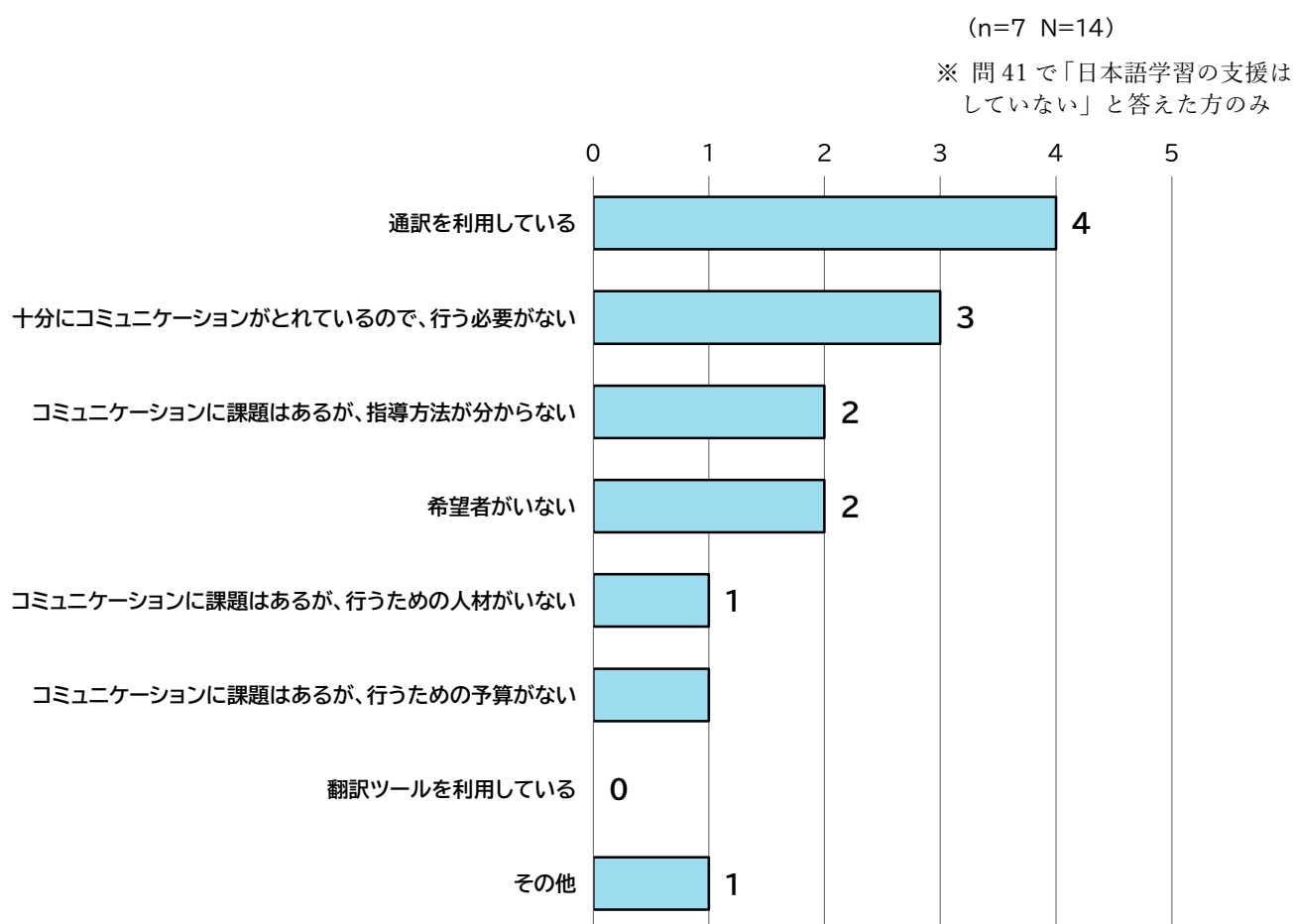


問 43 日本語学習の支援をしていない理由

問 43 日本語学習の支援をしていない理由は何ですか？（複数選択）※

企業において日本語学習の支援をしていないその理由としては、「通訳を利用している」が最も多く、次いで「十分にコミュニケーションがとれているので、行う必要がない」となっている。

図表Ⅱ-43 日本語学習の支援をしていない理由

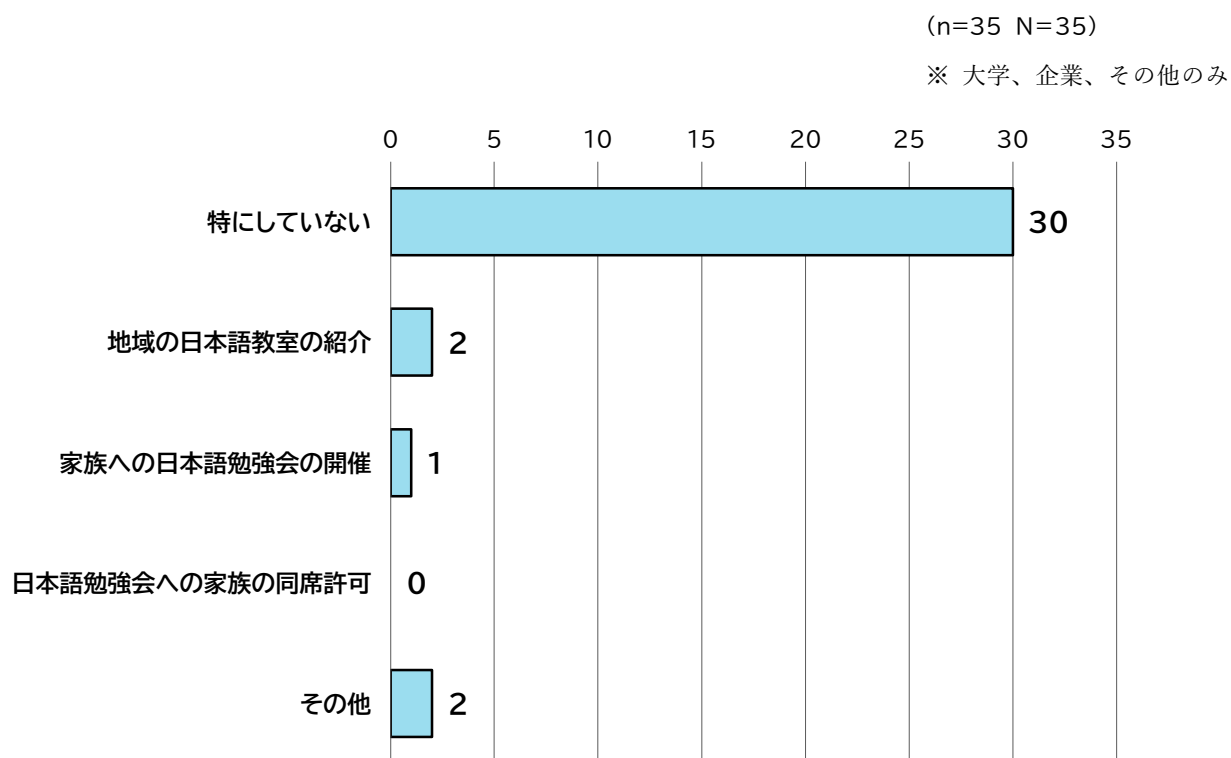


問 44 家族の日本語学習への支援状況

問 44 家族（配偶者等）への日本語教育支援をされていますか？（複数選択）※

大学・企業における家族の日本語学習への支援については、30 企業が「特にしていない」となっている。

図表Ⅱ-44 家族の日本語学習への支援状況

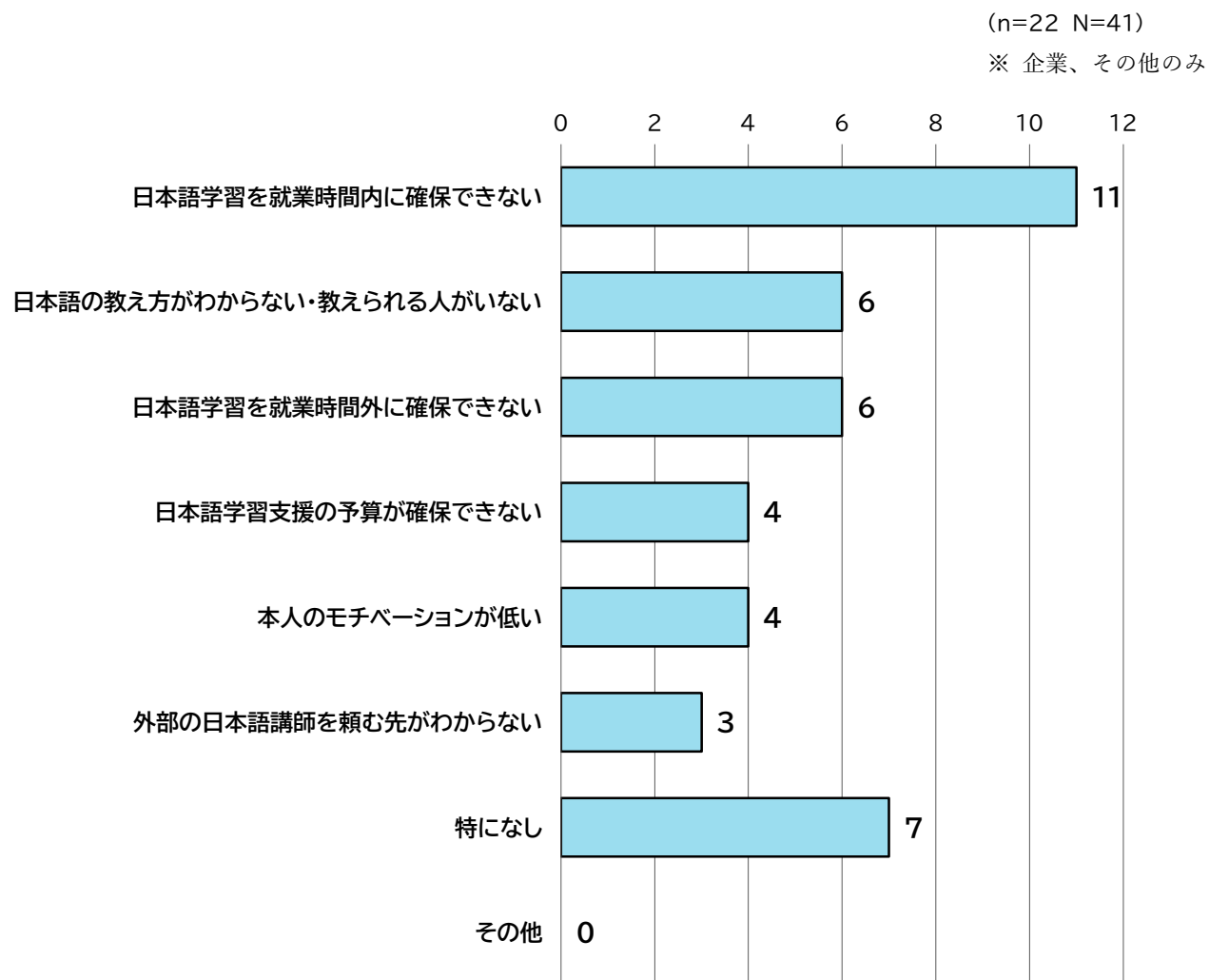


問 45 企業における日本語学習支援に関する課題

問 45 日本語学習支援における課題は何ですか？（複数選択）※

企業における日本語学習支援に関する課題は、「日本語学習を就業時間内に確保できない」が最も多くなっている。

図表Ⅱ-45 企業における日本語学習支援に関する課題



(8)企業の取組み

問 46 業種

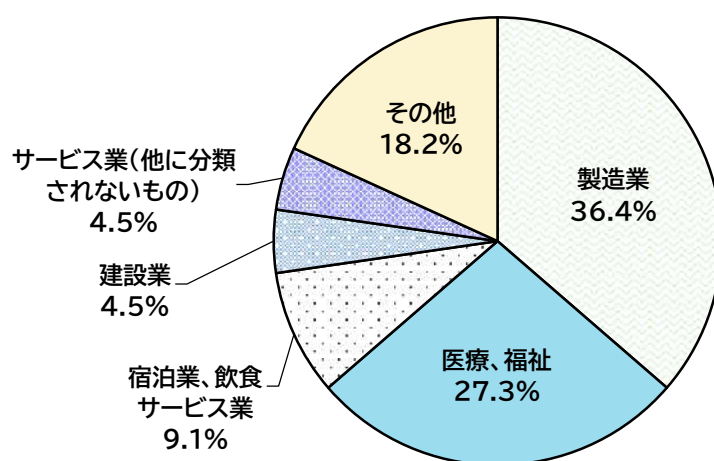
問 46 貴社の業種を教えてください。※

「製造業」が最も多く 36.4%で、次いで「医療、福祉」が 27.3%となっている。

図表Ⅱ-46 業種

(n=22)

※ 企業のみ



問 47 外国人労働者数

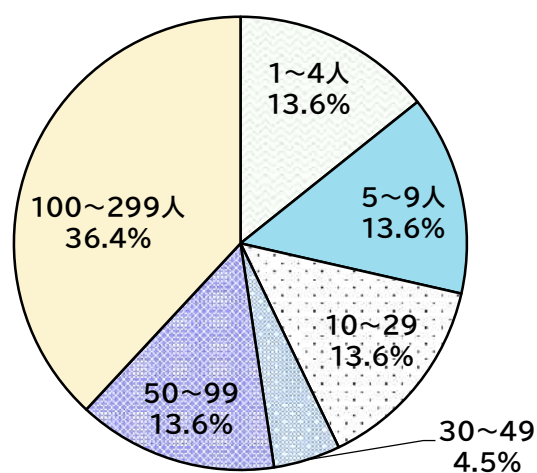
問 47 貴社で働く方（日本人・外国人を含む）の人数を教えてください。※

「100～299 人」が 36.4%と最も高いが、「1～4 人」が 13.6%、「5～9 人」が 13.6%と、9 人以下の企業も合わせて 27.2%となっている。

図表Ⅱ-47 外国人労働者数

(n=22)

※ 企業のみ

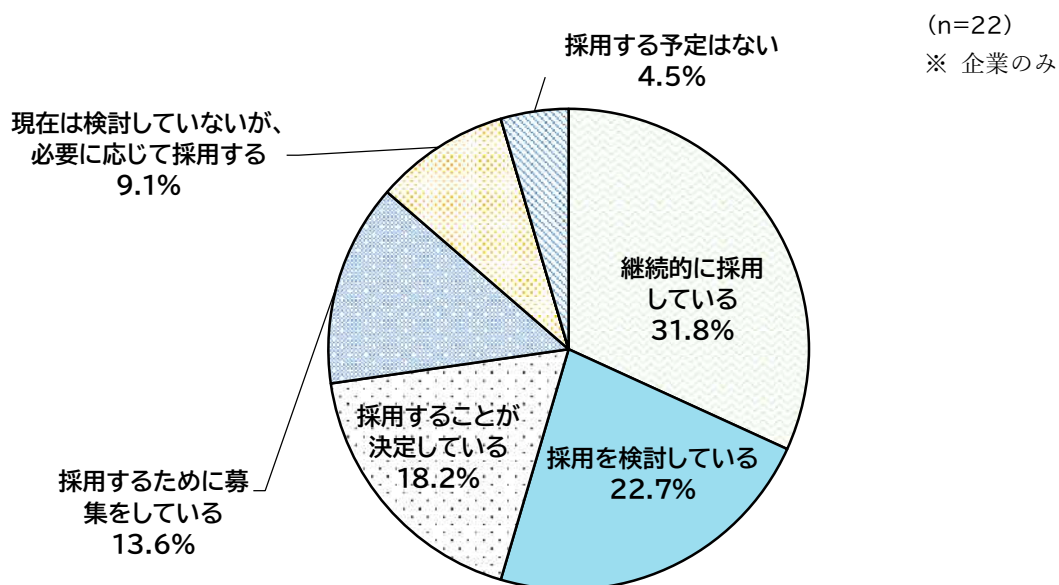


問 48 外国人材の新規採用予定

問 48 今後、現在雇用している方以外の外国人材を採用する予定はありますか？※

今後の外国人材の雇用については、「継続的に採用している」が 31.8%、「採用するために募集をしている」が 13.6%、「採用することが決定している」18.2%、「採用を検討している」が 22.7%となっており、前向きな企業が 86.4%を占めている。

図表Ⅱ-48 新規採用予定

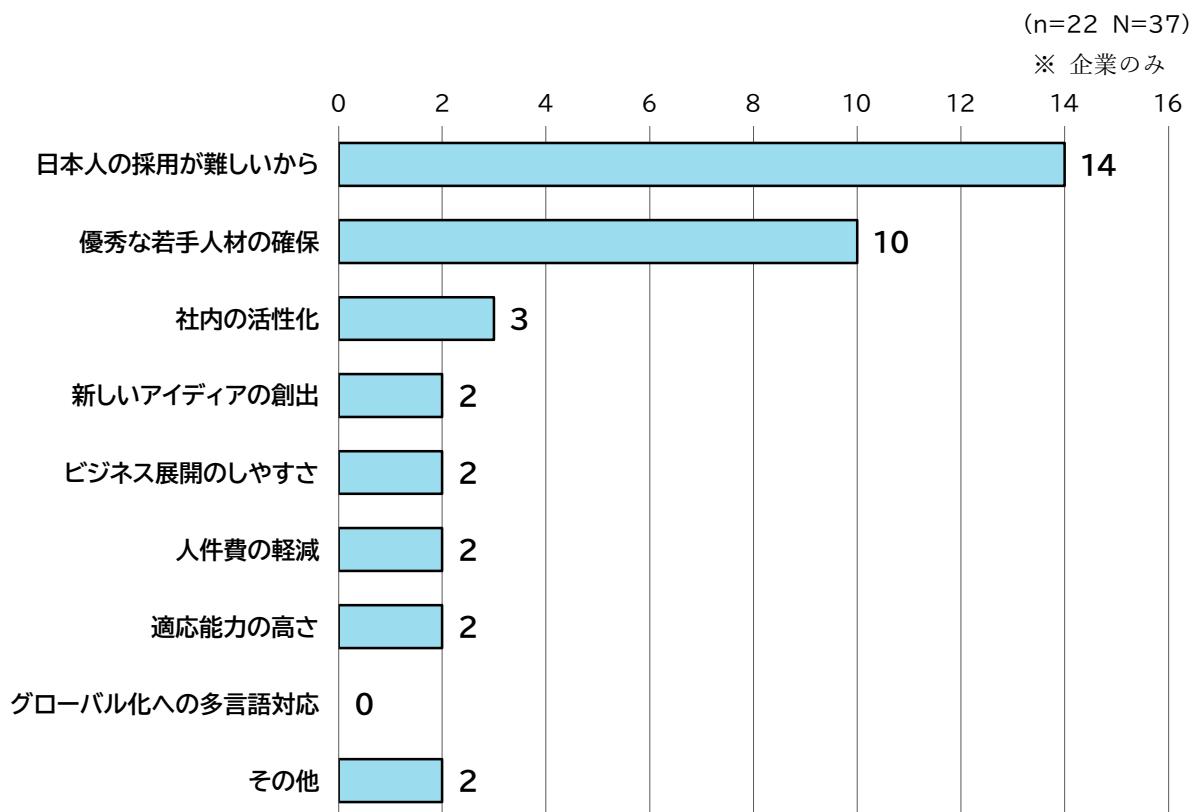


問 49 外国人材を雇用する理由

問 49 外国人材を雇用する理由は何ですか？（複数選択）※

外国人材を雇用する理由については、「日本人の採用が難しいから」が14件(63.6%)と最も多く、次いで「優秀な若手人材の確保」が10件(45.5%)となっている。

図表Ⅱ-49 外国人材を雇用する理由

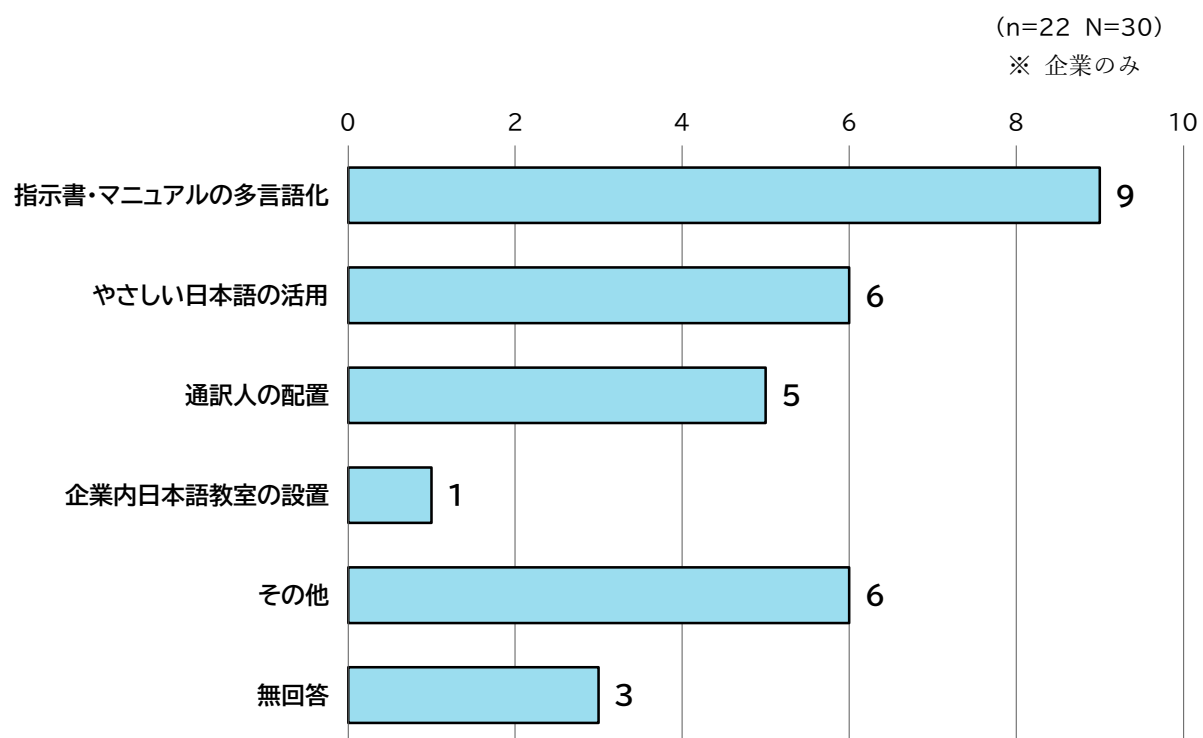


問 50 外国人従業員が働きやすくなるようにする工夫

問 50 外国人従業員が働きやすいようにどのような工夫をしていますか？
(複数選択) ※

外国人従業員が働きやすくなるようにする工夫については、「指示書・マニュアルの多言語化」が9件(40.9%)と最も多く、次いで「やさしい日本語の活用」が6件(27.3%)となっている。

図表Ⅱ-50 外国人従業員が働きやすくなるようにする工夫

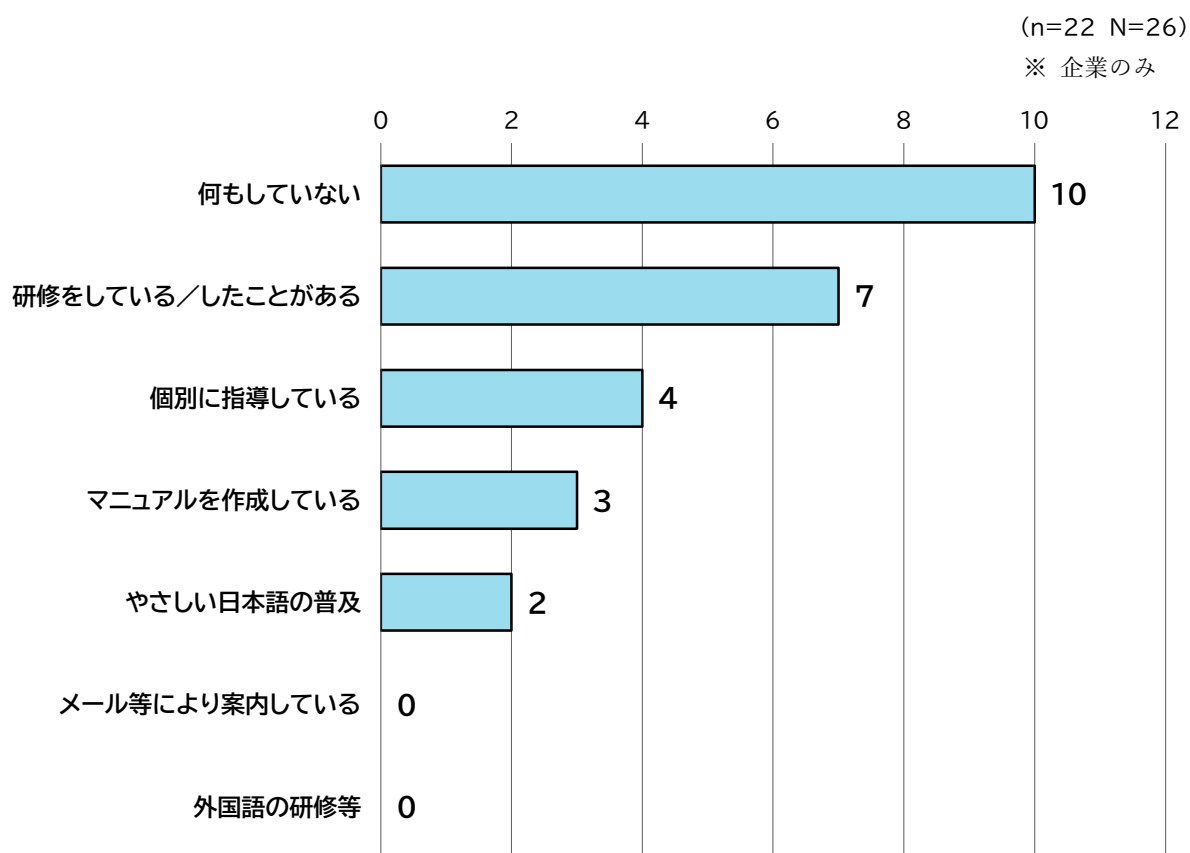


問 51 日本人従業員への研修等

問 51 日本人従業員に対して、外国人従業員と一緒に働くための研修等を行っていますか？（複数選択）※

日本人従業員に対する外国人従業員と一緒に働くための研修等については、「何もしていない」が10件（回答企業の45.5%）と最も多くなっているが、半数以上の企業は何らかの対応をしている。

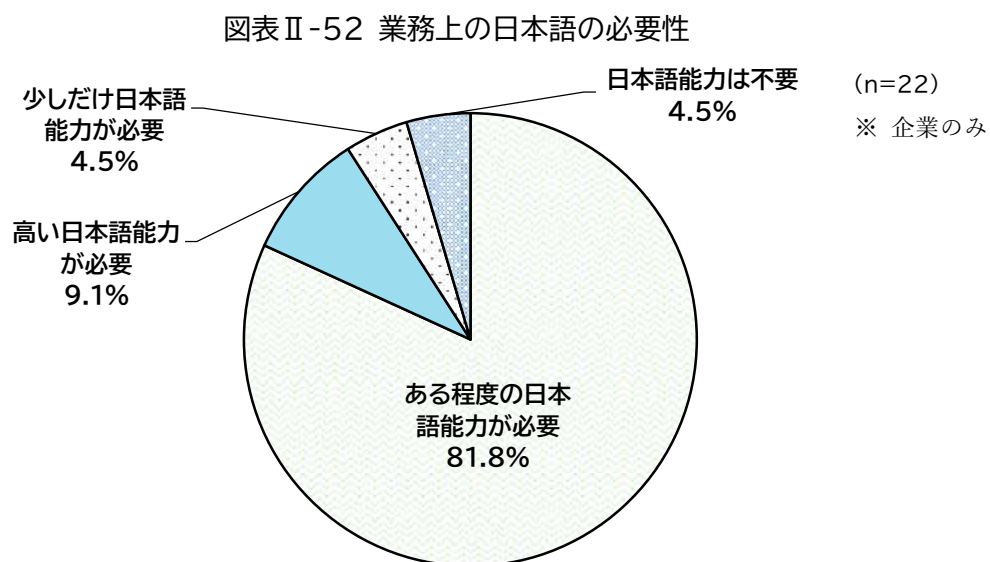
図表Ⅱ-51 日本人従業員への研修等



問 52 業務上の日本語の必要性

問 52 現在、外国人従業員が従事している業務において、日本語は必要ですか？※

外国人従業員が従事する業務について、81.8%が「ある程度の日本語能力が必要」と認識している。

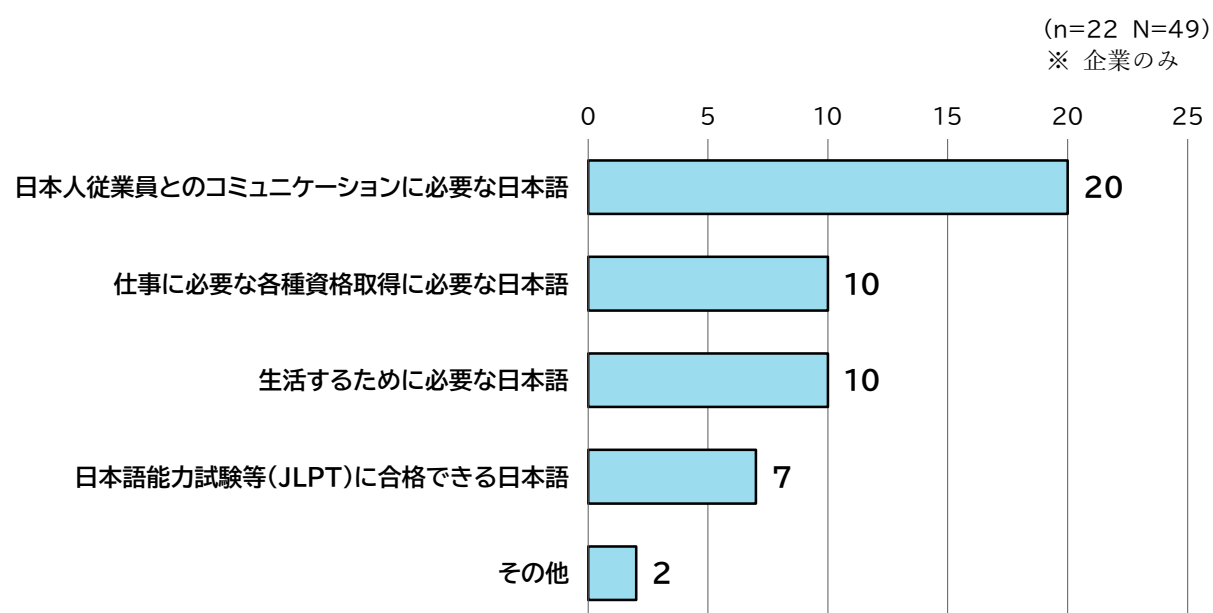


問 53 外国人従業員に学んで欲しいこと

問 53 外国人従業員に日本語で学んで欲しいことはなんですか？（複数選択）※

外国人従業員に学んでほしいこととしては「日本人従業員とのコミュニケーションに必要な日本語」が 20 件（回答企業の 90.9%）と突出して多くなっている。

図表Ⅱ-53 外国人従業員に学んで欲しいこと

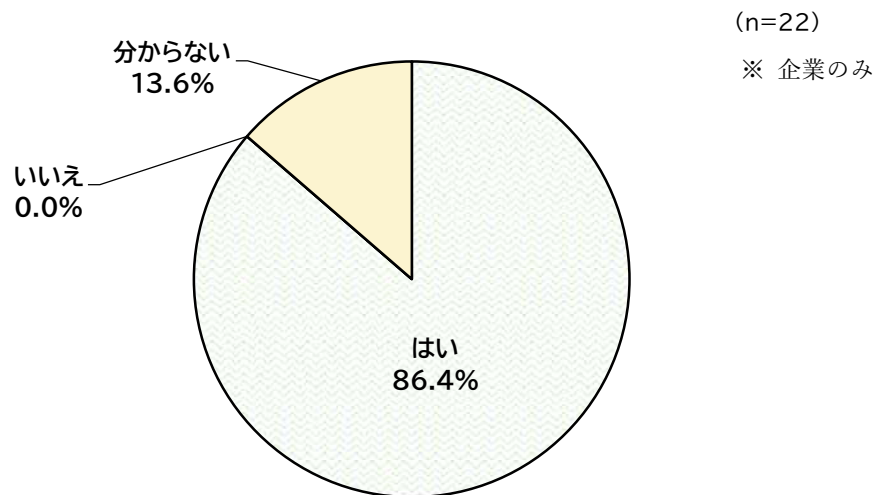


問 54 外国人材に長く働いてもらいたい

問 54 現在雇用している外国人材に長く働いてもらいたいと考えていますか？※

86.4%の企業が現在雇用している外国人従業員に長く働いてもらいたいと考えている。

図表Ⅱ-54 外国人材に長く働いてもらいたい



問 55 特定技能2号取得のための指導

問 55 技能実習や特定技能1号の従業員に特定技能2号になってもらうための具体的な指導等を行っていたら、教えてください。(自由記述)

図表Ⅱ-55 特定技能2号取得のための指導

主な意見
・介護福祉士の資格取得に向けて学習時間の確保 ・外部講師への指導依頼 ・リーダーとして活躍するための指導

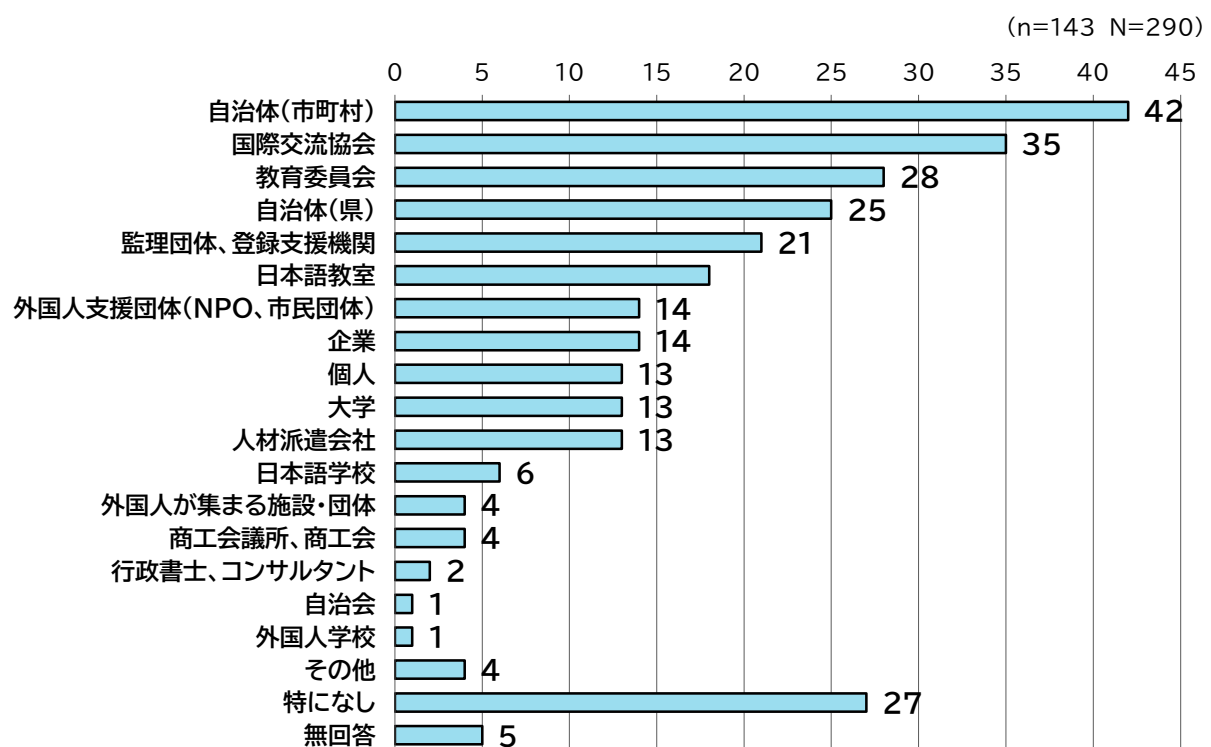
(9)他団体との連携

問 56 回答者が連携している団体

問 56 関係している外国人（在住者、在籍者、受入れ、支援者、雇用者）の支援において、連携している団体はどこですか？（複数選択）

自治体や国際交流協会は、多くの団体と連携している。一方で、その他の団体は自治体や国際交流団体以外との連携は少ない傾向にある。

図表Ⅱ-56 回答者が連携している団体



回答者	n	自治体(県)	自治体(市町村)	教育委員会	国際交流協会	外国人支援団体(NPO、市民団体)	自治会	個人	日本語教室	日本語学校	大学
全体	143	25	42	28	35	14	1	13	18	6	13
自治体	38	10	13	9	11	6	1	3	9	0	1
教育委員会	7	2	1	5	2	0	0	0	1	0	0
国際交流協会	19	2	12	4	7	2	0	3	3	2	5
外国人支援団体	6	0	3	1	1	1	0	1	0	0	0
日本語教室	9	2	6	1	5	0	0	1	2	1	1
日本語学校	5	0	0	1	2	0	0	0	0	1	1
大学	13	1	4	0	3	1	0	2	1	1	4
企業	22	1	2	0	2	1	0	1	2	1	0
監理団体、登録支援機関	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
その他	22	6	1	7	1	3	0	2	0	0	1

回答者	n	外国人学校	外国人が集まる施設・団体	企業	人材派遣会社	監理団体、登録支援機関	行政書士、コンサルタント	商工会議所、商工会	その他	特になし	無回答
全体	143	1	4	14	13	21	2	4	4	27	5
自治体	38	0	2	5	1	1	0	3	1	11	1
教育委員会	7	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
国際交流協会	19	0	1	3	0	0	0	0	1	1	2
外国人支援団体	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
日本語教室	9	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
日本語学校	5	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0
大学	13	0	0	1	1	0	0	0	0	4	0
企業	22	1	0	2	5	14	0	0	0	4	0
監理団体、登録支援機関	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
その他	22	0	0	3	4	6	1	1	1	3	0

問 57 連携の内容

問 57 どのような連携をしていますか。（自由記述）

図表Ⅱ-57 連携の内容

回答者	内容
自治体	・ 翻訳、各種手続き、就職の支援 ・ 情報の共有や周知 ・ 業務の委託、補助金の交付、相談対応 ・ 共催事業の実施 ・ 多文化共生に関する事務局の運営 ・ 教育委員会における外国人対応
教育委員会	・ 生徒と講師の紹介
国際交流協会	・ 交流イベントの開催 ・ 多文化共生事業の運営 ・ 日本語教室等に関する周知 ・ 補助金と情報共有 ・ 共催活動と支援活動の実施
外国人支援団体	・ 学習場所の無償提供 ・ 情報提供 ・ 学習者の紹介
日本語教室	・ 周知等の教室運営支援 ・ 日本語指導者の募集 ・ 行政主催イベントへの出席 ・ 相談に対する関係窓口紹介 ・ 学習者超過時の他講座への案内
日本語学校	・ 情報交換 ・ 関係イベントの紹介 ・ 就業支援研修の実施 ・ 奨学金の受給、外国人の円滑な受け入れに係る協力
大学	・ 大学見学会等の実施 ・ 住まいの手配等の生活の支援 ・ 学習内容や進学についての相談
企業	・ 採用支援 ・ 日本語学習や生活の支援 ・ 情報共有 ・ トラブル時の相談対応

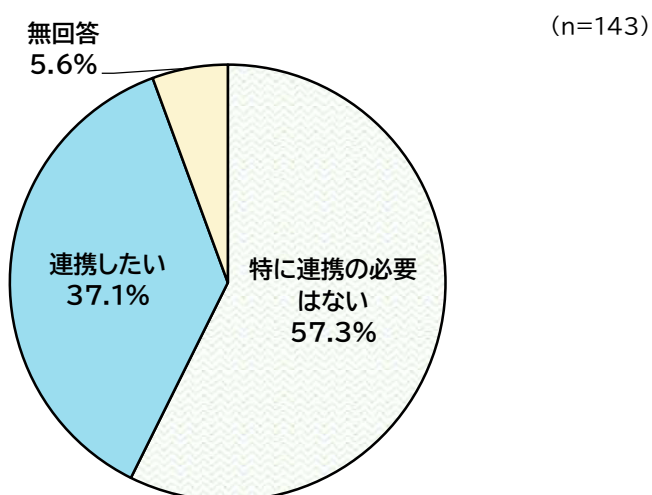
監理団体、登録 支援機関	・ 仕事外の出来事の対応 ・ 情報共有
その他	・ 情報共有 ・ 特定技能実習生の紹介 ・ トラブルや困り事への相談対応 ・ 通訳 ・ 就職支援 ・ 日本語学習に関する研修等の案内 ・ 行事等への参加

問 58 連携の希望

問 58 新たに他団体との連携をしたいですか。

新たな連携について団体のカテゴリごとに見てみると、自治体や教育委員会や企業では、それぞれ半数以上が「特に連携の必要はない」と考えているが、「国際交流協会」「外国人支援団体」「日本語学校」「大学」「監理団体・登録支援機関」では、それぞれ半数以上が「連携したい」と考えている。

図表Ⅱ-58 連携の希望



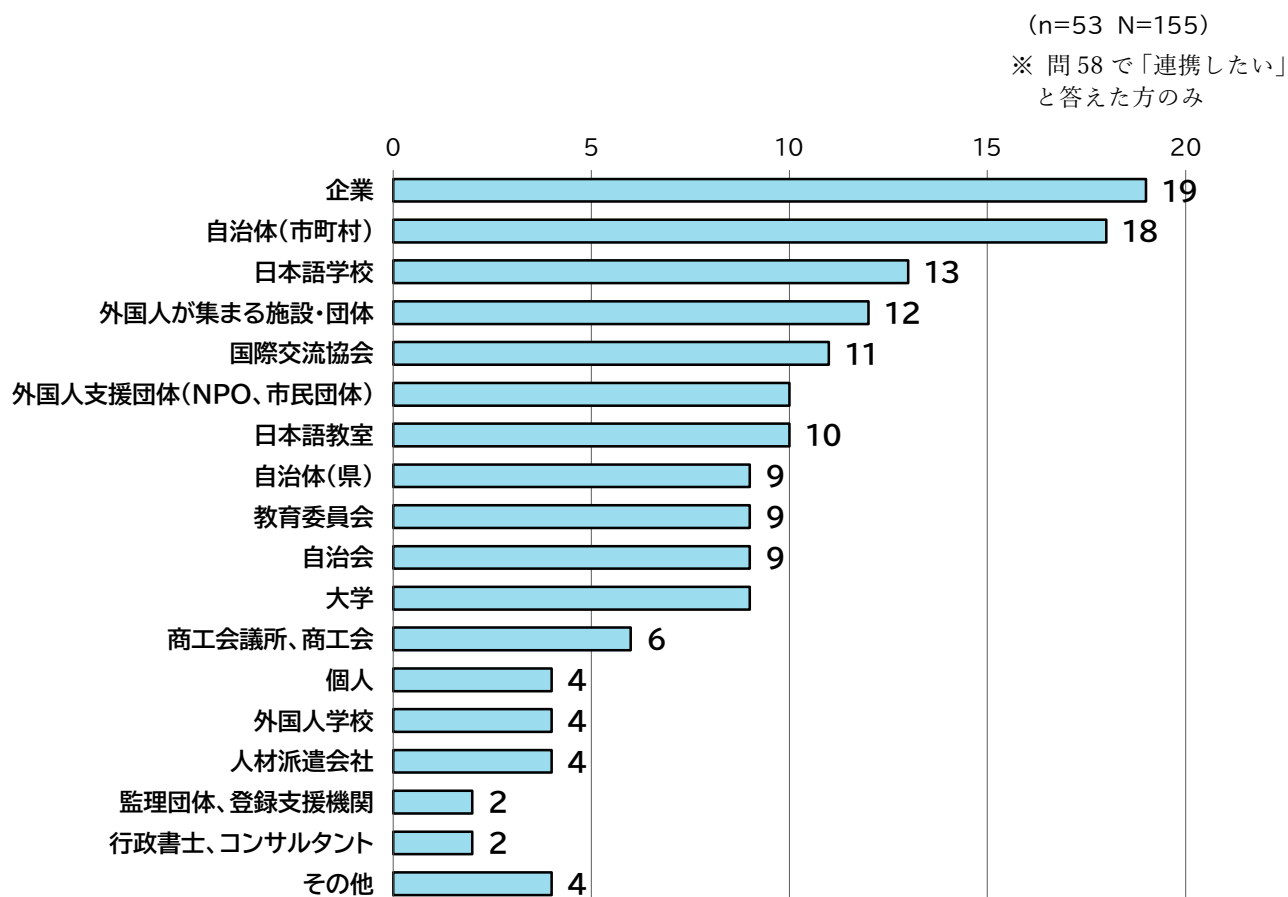
	n	連携したい	特に連携の必要はない	無回答
全体	143	53	82	8
自治体	38	8	28	2
教育委員会	7	2	5	0
国際交流協会	19	11	6	2
外国人支援団体	6	3	2	1
日本語教室	9	3	4	2
日本語学校	5	3	2	0
大学	13	7	6	0
企業	22	7	15	0
監理団体、登録支援機関	2	2	0	0
その他	22	7	14	1

問 59 新たに連携を希望する相手

問 59 新たに連携したい団体はどこですか？（複数選択）※

新たに連携したい団体のカテゴリは、「企業」が19件（回答者の86.4%）、次いで「自治体（市町村）」が18件（回答者の81.8%）となっている。

図表Ⅱ-59 新たに連携を希望する相手



	n	自治体(県)	自治体(市町村)	教育委員会	国際交流協会	外国人支援団体(NPO、市民団体)	自治会	個人	日本語教室	日本語学校	大学	外国人学校	外国人が集まる施設・団体	企業	人材派遣会社	監理団体、登録支援機関	行政書士、コンサルタント	商工会議所、商工会	その他	特になし
全体	53	9	18	9	11	10	9	4	10	13	9	4	12	19	4	2	2	6	4	0
自治体	8	0	2	1	1	1	3	0	0	1	0	0	5	6	0	0	0	2	0	0
教育委員会	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
国際交流協会	11	0	0	2	4	0	2	0	1	1	4	0	1	5	0	0	0	3	0	0
外国人支援団体	3	1	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0
日本語教室	3	1	2	1	1	1	0	1	2	1	1	1	2	0	0	0	0	0	1	0
日本語学校	3	2	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
大学	7	1	2	2	3	2	0	1	1	6	2	1	1	3	2	0	1	0	0	0
企業	7	3	5	1	2	2	1	1	2	0	0	1	3	0	0	1	0	1	0	0
監理団体、登録支援機関	2	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0
その他	7	1	2	1	0	2	0	0	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0

問 60 連携したい内容、課題

問 60 他団体と連携したい内容、課題等があれば教えてください。（自由記述）

図表Ⅱ-60 連携したい内容、課題

回答者	内容
自治体	・ 日本語教室等の周知 ・ 情報共有 ・ 学習者募集 ・ 町内会活動への参加の呼びかけ ・ 外国人材受入企業との連携
教育委員会	・ 日本語講師の確保
国際交流協会	・ 情報交換 ・ 親子を支援できる仕組みづくり ・ 日本語ボランティアの確保 ・ 日本語ボランティア講座への参加
外国人支援団体	・ 教室運営に関する助言・援助 ・ 「やさしい日本語」の周知 ・ 日本人と外国人の意識向上に関する対策の実施 ・ 子どもに関する情報共有
日本語教室	・ 指導方法に関する情報共有 ・ 学習希望者の相互受け入れ
日本語学校	・ 日本人との交流機会の創出
大学	・ 連携を通じて本学での学びの機会がいろいろな方々に広がることを期待したい。 ・ 様々な日本語教室と連携し、本学で日本語教育を学ぶ学生に日本語教育の実践の場を提供したい。 ・ 就職先
企業	・ 日本語学習プログラムの構築と指導方法の共有
監理団体、登録支援機関	・ 専門知識を学ぶ場や地域交流の場に関する情報提供

その他	・ 他団体における取組や支援についての情報共有 ・ 日本語教育や専門知識に関する指導 ・ 学生の就職先の開拓 ・ 国民年金・厚生年金等の手続き支援
------------	--

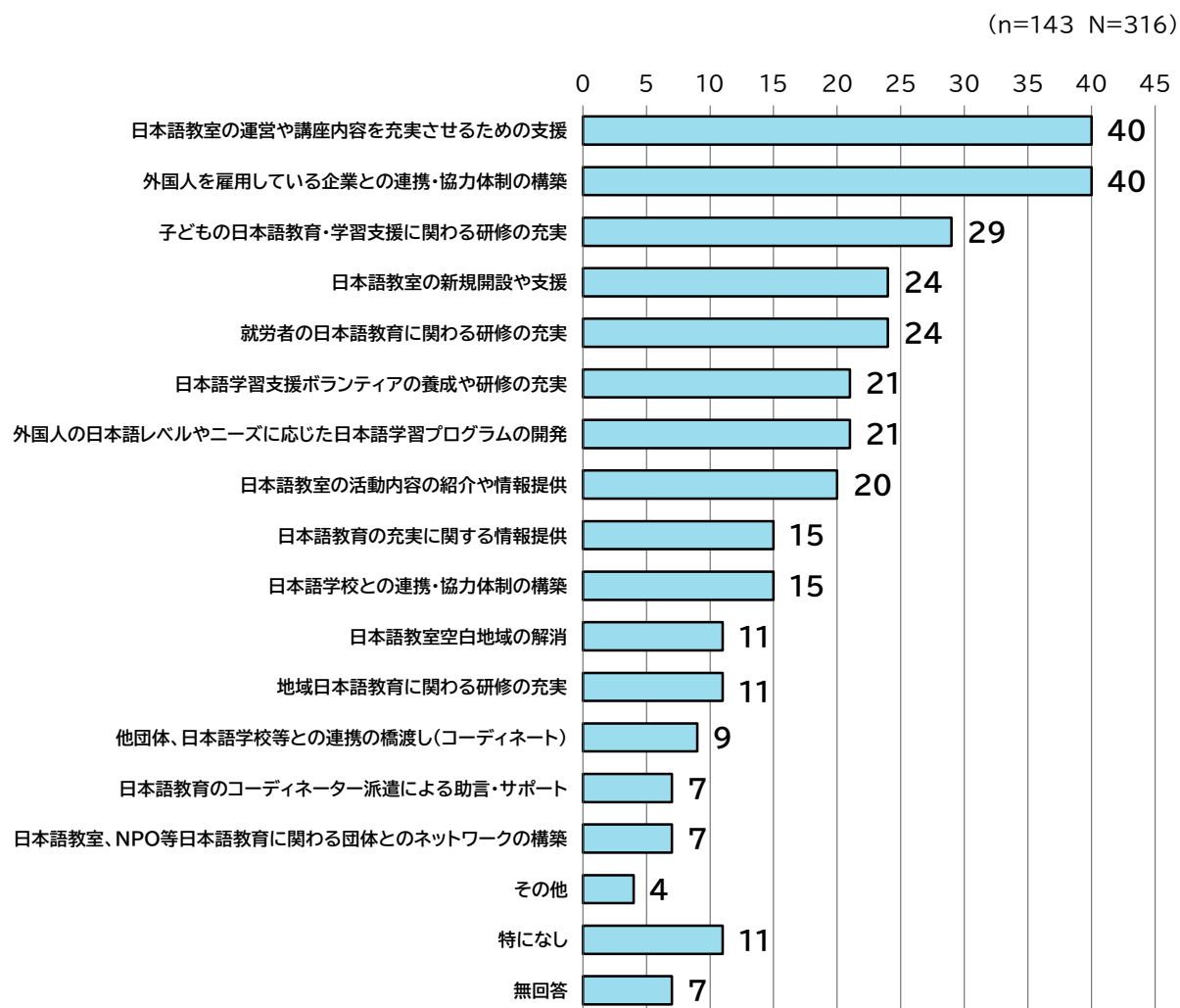
(10)行政に希望する支援

問 61 行政に希望する支援

問 61 今後の日本語教育の充実に向けて、行政に希望することは何ですか？
(優先すべきことを3つまで選択してください)

行政に希望することとしては、「日本語教室の運営や講座内容を充実させるための支援」が40件（回答者の28.0%）、「外国人を雇用している企業との連携・協力体制の構築」が40件（回答者の28.0%）となっている。

図表Ⅱ-61 行政に希望する支援



	n	支援 内容 を充実させるための	外国人 企業との連携・協力体制の企	実 習支援に関わる研修の充	子ども の日本語教育・学	就労者の日本語教育に 関する研修の充実	実 習支援に関わる研修の充	外国人 企業の日本語学習支援ポラン	紹介や情報提供	日本語教育の充実に関する 情報提供	日本語学校との連携・協 力体制の構築	消 失	地域 域内日本語教育に関わる 研修の充実	他団体、 （コー） の連携（橋渡し）（コー）	その他	特になし	無回答
全体	143	40	40	29	24	24	21	21	20	15	15	11	11	9	7	7	7
自治体	38	10	9	8	8	5	4	4	4	3	1	4	3	3	4	1	3
教育委員会	7	3	1	4	1	1	1	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0
国際交流協会	19	9	10	4	2	1	2	3	2	1	1	3	4	0	1	1	2
外国人支援団体	6	3	2	0	1	1	2	1	2	0	0	0	0	1	0	1	1
日本語教室	9	3	3	3	1	1	4	0	2	1	0	0	1	0	0	0	1
日本語学校	5	1	3	1	0	1	0	0	0	1	3	0	0	1	0	0	0
大学	13	2	4	2	1	3	3	4	2	2	5	1	0	3	1	2	0
企業	22	5	4	2	7	6	1	4	5	5	2	3	1	1	0	0	3
監理団体・登録支援機関	2	0	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
その他	22	4	3	5	3	4	3	5	2	1	1	0	1	0	1	3	3

Ⅲ ヒアリング結果

アンケート調査と併用することでより詳細かつ具体的な回答を得ることを目的として、圏域毎に対面によるヒアリング調査を実施した。

ヒアリング調査先

圏域	外国人県民 (人)	企業	支援団体	行政
岐阜	2	1	2	1
西濃	4	1	1	1
中濃	4	0	1	1
東濃	2	1	1	1
飛騨	2	1	0	1
計	14	4	5	5

1 外国人県民

(1) 日本語学習をする理由

- ・日本語が全然分からないから。
- ・より良い仕事に就きたいから。
- ・自分のビジネスを大きくしたいから。
- ・自分の夢をかなえるために進学したいから。(子ども)
- ・日本人とコミュニケーションがとりたいから。

(2) 日本語、日本語学習での困難

- ・高齢者の方言がわからない。
- ・文章を読むことが難しい。漢字を書くのが難しい。
- ・日本人と同じ授業を受けること。(子ども)
- ・日本語教室は知っているが、時間が合わず行くことができない。

(3) 地域の日本語教室以外の学習手段

- ・アルバイトをすることで実践している。
- ・日本のテレビ番組を見ている。
- ・インターネットや日本語学習アプリを活用している。
- ・日本語学習関係の YouTube 動画を見ている。

2 企業

(1) 受入れの状況

- ・技能実習とともに、技術・人文知識・国際業務（母国大学卒業者）も受入れている。特定技能を増やす意向は無い。（製造業）
- ・技能実習から特定技能に変えている。（製造業）
- ・5年程前に外国人受入れを開始し、現在、技術・人文知識・国際業務、特定技能、技能実習、インターンシップ等で外国人を80人程雇用している。（観光業）

(2) 日本語学習に関する課題

- ・休日は余暇として過ごしたい意向があり、休日の日本語教室は避けられる。
- ・聞くこと、話すことはできても、日本語能力試験は受からない。
- ・日本語で日記を書くなどは管理が大変で継続できない。

(3) 日本語学習に関する工夫

- ・日本語の習熟度に応じて給料の枠組みを変えている。
- ・日本人従業員と同様に昇給する制度を設けている。
- ・小学校レベルのドリル等を使用した現場での学習サポートを行っている。

(4) 行政に求めること

- ・楽しめる防災イベントがあると良い。
- ・外国人に対しても知的障がい者雇用時のようなサポートがあると良い。
- ・外国人同士、日本人と外国人で交流できる場がたくさんあると良い。
- ・外国人コミュニティ形成（祭り等）への支援ができると良い。

(5) 行政・支援団体等との連携の可能性

- ・日本語教室への場所の貸し出し等は考えられる。
- ・企業の社会的責任の一環として、内容によって検討することができる。

3 支援団体

(1) 支援状況

- ・学習者は増加傾向にあり、多国籍化している。
- ・永住者や定住者が多いが、技能実習生も増加している。

(2) 日本語学習に関する課題

- ・ 支援者、安定的な場所の確保が困難である。
- ・ 日本語初学者への教え方のノウハウが不足している。
- ・ 日本語教室の周知が不足している。
- ・ 企業が日本語能力を求めておらず、学習意欲が高まらない。
- ・ 企業から雇用者への学習支援の依頼があるが、どのように企業と連携したらよいかわからない。(無償で受入れている。)
- ・ 子どもは、親の都合で日本語教室に長く通えないことがある。
- ・ 支援者が高齢化しており、新しい支援者の定着が難しい。
- ・ 日本語教室空白地域における外国籍の子どもが増加している。

(3) 行政に求めること

- ・ 安定的な場所の確保に関する支援があると良い。
- ・ 高校進学に関する支援があると良い。
- ・ 多文化共生に理解のある企業をネットワーク化できると良い。

4 行政

(1) 受入れの動向

- ・ 定住者、永住者が多いが、技能実習や特定技能も増えてきている。(中濃圏域)
- ・ 日本語ができない児童が増えつつあり、対応を始めている。(東濃圏域)
- ・ 外国人県民が急増している。観光、介護、製造の分野で増えている。(飛騨圏域)

(2) 日本語学習に関する課題

- ・ 子どもから、授業で使う日本語が分からないという意見がある。
- ・ 子どもの親は、学校との連絡対応などのコミュニケーションに困っている。
- ・ 日本語教室は、学習者の増加、場所の確保などにより手一杯の状況である。
- ・ 日本語学習の支援者を集めることが難しい。
- ・ 日本語を必要としない人がおり、日本語習得意欲が低い。
- ・ 子どもの高校進学支援には時間がかかり、対応が難航している。

(3) 県に求めること

- ・ 日本語教室を知らない方もいるため、学習者への周知をして欲しい。
- ・ 現状以上の対応を増やさないで欲しい。
- ・ うまくいった・いかなかった取組事例の共有して欲しい。
- ・ 県主催の研修を継続して欲しい。主催以外の研修の情報等も共有して欲しい。



令和6年度 岐阜県日本語教育実態調査 報告書

発行年月 2025 年 3 月

編集発行 岐阜県清流の国推進部

外国人活躍・共生社会推進課

〒500-8570 岐阜市藪田南 2-1-1

TEL 058-272-1111 (代表)

FAX 058-278-3527